



11月1日は『おokayama教育の日』  
11月1～7日は『おokayama教育週間』

# 令和6年度 教育施策の概要



岡山県教育委員会

## [はじめに]

本県教育の使命は、子どもたちに自らの進路を切り拓く力を確実に身に付けさせるとともに、郷土岡山を愛し、より良い社会づくりに積極的に貢献する人間を育てることです。令和3年2月に策定した第3次岡山県教育振興基本計画は、「教育県岡山の復活」を重点戦略の第一に位置付ける第3次晴れの国おかやま生き生きプランに基づき、岡山県教育大綱を踏まえ策定したものであり、令和3年度からの4か年の施策の方向や主な取組、目標とする指標等を示しております。

この冊子は、第3次岡山県教育振興基本計画に基づき、令和6年度において取り組む施策・事業を取りまとめたものです。令和6年度は、課題のある小学校算数において、大学教授等外部の専門的知見を活用した学力調査等の分析結果に基づいた指導・支援体制を構築するなど、子どもの学ぶ力の育成を進めるほか、教師業務アシスタントの配置拡充やICTの活用による業務の効率化を推進するなど、教員の勤務負担のさらなる軽減による教育活動の充実を図ります。不登校対策については、進学意欲がある中学生を対象とした教育支援センターを県立高校内に設置し、進路選択を支援するなど、誰一人取り残さない総合的な不登校対策を進めます。

諸施策の実施に当たっては、市町村教育委員会との相互の信頼関係の下、県教育委員会としての役割と責任において主体的な姿勢で取り組むとともに、関係機関、関係団体等とも連携を深めながら、積極的に推進してまいります。

### 【表紙の写真】

- 左：県立倉敷南高校とニュージーランド・カシミア高校との姉妹校交流  
(令和5年12月14日撮影)
- 右上：笠岡市立大島小学校と県立西備支援学校との交流及び共同学習の様子  
(令和4年10月27日撮影)
- 右下：「岡山県宇宙の学校」にて傘袋ロケットを飛ばしている様子  
(令和4年8月28日撮影)

# 目次

第3次晴れの国おかやま生き生きプラン 概要	… 1
令和6年度 最重点取組項目	… 2
第3次岡山県教育振興基本計画 概要	… 3
第3次岡山県教育振興基本計画の目標指標	… 5
小・中学校の諸課題に対する県の支援策(主なもの)	… 7
県立学校の諸課題に対する県の支援策(主なもの)	… 9

## 施策の概要

<b>1 魅力ある学校づくりの推進</b>	… 11
(1) 子どもたちが落ち着いて学習できる環境の整備	… 11
(2) 不登校を生まない学校づくりの推進	… 12
(3) 教師の授業力の向上と魅力ある人材の確保	… 15
(4) 就学前教育の質の向上	… 20
(5) 活力ある小・中学校づくり	… 21
(6) 高等学校段階における教育の充実	… 22
(7) 特別支援教育の推進	… 24
(8) 大学等との連携	… 28
(9) 子どもたちの安全の確保	… 29
<b>2 学びのチャレンジ精神の育成</b>	… 31
(1) 夢を育む教育やキャリア教育・職業教育の推進	… 31
(2) 子どもたちの学力が伸びる仕組みづくり	… 36
(3) 国際的に活躍できる人材の育成	… 39
(4) Society5.0に向けた人材の育成	… 41

<b>3 家庭・地域の教育力の向上</b>	… 44
-----------------------	------

(1) 家庭・地域の教育力の向上による、子どもたちの生活習慣・学習習慣の定着	… 44
(2) 地域住民の参画による学校運営協議会・地域学校協働活動の取組の推進	… 46

<b>4 規範意識と思いやりの心、健やかな体の育成</b>	… 48
-------------------------------	------

(1) 道徳教育を中心とした規範意識の確立	… 48
(2) いじめや暴力行為等への対策の推進	… 48
(3) スマホ・ネット等青少年を取り巻く問題への対応	… 50
(4) 郷土愛の醸成	… 51
(5) より良い社会づくりに参画する人材の育成	… 52
(6) 子どもたちの体力の向上	… 54
(7) 子どもたちの健康の保持増進	… 57
(8) 人権教育の推進	… 58

<b>5 生涯学習環境の整備と文化・スポーツの振興</b>	… 60
-------------------------------	------

(1) 生涯学習活動の推進	… 60
(2) 文化創造活動の振興と文化財の保存・活用	… 62

## 資料編

令和5年度→令和6年度にかけての事業整理表	… 65
県予算と教育委員会予算	… 66
教職員定数	… 66
知事部局等の関連事業	… 67
県教育委員会組織・分掌	… 69
教育に関する相談窓口	… 70

# 第3次晴れの国おかやま生き生きプラン



## 重点戦略 I 教育県岡山の復活

### 1 学ぶ力育成プログラム

- キャリア教育の推進
- 子どもたちが学力が伸びる仕組みづくり
- 教師の授業力の向上
- 就学前教育の質の向上
- 高等学校における学力の向上
- 家庭・地域の教育力の向上による、子どもたちの生活習慣と学習習慣の定着
- 地域住民の参画による学校運営協議会・地域学校協働活動の取組の推進
- 特別支援教育の充実

子どもたちが、将来の夢や目標を持ちながら、未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画することができるよう、落ち着いた学習環境の中で、学力に加え、規範意識や他者への思いやりといった豊かな心、体力の向上による健康で充実した気力を身につけさせるとともに、グローバルな視点を持って、豊かな地域社会の創造・発展に積極的に貢献しようとする志を育成します。

### 2 徳育・体育推進プログラム

- 不登校等を生まない学校づくりの推進
- 道徳教育を中心とした規範意識の確立
- 暴力行為等への対策の推進
- 青少年の健全育成・非行防止対策の推進
- スマホネット対策の推進
- より良い社会づくりに参画する人材の育成
- 子どもたちの体力の向上
- 子どもたちの健康の保持増進
- 人権教育の推進
- 困難を有する子ども・若者への支援

※各戦略プログラムには、計画期間中に達成しようとする目標値として、「生き生き指標」を設定しています。

- ・ ■は重点施策  
(生き生き指標により達成度を示すことができる施策)
- ・ □は推進施策(重点施策以外の施策)

### 3 グローバル人材育成プログラム

- 国際的に活躍できる人材の育成
- Society5.0 に向けた人材の育成
- 時代の変化に対応した魅力ある学校づくり
- 高等教育機関における実践的な人材育成等の推進

## 重点戦略 II 地域を支える産業の振興

### 3 観光振興プログラム

- 観光資源としての自然や文化の積極的な活用

## 重点戦略 III 安心して豊かさが実感できる地域の創造

### 3 子育て支援充実プログラム

- 子ども虐待防止対策の推進

### 4 防災対策強化プログラム

- 自らの安全は自らで守る取組の促進
- 防災施設整備や公共施設等の耐震化の推進

### 8 生きがい・元気づくり支援プログラム

- 多文化共生の地域づくりの推進
- 生涯学習活動の推進

### 9 情報発信力強化プログラム

- 文化とスポーツを通じた岡山からの情報発信

# 令和6年度 最重点取組項目 ～新時代の教育県岡山を目指して～

## 1 夢を育む教育とPBL（課題解決型学習）の推進

- ・ **研究校での岡山型PBLガイドブックの活用**による実践、好事例の収集、岡山型PBLの考え方の周知・普及
- ・ 各方面で活躍する方から子どもたちへの**夢の実現に向けたメッセージ動画“夢ボイス”**の発信
- ・ **PBL等の取組を発信し、交流する場の提供**  
(おかやま学びたい賞フォーラムや高校生夢育PBLフォーラムなど)

## 2 確かな学力の育成・学ぶ意欲の向上

- ・ **【新規】** 全国学力・学習状況調査で課題の見られた**小学校算数や中学校英語における授業改善の推進**  
→大学教授による学力調査等の分析に基づく算数の指導・支援体制の構築  
→中学校3年生に対する英検IBAの実施による学校全体の指導改善の促進
- ・ **学力定着状況確認テスト・定着状況ウォームアップの実施**による学習内容の確実な定着  
→**CBT（Computer Based Testing）方式により実施**

## 3 不登校等を生まない魅力ある学校づくり

- ・ **【拡充】別室指導の成果普及・自立応援室拡充**による不登校の未然防止と社会的自立への支援  
→自立応援室実践研究校数を拡充
- ・ **【新規】県立高校内への教育支援センター設置**による進学意欲のある不登校の中学生への支援
- ・ **【新規】オンライン上の居場所確保**による社会と繋がるのが困難な不登校児童生徒への支援

## 4 校務のDX化・働き方改革の推進

- ・ **【新規】保護者連絡システムの全県立学校への導入**による校務のDX化推進
- ・ **【拡充】外部人材の配置拡充**による教員が本来の教育活動に専念できる環境の整備  
→教師業務アシスタント：配置基準の拡大（全ての小中学校に配置）  
→部活動指導員：配置人数の増加、休日配置を新設
- ・ **【拡充】インターネット出願システムの導入**による県立高校・中学校の入学者選抜手続きの簡素化  
→中学校から高校へ提出する調査書を電子化

# 第3次岡山県教育

## 1. 策定の趣旨

「岡山県教育大綱」を踏まえるとともに、第2次岡山県教育振興基本計画をベースとして、社会情勢の変化やこれまでの取組の成果と課題に鑑み、第3次晴れの国おかやま生き生きプラン等に基づきながら、学校教育や社会教育、文化、スポーツなどの教育分野全般にわたっての具体的な取組や目標とする指標を明らかにするものです。

## 2. 育みたい資質能力

本県教育に課せられた使命は、教育をめぐる社会情勢が変化する中で、子どもたちが自ら進路を切り拓く力を確実に身に付けさせるとともに、郷土岡山を愛し、より良い社会づくりに積極的に貢献する人間に育てることです。

そのため、子どもたちの学びの原動力である夢を育む「夢育」を進め、意欲や自信などの「自分を高める力」を引き上げ、学力や体力、規範意識や人間関係構築力を身につけさせることが重要です。

こうしたことを踏まえ、子どもたちに育みたい資質能力として、

自立

共生

郷土岡山を大切にする心

の3点を掲げ、施策を推進します。

## 3. 基本目標

子どもたちに育みたい資質能力を踏まえ、次のとおり本県教育の基本目標を掲げ、目標の実現に向けて取組を進めます。

**「心豊かに、たくましく、未来を拓く」人材の育成**

## 4. 計画期間

本計画の期間は、令和3年度から令和6年度までの4年間とします。

# 振興基本計画の概要

## 5. 計画期間に取り組む施策

### 1 魅力ある学校づくりの推進

- (1) 子どもたちが落ち着いて学習できる環境の整備
- (2) 不登校を生まない学校づくりの推進
- (3) 教師の授業力の向上と魅力ある人材の確保
- (4) 就学前教育の質の向上
- (5) 活力ある小・中学校づくり
- (6) 高等学校段階における教育の充実
- (7) 特別支援教育の推進
- (8) 特色ある私立学校教育の支援
- (9) 大学等との連携
- (10) 子どもたちの安全の確保

### 2 学びのチャレンジ精神の育成

- (1) 夢を育む教育やキャリア教育・職業教育の推進
- (2) 子どもたちの学力が伸びる仕組みづくり
- (3) 国際的に活躍できる人材の育成
- (4) Society5.0に向けた人材の育成

### 3 家庭・地域の教育力の向上

- (1) 家庭・地域の教育力の向上による、子どもたちの生活習慣・学習習慣の定着
- (2) 地域住民の参画による学校運営協議会・地域学校協働活動の取組の推進

### 4 規範意識と思いやりの心、健やかな体の育成

- (1) 道徳教育を中心とした規範意識の確立
- (2) いじめや暴力行為等への対策の推進
- (3) スマホ・ネット等青少年を取り巻く問題への対応
- (4) 郷土愛の醸成
- (5) より良い社会づくりに参画する人材の育成
- (6) 子どもたちの体力の向上
- (7) 子どもたちの健康の保持増進
- (8) 人権教育の推進

### 5 生涯学習環境の整備と文化・スポーツの振興

- (1) 生涯学習活動の推進
- (2) 文化創造活動の振興と文化財の保存・活用
- (3) 生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりの推進

## 第3次岡山県教育振興基本計画の目標指標

★マークは、「第3次晴れの国おかやま生き活きプラン」にも掲げる目標指標（教育委員会関係）実績値が令和5年度目標値を達成している指標については、目標値の見直しを行っている。

項目		目標指標の概要	計画策定時の値 (年度)	R3	R4	R5	R6
				(上段)目標値 (下段)実績値	(上段)目標値 (下段)実績値	目標値	目標値
1 魅力ある学校づくりの推進	子どもたちが落ち着いて学習できる環境の整備	■ 公立小・中学校における学級がうまく機能しない状況が発生している学級数	9学級 (R1)	8学級 7学級	8学級 →6学級 7学級	7学級 →6学級	7学級 →6学級
	不登校を生まない学校づくりの推進	★ ■ 小・中・高等学校における不登校の出現割合（児童生徒1千人当たり）の全国平均との差	+0.6人 (R1)	+0.3人 -2.9人	+0.2人 →-1.6人 -5.1人	+0.1人 →-2.9人	-2.9人 →-5.1人
	教師の授業力の向上と魅力ある人材の確保	★ ■ 全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との差	小6 ▲1ポイント (H31.4調査)	+1ポイント ±0ポイント	+1ポイント ▲1ポイント	+1ポイント	+1ポイント
			中3 ±0ポイント (H31.4調査)	+1ポイント ±0ポイント	+1ポイント ±0ポイント	+1ポイント	+1ポイント
			小6 82.9% (H31.4調査)	83.7% 81.7%	84.2% 83.2%	84.6%	85.0%
		★ ■ 「授業の内容はよく分かる」と回答した児童生徒の割合	中3 73.9% (H31.4調査)	74.7% 79.7%	75.2%→77.0% 77.3%	75.6% →80.0%	76.0% →81.0%
	就学前教育の質の向上	就学前教育に関する研修への延べ参加人数	2,456人 (R1)	2,500人 1,917人	2,500人 2,206人	2,500人	2,500人
	高等学校段階における教育の充実	高校生活に満足している生徒の割合	91.5% (R2)	92.0% 90.4%	93.0% 87.7%	94.0%	95.0%
	特別支援教育の推進	居住地校交流を実施した児童の割合（小学部）	36.8% (R1)	38.0% 38.8%	39.0% 44.0%	40.0%	41.0% →44.0%
	大学等との連携	おかやま子ども応援人材バンク（※4）の活用数	130件 (R1)	175件 198件	200件 217件	225件	250件
子どもたちの安全の確保	■ 防災の基礎学習を実施している学校の割合	小 89.5% (R1)	93.7% 95.0%	95.8% 93.3%	97.9%	100%	
		中 89.0% (R1)	93.4% 92.2%	95.6% 90.1%	97.8%	100%	
		高 79.1% (R1)	87.5% 83.8%	91.7% 85.3%	95.9%	100%	
2 学びのチャレンジ精神の育成	夢を育む教育やキャリア教育・職業教育の推進	★ ■ 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	小6 65.9% (H31.4調査)	67.0% 61.3%	68.0% 61.1%	69.0%	70.0%
			中3 44.1% (H31.4調査)	45.5% 42.2%	47.0% 41.6%	48.5%	50.0%
			★ インターンシップや企業訪問等を体験した高校生の割合	95.3% (R1)	97.0% 88.2%	98.0% 80.6%	99.0%
		職業教育技術顕彰被顕彰者の割合（※1）	20.7% (R1)	16.0% 24.4%	17.0%→21.0% 25.2%	19.0% →25.0%	21.0% →26.0%
	子どもたちの学力が伸びる仕組みづくり	★ ■ 授業以外で平日に1時間以上学習する児童生徒の割合	小6 72.1% (H31.4調査)	72.3% 67.1%	72.5% 63.8%	72.7%	73.0%
			中3 64.6% (H31.4調査)	66.4% 64.9%	67.6%→74.0% 60.8%	68.8% →75.0%	70.0% →76.0%
			■ 授業以外で平日に全く又はほとんど学習しない生徒の割合（高等学校3年生）	18.8% (R1)	17.2% 15.0%	16.4%→15.0% 13.0%	15.7% →15.0%
	国際的に活躍できる人材の育成	■ 中学校3年生で英検3級程度以上の英語力を有する生徒の割合	43.5% (R1)	48.0% 43.7%	52.0% 46.7%	56.0%	60.0%
			■ 高等学校3年生で英検準2級程度以上の英語力を有する生徒の割合	46.8% (R1)	51.0% 48.8%	54.0% 51.6%	57.0%
		★ 県立高校生の海外留学者数（※1）	380人 (H30)	110人 1人	230人 70人	310人	380人
★ インターネットを介して海外の学校や大学等と直接交流をしている県立高校の数		7校 (R1)	25校 29校	34校 39校	43校	52校	
Society5.0に向けた人材の育成	★ 全国規模の理数・情報・政策提案等のコンテストへの県立高校生の参加者数	611人 (R1)	658人 405人	682人 705人	706人	730人	

	項目		目標指標の概要	計画策定時の値 (年度)	R 3	R 4	R 5 目標値	R 6 目標値			
					(上段)目標値 (下段)実績値	(上段)目標値 (下段)実績値					
カ地3 の域 向の 家 上 教 庭 育・	家庭・地域の教育力の向上による、子どもたちの生活習慣・学習習慣の定着		家庭教育企業出前講座実施数（累計）	57件 (R1)	70件 67件	80件 81件	90件	100件			
	地域住民の参画による学校運営協議会・地域学校協働活動の取組の推進		地域学校協働活動推進員を委嘱している市町村数	8市町村 (R1)	17市町村 19市町村	20市町村 21市町村	23市町村	25市町村			
4 規 範 意 識 と 思 い や り の 心、 健 や か な 体 の 育 成	道徳教育を中心とした規範意識の確立	★ ■	「人が困っているときは、進んで助けている」と回答した児童生徒の割合	小6 44.7% (H31.4調査) 中3 36.5% (H31.4調査)	47.0% 46.6% 41.0% 41.9%	48.0% 45.6% 44.0% 38.6%	49.0% 47.0%	50.0% 50.0%			
	いじめや暴力行為等への対策の推進	★ ■	小・中・高等学校における暴力行為の発生割合（児童生徒1千人当たり）の全国平均との差	+0.4件 (R1)	+0.2件 -1.0件	+0.1件 -2.4件	±0.0件 →-1.0件	-1.0件 →-2.4件			
	スマホ・ネット等青少年を取り巻く問題への対応	★ ■	スマートフォン等の利用に関して「家庭のルールがある」と回答した児童生徒の割合	小 61.9% (R1) 中 49.4% (R1)	63.2% 64.9% 51.7% 52.0%	63.8% 57.8% 52.8% 51.6%	64.4% →65.0% 53.9%	65.0% 55.0%			
	郷土愛の醸成	■	「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童生徒の割合	小 70.7% (H31.4調査) 中 51.9% (H31.4調査)	72.0% 57.3% 53.0% 43.3%	73.0% 61.3% 54.0% 41.4%	74.0% 55.0%	75.0% 55.0%			
				「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した生徒の割合（県立高校生）	58.4% (R2)	60.0% 53.4%	61.5% 49.8%	63.0%	65.0%		
	より良い社会づくりに参画する人材の育成	★ ■	「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した児童生徒の割合	小6 55.0% (H31.4調査) 中3 38.9% (H31.4調査)	57.0% 52.0% 42.5% 42.5%	58.0% ※3 78.9% 45.0%→47.0% ※3 65.7%	59.0% 47.5% →48.5%	60.0% 50.0%			
				「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した生徒の割合（県立高校生）	61.3% (R2)	65.0% 67.6%	70.0% 69.8%	75.0%	80.0%		
	子どもたちの体力の向上	★ ■	「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合	小男 70.7% (R1) 小女 54.1% (R1) 中男 63.6% (R1) 中女 49.1% (R1)	72.0% 68.8% 55.5% 51.6% 64.2% 63.1% 49.5% 46.3%	73.0% 69.2% 57.0% 53.1% 64.5% 64.1% 49.7% 47.8%	74.0% 58.5% 64.8% 49.9%	75.0% 60.0% 65.0% 50.0%			
				子どもたちの健康の保持増進	■	「朝ごはんを食べることは大切だ」と回答した児童生徒の割合	小 85.1% (R2) 中 86.2% (R2)	87.6% 86.2% 88.4% 87.0%	90.1% 87.4% 90.6% 86.7%	92.6% 92.8%	95.0% 95.0%
							人権教育の推進		地域において人権教育・啓発を推進するために養成する指導者の数（累計）	532人 (R1)	582人 582人
				と5 文 化 生 涯 学 習 環 境 の 振 興 備	生涯学習活動の推進		生涯学習大学の連携機関数	98機関 (R1)	105機関 72機関	110機関 95機関	115機関
	文化創造活動の振興と文化財の保存・活用		県文化施設を活用した学校数（※1、2）		233校 (H30)	75校 107校	145校 163校	240校	240校		
文化財保存活用地域計画作成着手市町村数			2市町村 (R1)		3市町村 4市町村	5市町村 5市町村	8市町村	11市町村			
生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりの推進		成人男女の1週間に1日以上運動・スポーツをする割合（※2）	37.7% (R2)		40.0% 38.9%	45.0% 37.1%	50.0%	55.0%			

(※1) 新型コロナウイルス感染症の大きな影響からの回復を目指す目標指標

(※2) 知事部局所管の指標

(※3) 全国学力・学習状況調査の質問項目が「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」に変更となったため、参考値として記載

(※4) 令和6年2月から「夢育パートナーズ」へ移行

■マークは、対象に岡山市立学校（高等学校を除く。）を含む指標

※ 政令指定都市である岡山市は、義務教育の実施について、様々な権限を有し、それに基づいて岡山市の実態を踏まえた目標や指標を設定し、独自の教育施策を実施しております。ここでは、県民の皆様に、岡山県全体の教育の状況をご覧いただくため、岡山市における数値も含んだ指標を設定しております。

# 小・中学校等の諸課題に対する県の支援策(主なもの)

## ■指導主事等の派遣・相談

- 学校経営アドバイザー等を派遣し、管理職のビジョンと戦略づくりを支援
- 指導主事を派遣し、授業改善や授業研究の充実に向け、市町村教育委員会や学校を支援  
→義務教育課(086-226-7082)  
岡山教育事務所義務教育支援課(086-221-7753)、津山教育事務所義務教育支援課(0868-24-8705)
- 学習指導、生徒指導、特別支援教育を柱に、学校のニーズに応じて継続的・統合的に課題改善を支援 →岡山教育事務所義務教育支援課(086-221-7753)、津山教育事務所義務教育支援課(0868-24-8705)
- 研修支援  
・市町村等に指導主事を派遣し、喫緊の教育課題及び時代の進展に対応した教育等について研修を行い、教員の指導力向上を支援 →総合教育センター教育支援部(0866-56-9106)
- 学校コンサルテーション  
・生徒指導、特別支援教育等に関する学校課題の解決に向けた効果的な対応策や校内体制の整備等を支援 →総合教育センター教育支援部(0866-56-9106)
- 夢育アドバイザーの派遣 →教育政策課(086-226-7571)

## ■学力向上の取組への支援

- 学力定着状況の把握と結果の活用支援(P.15) →義務教育課(086-226-7082)  
・全国及び岡山県学力・学習状況調査の分析結果について、希望する教育委員会及び小・中学校への個別訪問等による説明の実施  
・学力定着状況確認テスト・定着状況ウォームアップ、中間期学習状況調査
- 授業改善への支援(P.15-16) →義務教育課(086-226-7082)  
・授業改革推進リーダー・推進員等による授業改善の推進と好実践の普及・拡大  
・学力調査官を招いての研修会
- 学力向上のための好事例の提供 →義務教育課(086-226-7082)  
・学力向上担当者通信等の発信
- 好事例等の配信 →津山教育事務所義務教育支援課(0868-24-8705)  
・学力向上、生徒指導等に関する好事例や指導資料を提供  
・研究授業等をリアルタイムオンライン配信  
・オンラインサークル(若手教員、管理職、生徒指導等)を開催

## ■地域の力の活用

- 地域住民の参画による地域学校協働活動の取組の推進(P.46)  
・おかやま子ども応援事業  
→生涯学習課(086-226-7597)  
岡山教育事務所生涯学習課(086-221-7776)、津山教育事務所生涯学習課(0868-24-8703)  
・地域学校協働活動推進事業 →生涯学習課(086-226-7597)  
・夢育パートナーズ推進事業 →生涯学習センター学習相談(086-251-9758)
- コミュニティ・スクールの導入(学校運営協議会設置)に向けての支援  
→義務教育課(086-226-7584)、特別支援教育課(086-226-7912)  
岡山教育事務所義務教育支援課(086-221-7753)、岡山教育事務所生涯学習課(086-221-7776)  
津山教育事務所義務教育支援課(0868-24-8705)、津山教育事務所生涯学習課(0868-24-8703)
- 小・中学生の学びのコンテンツサイト「おかやま まなびとサーチ」 →生涯学習課(086-226-7596)

## ■子どもたちの体力向上への支援 →保健体育課(086-226-7592)

- 楽しく魅力的な授業への改善と指導力の向上(P.54)  
・小学校へ体力向上推進リーダーを配置、小・中学校への指導主事の派遣
- 子どもたちが達成感を感じられる機会の提供(P.54)  
・児童生徒の運動意欲の向上や運動習慣の定着に向けた支援
- 生徒にとって望ましいスポーツ環境構築の観点に立った運動部活動の推進(P.17、55)  
・中学校部活動指導員の配置、「部活動方針」の実践を推進するための取組

## ■GIGAスクール構想の推進 →高校教育課教育情報化推進室(086-226-7826)

- 教員のICT活用指導力の向上や、ICTを活用した授業づくり等に向けた支援を実施

## 岡山県教育委員会

学力向上に関すること : 義務教育課  
問題行動等に関すること : 人権教育・生徒指導課  
特別支援教育に関すること : 特別支援教育課  
支援出先機関 : 教育事務所(岡山・津山)  
総合教育センター

## 市町村教育委員会

困ったときは、所管の市町村教育委員会に相談してください。県のサポートが受けられます。

### ■教職員の資質能力向上等 →総合教育センター企画部(0866-56-9102)

- 学校の諸課題を踏まえた専門研修の実施
- 総合教育センターが制作した研修動画をホームページやYouTubeチャンネルで配信

### ■長期欠席・不登校対策への支援

#### ○未然防止の取組への支援(P.11-13)

→人権教育・生徒指導課(086-226-7589,7612)

- ・岡山型長期欠席・不登校対策スタンダードに基づく研修
- ・登校支援員・別室支援員の配置(小のみ)
- ・心の居場所推進プロジェクト(自立応援室の設置)
- ・スクールカウンセラー(SC)の配置
- ・1人1台端末を活用した心の健康観察調査研究

#### ○登校に向けた支援(P.11-13)

- ・研修支援(再掲)
- ・SCの配置(再掲)
- ・岡山県教育支援センター「My Place」
- 人権教育・生徒指導課(086-226-7589)
- ・オンライン上の居場所づくり
- 総合教育センター教育支援部(0866-56-9106)

#### ○家庭への支援(P.11-13)

- ・スクールソーシャルワーカー(SSW)の派遣
- 人権教育・生徒指導課(086-226-7589)

### ■いじめ問題への対応支援

→人権教育・生徒指導課(086-226-7589,7612)

#### ○未然防止や個別事案への対応支援(P.48-49)

- ・ネットパトロールによるインターネット上の不適切な書き込みの監視やネット問題に関する相談
- ・いじめ問題に関する相談・支援
- ・心と命のサポート事業

### ■学校の荒れの解消への支援

#### ○問題行動への対応支援(P.11-12)

- ・学級崩壊等への早期支援
- ・学級サポートチームの派遣
- 人権教育・生徒指導課(086-226-7589)
- ・教育支援員・別室指導支援員の配置
- 岡山教育事務所義務教育支援課(086-221-7753)
- 津山教育事務所義務教育支援課(0868-24-8705)

#### ○家庭への支援(P.11-12)

- ・SSWの派遣(再掲)

### ■スマホ・ネット問題への対応支援

#### ○スマホ・ネット問題総合対策の推進(P.50)

- ・児童生徒の主体的な活動の促進
- 人権教育・生徒指導課(086-226-7589)
- ・教職員の指導力向上の促進
- 義務教育課(086-226-7584)
- 高校教育課(086-226-7585)
- ・家庭・地域への啓発活動の促進
- 生涯学習課(086-226-7596)

### ■特別な支援を必要とする児童生徒への指導に関する支援 →特別支援教育課(086-226-7912)

#### ○校内支援体制整備への支援(P.24-26)

- ・特別支援教育エキスパートの派遣 →各県立特別支援学校
- ・通常の学級における特別支援教育の観点を取り入れた実践ガイドを配信
- ・個別の教育支援計画等の作成、活用における好事例の普及
- ・医療的ケアを必要とする児童生徒への支援及び校内体制の整備等に対し、指導医を派遣し助言を実施

### ■教職員の心身の健康管理支援

#### ○こころとからだの健康相談

→相談専用電話(086-235-8349)

教職員の身体的・精神的な悩みについて、福利課保健師が相談に応じ、心身の健康に関するアドバイスや医療機関の情報提供等を実施(本人、家族、管理職からの相談が可能)

#### ○ほっとスペース

→総合教育センター教育支援部(0866-56-9106)

研修講座の後、教職員からの相談に指導主事が対応

### ■上記の取組によっても学校だけでは解決困難な事案への支援

#### ○重大事態への対応の支援

- ・緊急危機支援チームの派遣、弁護士への法律相談(岡山型スクールロイヤー制度)

# 県立学校の諸課題に対する県の支援策(主なもの)

## 岡山県教育委員会

学力向上に関すること	： 高校教育課指導班 義務教育課
問題行動等に関すること	： 人権教育・生徒指導課生徒指導班
特別支援教育に関すること	： 特別支援教育課
支援出先機関	： 総合教育センター

### ■指導主事等の派遣・相談(中・中等・高・特)

- 教科の指導や各領域の教育活動、教職員の研修など、学校の教育活動全般にわたって、学校運営を支援  
→義務教育課(086-226-7584)、高校教育課(086-226-7585,7586)、特別支援教育課(086-226-7912)
- 研修支援  
県立学校等に指導主事を派遣し、喫緊の教育課題及び時代の進展に対応した教育等について研修を行い、教員の指導力向上及び学校力の向上の支援を実施  
→総合教育センター教育支援部(0866-56-9106)
- 学校コンサルテーション  
生徒指導、特別支援教育等に関する学校課題の解決に向けた効果的な対応策や校内体制の整備等を支援  
→総合教育センター教育支援部(0866-56-9106)
- 夢育アドバイザーの派遣 →教育政策課(086-226-7571)

### ■学力向上の取組への支援

→高校教育課(086-226-7585)

- 基礎基本の徹底に向けた取組(P.37)
  - ・高校生の学力状況の分析
- 思考力等の育成に向けた取組(P.37)
  - ・生徒の学びの場の提供
  - ・「高い志」醸成プロジェクト

### ■GIGAスクール構想の推進

→高校教育課教育情報化推進室(086-226-7826)

- ・教員のICT活用指導力の向上や、ICTを活用した授業づくり等に向けた支援を実施
- ・情報機器やネットワークに関する教職員への技術的な支援を実施(ICT支援員の派遣等)

### ■特別な支援を必要とする児童生徒への指導に関する支援 →特別支援教育課(086-226-7912)

- 県立学校における特別支援教育の充実(P.24-26)
  - ・特別支援教育エキスパートの派遣(中・中等・高・特) →各特別支援学校
  - ・通級による指導の実施(高)
  - ・就労支援コーディネーターの派遣(中等・高・特)
  - ・個別の教育支援計画等の作成、活用における好事例の普及(中・中等・高)

### ■地域の力の活用(中・中等・高・特)

- 地域住民の参画による地域学校協働活動の取組の推進(P.46)
  - ・地域学校協働活動推進事業 →生涯学習課(086-226-7597)
  - ・夢育パートナーズ →生涯学習センター学習相談(086-251-9758)
- コミュニティ・スクール(学校運営協議会設置)に向けての支援  
→高校教育課高校魅力化推進室(086-226-7825)、特別支援教育課(086-226-7912)

### ■子どもたちの体力向上への支援 →保健体育課(086-226-7592)

- 楽しく魅力的な授業への改善と指導力の向上(P.54)
  - ・希望する学校へ指導主事を派遣し、授業改善をサポート(中・中等)
- 子どもたちが達成感を感じられる機会の提供(P.54)
  - ・児童生徒の運動意欲の向上や運動習慣の定着に向けた支援(中・中等・高・特)
- 生徒にとって望ましいスポーツ環境構築の観点に立った運動部活動の推進(P.17、55)
  - ・部活動指導員の配置、「部活動方針」の実践を推進するための取組(中・中等・高・特)



©岡山県マスコット ももっち

### ■問題行動等の解消へ向けた支援

#### ○未然防止の取組への支援 (P. 48-49, 58-59)

- ・ 県立学校人権教育サポート事業 (中・中等・高・特)
- ・ 心と命のサポート事業 (中・中等・高・特)
- ・ 「人」台端末を活用した心の健康観察調査研究事業 (中・中等・高・特)  
→人権教育・生徒指導課 (086-226-7612)

#### ○問題行動・不登校等への対応の支援 (P. 11-12, 24)

- ・ 思春期サポート事業 (中等・高)
- ・ 学級崩壊等への早期支援 (中・中等)
- ・ 学級サポートチームの派遣 (中・中等) →人権教育・生徒指導課 (086-226-7589)
- ・ 特別支援学校スクールカウンセラー等配置事業 (特) →特別支援教育課 (086-226-7912)
- ・ 不登校児童生徒「心の居場所」オンライン支援事業 →総合教育センター教育支援部 (0866-56-9106)

#### ○家庭への支援 (P. 11-13, 24)

- ・ S S Wの派遣 (中・中等・高) →人権教育・生徒指導課 (086-226-7589)

### ■スマホ・ネット問題への対応支援

#### ○スマホ・ネット問題総合対策の推進 (P. 50)

- ・ 児童生徒の主体的な活動の促進 (中・中等・高)  
→人権教育・生徒指導課 (086-226-7589)
- ・ 教職員の指導力向上の促進 (中・中等・高・特)  
→義務教育課 (086-226-7584)、高校教育課 (086-226-7585)
- ・ 家庭・地域への啓発活動の促進 (中・中等・高・特)  
→生涯学習課 (086-226-7596)

### ■教職員の資質能力向上等 (中・中等・高・特)

→総合教育センター企画部 (0866-56-9102)

- 学校の諸課題を踏まえた専門研修の実施
- 総合教育センターが制作した研修動画をホームページやYouTubeチャンネルで配信

### ■いじめ問題への対応支援 (中・中等・高・特)

#### ○未然防止や個別事案への対応支援 (P. 48-49) →人権教育・生徒指導課 (086-226-7612, 7589)

- ・ ネットパトロールによるインターネット上の不適切な書き込みの監視やネット問題に関する相談
- ・ いじめ問題に関する相談・支援

### ■教職員の心身の健康管理支援 (中・中等・高・特)

#### ○こころとからだの健康相談 →相談専用電話 (086-235-8349)

教職員の身体的・精神的な悩みについて、福利課保健師が相談に応じ、心身の健康に関するアドバイスや医療機関の情報提供等を実施 (本人、家族、管理職からの相談が可能)

#### ○過重労働による健康障害防止のための面接指導 →福利課 (086-226-7604)

時間外労働時間が月80時間又は2ヶ月平均月80時間を超過する場合や健康面で不安を抱える等の場合は、所属長への申し出により職場の産業医による面接指導を実施。

#### ○ほっとスペース →総合教育センター教育支援部 (0866-56-9106)

研修講座の後、教職員からの相談に指導主事が対応。

### ■上記の取組によっても学校だけでは解決困難な事案への支援 (中・中等・高・特)

#### ○重大事態への対応の支援

- ・ 緊急危機支援チームの派遣、弁護士への法律相談 (岡山型スクールロイヤー制度)

# 施策の概要

- 以下は、第3次岡山県教育振興基本計画の体系に沿って、それぞれの施策ごとに実施する事業を整理しています。
- 対象については、一部略称で記載しており、その凡例は次のとおりです。
 

保：保育所 幼：幼稚園 こ：認定こども園 小：小学校（義務教育学校前期課程含む。）  
 中：中学校（義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程含む。）  
 高：高等学校（中等教育学校後期課程含む。） 特：特別支援学校 教委：教育委員会

## 1 魅力ある学校づくりの推進

### (1) 子どもたちが落ち着いて学習できる環境の整備

子どもたちが落ち着いた授業環境で意欲的に学ぶことができるよう、学習意欲や学級集団の意識を高める取組の推進、学び合う集団の育成、学習の基盤となる授業規律の確保に努めるとともに、生徒指導対応等のための教員や支援員などの効果的な配置・活用等を図ることにより、魅力ある学校づくりを推進します。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
<b>授業規律の確立</b>		「岡山型学習指導のスタンダード（増補版も含む）」の徹底			
		市町村の保幼小接続カリキュラムの実施・改善のための取組の支援			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
小1グッドスタート支援事業	小	小学校第1学年の児童数が30人以上の学級に、地域の人材を活用した支援員を配置し、基本的な生活習慣の確立や基礎学力の向上を図り、学校生活を円滑にスタートできるようにする。			68,341
就学前教育推進プロジェクト	保、幼こ、小 教委	就学前教育スーパーバイザーを配置し、保幼小接続スタンダードの普及や市町村への指導・助言や支援等を行い、市町村の指導体制の充実を図る。			5,141

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
<b>落ち着いた学習環境づくりへの支援</b>		生徒指導体制の確立・充実に向けた関係機関との連携			
		専門家（スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等）の活用			
		学級崩壊等の解消に向けた支援員等の派遣			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
スクールカウンセラー（SC）配置事業	小、中	公立全小中学校にSCを配置し、子どもたちの心のケアや教員研修を実施する。また、スーパーバイザー（SV）による指導助言、全体研修等を実施し、SCの対応力の強化を図る。			149,857
スクールソーシャルワーカー（SSW）を活用した行動連携推進事業	小、中高	公立全小中高等学校を担当SSWが巡回し、関係機関等と連携しながら児童生徒の背景要因への支援を行い、問題行動等の解決を図る。また、SVによる指導助言や全体研修等を実施し、SSWの対応力の強化を図る。			195,989

R 6の取組	対象	内容	予算額(千円)
思春期サポート事業 <b>拡充</b>	高	全県立高等学校に対し、専門家による生徒・保護者へのカウンセリング、教職員への助言・研修、心理教育等の実施を支援し、高等学校の教育相談力の向上を図る。 【拡充内容】派遣回数：年19回/校 → 年24回/校	15,252
学級サポートチーム派遣事業	小、中	学級がうまく機能しない状況がある公立小中学校に対して、保健福祉等の専門家による専門指導員（学級サポートリーダー）を派遣するとともに、教育支援員を一定期間配置し、問題解決を支援する。	15,292
学級崩壊等早期対応事業	小、中	問題行動が見え始めた学校に、警察OBと教員OBのペアによる集中指導員等を一定期間継続的に派遣し、指導体制の強化を図るとともに、授業エスケープ等が見られる児童生徒の教室復帰に向けた学習支援等を行う別室指導支援員を一定期間配置する。	52,948

## (2) 不登校を生まない学校づくりの推進

長期欠席・不登校対策スタンダードに基づく、不登校対策担当教員を中心とした学校の組織的な対応、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等の専門家の活用や関係機関との連携を推進し、子どもたちの個々の状況に応じた学習支援や生活支援を徹底することで、誰もが安心して通える、長期欠席・不登校等を生まない魅力ある学校づくりを推進します。

主な取組の項目	R3	R4	R5	R6
学校の組織的対応力の向上	長期欠席・不登校対策スタンダードの徹底			
	不登校対策別室指導の実践研究（ICTの活用を含む） 県内への普及			
				心の健康観察の活用方法の研究
R 6の取組	対象	内容	予算額(千円)	
小学校における長期欠席・不登校対策システム化推進事業	小	小学校において、不登校対策担当者を中心とした長期欠席・不登校対策に係る対応のシステム化を推進し、学校訪問や研修等によって、組織的な対応力を向上させるとともに、登校支援員の家庭に対する登校アプローチや別室支援員による別室対応などにより、長期欠席・不登校傾向にある児童への支援を行い、長期欠席・不登校の抑制を図る。	116,752	
長期欠席・不登校対策スタンダード普及徹底	小、中高	「岡山型長期欠席・不登校対策スタンダード」や「起立性調節障害対応ガイドライン」等の活用を全県で徹底する。	- (運営費で対応)	
心の居場所推進プロジェクト <b>拡充</b>	小、中	小学校には専属教員を1名配置、中学校には専属教員と支援員（市町村立は市町村費支援員）を各1名配置した自立応援室を設置し、教室復帰に向けた学習指導、生活支援等を行うことで、長期欠席・不登校の解消を図る。 【拡充内容】自立応援室：小学校 11校 → 〇校 中学校 33校 → 〇校 また、県下に別室指導の成果を普及し、自立応援室の設置拡大につなげるため、別室指導推進員を派遣し、設置及び運営に対する支援を図る。	10,478 (専属教員の配置は運営費で対応)	
1人1台端末を活用した心の健康観察調査研究事業 <b>新規</b>	小、中高、特	1人1台端末を活用した心の健康観察の活用方法等を研究することにより、児童生徒のメンタルヘルスの悪化や小さなSOS等の変容を早期に把握し、積極的に対応することで、不登校の未然防止を図る。	6,277	



# 長期欠席・不登校対策

小・中・高等学校における不登校の出現割合(児童生徒1千人当たり)の全国平均との差  
 対象 (現況) R4: -5.1人 → (R6目標) 全国平均値以下

対象



欠席が30日以上  
 の長期欠席・不登校児童生徒

欠席が10〜29日の児童生徒

すべての児童生徒

**不登校児童生徒「心の居場所」オンライン支援事業 新規**  
**○オンライン応援室**  
 ・ 社会へつながることが困難な不登校児童生徒に対し、オンライン上の居場所を確保



**多様な生徒を対象とした特色ある高校づくり推進事業 新規**  
**○岡山県教育支援センター「My Place」**  
 ・ 進学意欲のある不登校の中学生を対象とする教育支援センターを県立高校1校に新たに設置



**スクールカウンセラー配置事業**  
 ・ 全公立小・中・義務教育・中等教育学校へ配置  
**スクールソーシャルワーカーを活用した行動連携推進事業**  
 ・ 有資格であるSSWを公立小・中・義務教育・中等教育・高校へ配置  
**思春期サポート事業**  
 ・ 高校における不登校等の支援充実のための教育相談体制の強化  
 勤務日数の拡充 19日/年 ⇒ 24日/年



**心の居場所推進プロジェクト**  
 【中学校】(33校 → 拡充)  
 【小学校】(11校 → 拡充)  
 ・ 自立応援室(別室)の設置・運営に対する支援を行う推進員を配置



◆児童生徒と『つながり』を切らないためのICTを活用した不登校対策  
 (長期欠席・不登校対策スタンダード普及徹底事業)

**小学校における長期欠席・不登校対策システム化推進事業**



教室  
 別室支援  
 別室支援員  
 登校アプローチ  
 登校支援員

**1人1台端末を活用した心の健康観察調査研究事業 新規**  
 ・ 児童生徒の心や体調の変化を早期に発見し、適切な支援につなげるために、心の健康観察アプリの効果的な活用方法を研究



**『岡山型長期欠席・不登校対策スタンダード』に基づく対応の徹底**

- 登校や外出の状況等に基づき、「状態0」から、「状態6」までの7段階に区分した状態評価の導入による児童生徒一人ひとりの状態に応じた対応
- 支援対象者リスト等による長期欠席・不登校に関する情報の一元化・可視化の推進
- 『スタンダード増補版』を活用した、別室指導やICTの活用による不登校対策を推進

**夢や目標の具現化に向けた自己存在感・充実感を感じられる学校・学級づくり**

- ◎ 授業改善の推進・・・課題解決に向け、自ら学び方を選択し「わかった」「できた」が実感できる
- ◎ 道徳・特別活動・総合の充実・・・多様な「人・もの・こと」と関わりながら自分のよさや可能性に気づき、自己の生き方につなげて考えることができる
- ◎ 人権を尊重する環境づくり・・・自分が大切にされていると実感し、自他の大切さを認め合うことができる

### (3) 教師の授業力の向上と魅力ある人材の確保

子どもたち一人ひとりの学習状況を的確に把握し、習熟度別指導など個に応じたきめ細かい指導や、探究的な学びを充実します。また、校長のビジョンと戦略に基づく学校経営を支援し、学力向上等に向けた学校の組織的な対応力の向上を図るとともに、授業力が高く、新たな教育課題に対応できる、不断に学び合う教員を育成します。

また、教職員の長時間勤務の改善のため学校現場の働き方改革を推進し、生み出した時間で多様な経験を積むことで、教育の効果を高めるとともに、職場における教職員の安全の確保及び健康の保持増進、働きやすい職場環境づくり等の取組の充実を図ります。

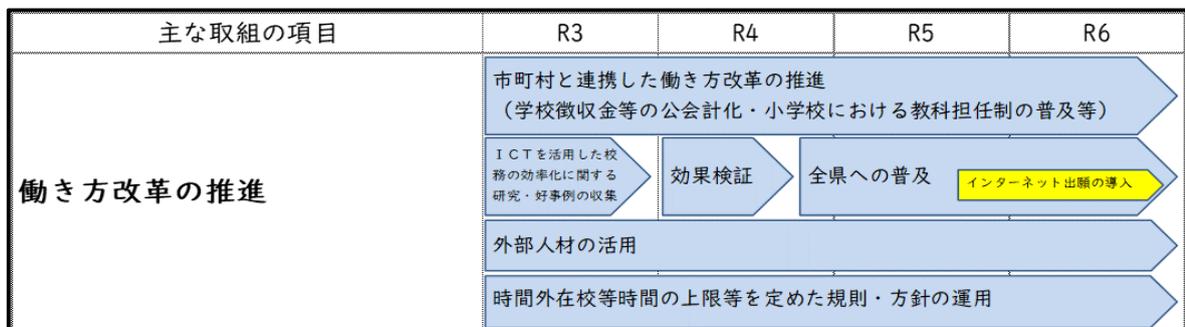
さらに、教職員には、強い使命感や社会性、実践的指導力など、様々な教育課題に適切に対処できる資質能力が求められるため、人間性豊かで自身が夢や目標を持ち、学び続ける魅力ある人材の確保や、採用後研修の充実、適切な人事管理等を行います。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
学力状況の把握		学力・学習状況の調査、調査結果の分析活用			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
岡山県学力・学習状況調査	小、中特	小学校第3～5学年、中学校第1～2学年を対象に学力・学習状況調査を実施し、全国の同学年と比較した学力状況等を把握するとともに、学年毎の経年変化を追跡・分析し、授業改善や個に応じたきめ細かい指導に活用する。 結果分析により、学習指導上の課題や学力向上施策の効果を検証し、施策の改善を図る。			68,109
学力定着状況確認テスト・定着状況ウォームアップ	小、中	全国及び岡山県学力・学習状況調査で把握した課題の改善状況についてC B T (Computer Based Testing)方式による確認テストを学期に1回程度実施し、年度末までに課題の解消を図ることで、つまづきを翌年度に繰り返さない改善サイクルを確立する。			- (運営費で対応)
英検I B Aを活用した授業改善推進事業 <b>新規</b>	中	中学校3年生に英検I B Aの受験機会(秋頃)を措置し、受験結果を基に、地区ごとにオンライン研修会・分析会を開催し、学校全体の指導改善につなげる。			4,900

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
学校経営の支援		学校経営アドバイザー等による学校訪問 指導主事の派遣による授業改善等の支援			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
学校経営力向上支援事業	小、中	学校経営に優れた校長経験者を学校経営アドバイザーとして学校へ派遣し、校長の学校経営を支援することにより、学校の評価・改善サイクルの機能の促進を図り、より主体的かつ組織的な教育活動の質の向上を図る学校風土を醸成する。			- (運営費で対応)

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
教師の授業力の向上		指導主事の派遣による授業改善等の支援（再掲）			
		授業改革推進リーダー・推進員の配置			
		小学校における専科指導の充実 中学校における「タテ持ち」の研究・普及			
		「岡山型学習指導のスタンダード（増補版も含む）」の徹底（再掲）			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
岡山大学・香川大学教職大学院への派遣	小、中高、特	大学、県市町村教育委員会との緊密な連携の下、現職教員を12名程度教職大学院へ派遣し、大学院での本県教育課題の解決に資する政策課題の研究を通して、中核的教員の育成と本県教育の充実を図る。			7,614
県立高校入試の更なるDX化促進事業 <b>拡充</b>	中、高	インターネット出願システムを利用した出願方法を導入し、出願・手数料納付の手続きを簡素化するとともに、高校入試の調査書についてもシステムからの提出とすることで、教員の更なる業務負担軽減を図り、教員が生徒の指導や教材研究等に専念できる環境を整備する。 【拡充内容】 中学校から高校へ提出する調査書を電子化			38,732
県立学校ICT支援員等配置事業	県立学校	授業でのICT活用や機器等の管理運用などの業務への対応のため、県立学校全校へICT支援員による月1回程度の定期訪問及び臨時訪問を行うとともに、コールセンター（ヘルプデスク）を設置する。			65,505
ICT活用指導力レベルアップ推進事業 <b>拡充</b>	小、中高、特	管理職・ICT活用推進リーダー・教職員それぞれの職務・力量に応じた研修・支援を充実させるなど、県内の学校のICT活用指導力のレベルアップを図る。 【拡充内容】 小中学校等に対して、ICT活用推進キャラバンを実施			3,533
ICT活用による個別最適な学習推進モデル事業	高	モデル校3校でEdtechサービスを学習に効果的に活用することで、個別最適な学びを実現し、学習習慣・基礎学力の定着を図るとともに、その教育効果を検証・発信する。			7,579
多層的支援システム構築事業 <b>新規</b>	小	大学教授の指導助言を踏まえた学力調査等の分析結果に基づき、対象を明確化した算数の指導・支援体制を構築する。			691
Waku <sup>x2</sup> 算数推進事業 <b>新規</b>	小、中	算数の課題解決に向け、大学教授や教員等で構成するプロジェクトチームを設置し、「定着状況ウォームアップ」や「学力定着状況確認テスト」の問題作成を行う。 作成した問題は、業者委託により文部科学省CBTシステム(MEXCBT)に登載する。			2,124
英語コミュニケーションスキル向上事業 <b>新規</b>	中	中学校の英語授業における言語活動の充実に向け、大学教授等からの指導助言を踏まえ、単元末のプロジェクト・ベースの言語活動を取り入れた授業の実践研究を行う。			148
授業改革推進チームの配置	小、中	授業改革推進チームを配置し、高い指導力を持ち優れた教育実践を行う教員を、授業改革推進リーダー・推進員として所属校のみならず、他校・地域に派遣することで、地域の授業改善や校内指導体制の確立を進め、教科指導力の向上を図る。			- (運営費で対応)

R 6の取組	対象	内容	予算額(千円)
授業改革支援事業	小、中	学力の向上に向け、学力調査官等を招聘した研修会を開催するとともに、先進県等への中核教員の派遣等により、授業改善や教員の指導力向上を推進する。	6,312
教科指導支援事業	中	教科指導力の向上のため、中学校において、教科会の充実を図るための小規模校連携アドバイザーを派遣し、地域の中学校が連携した合同教科会を研究するとともに、教科担当教員が複数学年を担当する「タテ持ち」の研究を推進し、その成果について県内への普及を図る。	971
外部機関と連携した指導力向上事業	小、中	民間塾等から児童の興味を惹きつける指導法などを学び、教員の意識改革・指導力向上を図る。	3,073



R 6の取組	対象	内容	予算額(千円)
デジタル採点システムの活用	中、高	全県立高等学校等へ導入したデジタル採点システムを活用することで、教員の勤務負担軽減を図り、本来の教育活動に専念できる環境の整備充実を図る。	7,656
保護者連絡システムの導入 <b>新規</b>	県立学校	保護者連絡システムを全県立学校へ導入し、教員の勤務負担軽減を図り、本来の教育活動に専念できる環境の整備充実を図る。	12,144
教師業務アシスタント配置事業 <b>拡充</b>	小、中	印刷や調査統計などの教員が抱える事務作業等を支援する非常勤のアシスタントを全ての公立小中学校に配置し、教員が本来の教育活動に専念できる環境の整備充実を図る。 【拡充内容】 ・教員数15人以上の小中学校 → 全ての小中学校	270,269
県立高校入試の更なるDX化促進事業(再掲) <b>拡充</b>	中、高	インターネット出願システムを利用した出願方法を導入し、出願・手数料納付の手続きを簡素化するとともに、高校入試の調査書についてもシステムからの提出とすることで、教員の更なる業務負担軽減を図り、教員が生徒の指導や教材研究等に専念できる環境を整備する。 【拡充内容】 中学校から高校へ提出する調査書を電子化	38,732
部活動指導員配置事業 <b>拡充</b>	中、高特	教員に代わって部活動指導を行う指導員を配置し、教員の負担軽減を図るとともに、中学校の休日部活動の地域連携を進める。 【拡充内容】※休日配置は新設 市町村立学校配置数 通常:142人→196人 休日:0人→60人 県立学校配置数 通常:25人→27人 休日:0人→8人(県立中学校に配置)	68,227
労働安全衛生管理の充実	県立学校教育機関 本庁	教職員の健康障害及び労働災害の防止に向け、各所属へ産業医を配置し、職場巡視や長時間勤務者への面接指導を実施する等、労働安全衛生管理体制の充実を図る。また、総括安全衛生委員会及び研修会の開催等により、管理監督者及び担当者の安全配慮に関する意識の向上や衛生委員会の活性化等、所属における取組を支援する。	32,804

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
教職員の健康管理		労働安全衛生管理体制の整備や取組の充実 県立学校・県教育機関に配置した産業医の活用の推進 教職員の健康障害・労働災害の未然防止や早期対応の取組の充実 (過重労働・生活習慣病・メンタルヘルス)			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
労働安全衛生管理体制の充実(再掲)	県立学校 教育機関 本庁	教職員の健康障害及び労働災害の防止に向け、各所属へ産業医を配置し、職場巡視や長時間勤務者への面接指導を実施する等、労働安全衛生管理体制の充実を図る。また、総括安全衛生委員会及び研修会の開催等により、管理監督者及び担当者の安全配慮に関する意識の向上や衛生委員会の活性化等、所属における取組を支援する。			32,804
「からだ」の健康管理対策	小、中高、特 教育機関 本庁	生活習慣病に関する健康情報の提供や健康づくりセミナーの実施等により教職員の健康の保持増進を図る。また、早期発見・早期対応・早期治療により疾病の発症や重症化予防を図るため、定期健康診断・人間ドック・器官別健診・特定保健指導等を実施する。			92,952 (共:447,994) (互:138,732)
「こころ」の健康管理対策	小、中高、特 教育機関 本庁	ストレスチェックの実施や研修会の開催等により、セルフケアや管理監督者による適切なラインケアを促進し、精神疾患等の未然防止を図る。また、早期発見・早期対応・早期治療により、精神疾患等の重症化予防を図るため、精神科医・臨床心理士・教員OB等の各種相談窓口を設置する。			15,502 (共:5,872)
休職者の職場復帰対策 (円滑な復職・再発防止対策)	小、中高、特 教育機関 本庁	「岡山県教職員健康診断審査委員会」において、休職・復職等に際しての健康状態の診断及び審査等を実施し、適切な健康管理に万全を期する。また、精神疾患等による休職者に対しては、「岡山県教職員復職支援システム」に基づき、復職の際の「復職プログラム」の実施等、休職中から復職後まで所属における職場復帰の取組を支援する。			3,251

※ 共：公立学校共済組合岡山支部 互：(一財)岡山県教育職員互助組合 で予算措置

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
魅力ある人材の確保等		人物重視の採用の在り方や多様な選考方法についての研究 人材育成方針に基づく総合教育センター等での研修の充実			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
奨学金返還支援事業  新規	一般	本県の公立小学校教員として10年を超えて就業する予定の者を対象に、大学卒業前2年間に貸与を受けた奨学金に相当する額を支給し、本県の教員を志望する大学生等の増加を図る。			—
公立学校教員採用試験	大学生 一般	優れた人材を確保できるよう、岡山県公立学校教員採用候補者の選考資料とするため、公立学校教員採用試験を実施する。			7,623
「教師への道」インターンシップ事業	大学生	教職を目指す大学生が学校現場での教育活動の体験を通じて学校教育への理解を深め、実践的指導力の基礎を身に付ける機会を提供する。			— (運営費で対応)
岡山県・岡山市教員等育成協議会	—	教育公務員特例法に基づき、岡山市と合同で設置している協議会において、県内教員養成系大学等と連携して、県内公立学校等の校長及び教員の資質の向上に関して必要な事項について、協議を行う。			231

# 学ぶ力の育成

将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合  
 小6 61.1% 中3 41.6% (2022(R4))  
 → 小6 70.0% 中3 50.0% (2024(R6))

全国平均正答率との差(全国学力・学習状況調査)  
 小6 ▲1.0P 中3 ±0.0P (2022(R4))  
 → 小6 +1.0P 中3 +1.0P (2024(R6))

## 岡山型課題解決型学習(PBL)推進事業

- 「岡山型PBLガイドブック」に基づいた研究校における実践研究の実施

## おかやま夢発信・交流事業

- PBL等の取組を発信・オンラインで交流する場の提供

## 「君に届け！」夢への架け橋事業(夢ボイス)

- 各方面で活躍する方から子どもたちの夢への実現に向けたメッセージ動画の作成・発信

### 夢を育む教育・キャリア教育の推進

### 学びに向かう力・人間性等の涵養

## 確かな学力の育成

## 学ぶ意欲の向上

### 知識・技能の習得

### 思考力・判断力・表現力等の育成

### 主体的な学びの支援・充実

#### 主体的な学びの基盤づくり事業

- 放課後をはじめ朝学習や休憩時間等の補充学習への支援員の配置

#### ICTを活用した指導の充実

- 「教科等におけるICT活用事例集」に基づいたICTを効果的に活用した授業の展開、好事例の普及

#### 家庭学習指導の推進

- 授業改革推進チームによる算数を中心とした家庭学習の取組の研究・実践、「家庭学習のスタンダード」改訂

### 分析結果に基づく指導・支援

#### 新 多層的支援システム構築事業

- 大学教授の指導助言を踏まえた学力調査等の分析結果に基づく対象を明確化した算数の指導・支援体制の構築

### 教員の指導力向上

#### 授業改革推進チームの配置

- 高い指導力を持ち、優れた教育実践を行う教員を他校・地域に配置

#### 新 英語コミュニケーションスキル向上事業

- 中学校の英語授業の充実に向けた単元末のプロジェクト・ベースの言語活動の進め方の実践・研究

#### 新 Waku<sup>×2</sup>算数推進事業

- 大学教授や教員等と連携した算数の課題に対応した問題の作成、MEXCBTへの問題搭載

#### 定着状況ウォームアップ

- 小学校4～6年生の算数を対象とするCBT(Computer Based Testing)方式による短期の定着状況の確認

### 学力の定着状況の確認

#### 全国学力・学習状況調査

小6 国算

中3 国数

#### 岡山県学力・学習状況調査

小3 国算

小4 国算

小5 国算

中1 国数英

中2 国数英

#### 新 英検IBAを活用した授業改善推進事業

- 中学校3年生が秋に受験する英検IBAの結果を基にした指導改善の推進

中3 英検IBA

#### 学力定着状況確認テスト (CBT方式)

小4 国算

小5 国算

小6 国算

中1 国数

中2 国数

### 学校経営力の強化

#### 学校経営力向上支援事業

- 学校経営アドバイザー等が市町村教委と協働して県内全ての小・中学校等を年複数回訪問し、管理職のビジョンと戦略を支援

#### (4) 就学前教育の質の向上

幼児期は、人格形成の基礎が培われる重要な時期であることから、幼稚園、保育所及び認定こども園の教職員等を対象にした研修の充実や市町村への支援等により、就学前教育における保育・教育の質を一律に向上させることで、就学前の子どもの生活習慣等の確立や、生涯にわたる学びの基礎となる学びに向かう力や非認知能力の涵養を図ります。

また、関係部局との連携により、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ認定こども園の普及等を促し、就学前の教育と保育を総合的に提供するなど、3歳児を含めた就学前教育の選択の幅を広げます。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
<b>教職員等の資質能力の向上</b>		教職員等を対象とした研修の充実・支援			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
就学前教育推進プロジェクト (再掲)	保、幼 こ、小 教委	就学前教育スーパーバイザーを配置し、保幼小接続スタンダードの普及や市町村への指導・助言や支援等を行い、市町村の指導体制の充実を図る。			5,141
就学前の非認知能力育成支援事業	一般	子どもの非認知能力の育成に向け、就学前の子どもを持つ保護者や、子育て支援者に対して「子どもの非認知能力の見取り方に係る研修プログラム」を学ぶ機会の提供及びその指導者の養成を行う。			963

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
<b>小学校教育への円滑な接続</b>		市町村の保幼小接続カリキュラムの実施・改善のための取組の支援(再掲)			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
就学前教育推進プロジェクト (再掲)	保、幼 こ、小 教委	就学前教育スーパーバイザーを配置し、保幼小接続スタンダードの普及や市町村への指導・助言や支援等を行い、市町村の指導体制の充実を図る。			5,141
就学前の非認知能力育成支援事業 (再掲)	一般	子どもの非認知能力の育成に向け、就学前の子どもを持つ保護者や、子育て支援者に対して「子どもの非認知能力の見取り方に係る研修プログラム」を学ぶ機会の提供及びその指導者の養成を行う。			963

## (5) 活力ある小・中学校づくり

地域との協働関係を生かし、地域の実情を踏まえた魅力あるカリキュラムの導入等について支援を行います。また、設置者である市町村が学校の適正規模化や学校種間の連携の在り方等を検討するに当たって、ニーズや実情を踏まえた指導・助言を行うとともに、学校統合を行う場合や小規模校を存続させる場合等について支援を行います。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
地域の実情を踏まえた活力ある学校づくり		コミュニティ・スクールの導入・充実に関する支援			
		小中一貫教育の導入、義務教育学校の設置に関する指導・助言			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
岡山型課題解決型学習(PBL)推進事業	小、中	岡山型課題解決型学習(PBL)の考え方や学習過程をまとめたガイドブックの周知・活用促進を図る研究校2校に対して指導・助言を行い、その成果について県内への普及を図る。			1,901
「君に届け！」夢への架け橋事業	小、中	小・中学生を対象とした各方面で活躍する方(10名程度)からの夢への実現に向けたメッセージ動画を作成して提供することにより、児童生徒が夢や目標について自らの気持ちに向き合ったり、将来の可能性を膨らませたりする機会を創出する。			5,951
おかやま夢発信・交流事業	小、中	小・中学生が地域の良さの発見・再確認を通じて、学んだ成果を募集し、優れた取組を表彰する「おかやま学びたい賞」を実施する。併せて、応募した学校の実践発表・交流の場として「おかやま学びたい賞フォーラム」を開催し、優れた取組を県内に普及する。 また、課題解決型学習(PBL)を進める学校や小規模校・複式学級のある小学校のうち、希望する学校同士のマッチングを行い、オンライン交流を推進する「遠くとTALK」を実施し、児童生徒に発表・交流の機会を提供する。			946
中学校夜間学級・学びの多様化学校調査研究事業	教委	義務教育未修者や不登校経験者等の教育機会の確保に向け、中学校夜間学級等の学び直しの場の提供について、市町村教委や関係機関等と情報共有・調整を行うとともに、先進事例を調査する。 また、学びの多様化学校(いわゆる不登校特例校)について、他県等の情報を収集し、市町村教委に情報共有を行う。			393
コミュニティ・スクール伴走支援体制構築事業	教委	コミュニティ・スクール(CS)について豊かな知識と実践を有する者を「CSアドバイザー」として市町村や研修会に派遣して支援することで、CSの導入促進や質的向上等を目的とした「伴走支援」を進める。			308
学校における「地域連携担当」の活動推進	小、中 特	教職員に対して担当者研修会の実施及び地域学校協働活動に関する情報提供の機会を設け、地域とともにある学校づくりの中心的な役割を担う「地域連携担当」の資質向上及び活動の促進を図る。			- (運営費で対応)

主な取組の項目	R3	R4	R5	R6
小規模小・中学校への支援	全体的な人事配置、小規模校や複式学級支援のための教員配置			

主な取組の項目	R3	R4	R5	R6
学校の再編を検討・実施する市町村への支援	市町村訪問等によるニーズの把握や指導・助言、情報収集・提供			
	再編に伴う教員加配			

## (6) 高等学校段階における教育の充実

生徒数の減少が進む中、学習環境の維持向上を図り、学校の活力を高めていくことができるよう、県立高等学校の魅力化・活性化に取り組みながら再編整備に向けた検討を行います。県立高等学校の教育体制の整備に当たっては、時代の変化に対応した新しい教育内容の研究や学校ICT環境をはじめとした施設・設備の整備を進め、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動など、地域や地元自治体・大学等との連携・協働を推進することで、時代の変化に対応した人材育成に資する、魅力ある高等学校づくりを推進します。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
<b>魅力ある高等学校づくりの推進</b>		時代の進展や社会のニーズに対応した魅力づくりの推進			
		コーディネーターの配置等による地域連携や留学、姉妹校交流、ICTを活用した国際交流の促進			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
学校経営予算	中、高	校長が弾力的に運用できる予算制度として、校長の裁量権を発揮させることで各学校の教育目標の達成を図る。学校規模等に応じて配分する「基本配分枠」、県が設定した教育課題に取り組む「重点事業枠」により、各学校の事業を推進する。			64,355
おかやま高校生地域未来創造事業	高	高校生が中山間地域等において地域の課題解決に取り組むことにより、地域への愛着心醸成と地域貢献の意欲向上を図り、中山間地域で活躍する次代の人材を育成する。			4,500 (県民生活部 予算)
「高い志」醸成プロジェクト	高	学校の垣根を越えた学びの場を提供し、他校の生徒と切磋琢磨する中で、「高い志」の醸成と「高い学力」の育成を図る。			1,865
スーパーエンパイロメントハイスクール研究開発事業	高	環境教育を重点的に行う学校を2校指定し、カリキュラムの開発、大学や研究機関との効果的な連携方策等について研究を推進し、課題に気付き、その解決に積極的に取り組むことのできる人材の育成を図る。			3,178
オンライン国際交流コーディネーター配置事業	高	県教委にコーディネーターを配置し、交流先の開拓や調整等を行うことで、県立高等学校等におけるオンライン国際交流の円滑な実施を図ることにより、生徒の留学への興味や意欲を高め、ポストコロナ期における海外留学生数増加に繋げる。			1,305
夢に向かって世界に羽ばたけ！岡山の高校生応援事業 <b>拡充</b>	高	留学促進のための講演や留学相談を行うフェアを開催するとともに、留学する高校生等に対し、留学経費の一定額を支援する。また、留学コーディネーターの配置等による高校生の留学、海外姉妹校提携・交流の促進などにより、海外大学進学への意識の向上を図る。 【拡充内容】 家庭の事情等により留学を諦めることのないよう、留学支援金に「チャレンジ枠」を設ける。			20,527
高等学校DX加速推進事業(DXハイスクール) <b>新規</b>	高、特	高等学校段階におけるデジタル等成長分野を支える人材育成の抜本的強化を図るため、そのために必要なICT機器の整備等の環境整備を行う。			200,000 (令和5年度 11月補正予算)
高校コーディネーターによる高校と地域の連携・協働推進事業 <b>新規</b>	高	高校と地元自治体等との更なる連携強化等により、県立高校の魅力化・特色化を進めるため、コーディネーターを配置する。また、研修や講演会等を通じてコーディネーターの資質向上を図るとともに、コーディネーターの業務と活用のノウハウを整理し、地元自治体等との連携協力体制の構築を支援する。			17,124

R 6の取組	対象	内容	予算額(千円)
次世代おかやま「夢育」ネットワーク事業  新規	高	<p>高校生が「夢」を育み、その実現に向けた課題を見だし、解決のために学校の枠を越え、他者と協働して学び、探究する機会を創出するため、以下の取組を行う。</p> <p>①Well-beingセミナー 高校生がWell-beingな社会の実現に向け、有識者による講演、ワークショップにより学ぶ。</p> <p>②高校生夢育PBLフォーラム 高校生が各校で取り組んだ探究活動の成果を発表するとともに、各校の取組の共有や、情報交換を行う。</p> <p>③おかやま夢育イニシアチブ 岡山大学と岡山県教育委員会が協働し、大学生と高校生という次世代がともに夢を育み、主体的に学ぶ場を課外活動として提供する。</p> <p>④Well-beingサミット ①～③で学んだ生徒がファシリテーターとなり、学んできたことを基に議論し、その内容を提言の形でまとめ、世界に発信する。</p> <p>⑤次世代おかやま夢育コンテスト 次世代リーダーサミット「One Young World」への高校生の派遣の支援を行う。派遣者は、④でまとめた提言を世界に発信するとともに、派遣後は、①～④などにおいて、成果を還元する。</p>	8,215
学校評議員の設置	県立学校	学校運営や教育内容について保護者や地域住民の意向を的確に把握し反映させるため、県立学校において学校評議員制度の充実を図る。	1,838
コミュニティ・スクール(CS)の導入	県立学校	保護者や地域住民、学識経験者等の構成委員が一定の権限を持ち、学校運営や必要な支援に関して協議を行うことで、学校・家庭・地域が一体となって、より質の高い教育の提供を目指す。	4,394
コミュニティ・スクール導入促進のためのコンソーシアム設置事業	高	<p>コミュニティ・スクール(CS)の導入促進及び、効果的なCSの運営体制を整備するため、一つの市町村に複数の県立高校が立地する地域を一箇所指定し、CSのコンソーシアムを作る。(モデル事業)</p> <p>事業終了後、事業成果を他校へ横展開することで、県立高校へのCS導入促進を図る。</p>	1,719
I C T活用による個別最適な学習推進モデル事業(再掲)	高	モデル校3校でEdtechサービスを学習に効果的に活用することで、個別最適な学びを実現し、学習習慣・基礎学力の定着を図るとともに、その教育効果を検証・発信する。	7,579
学校における「地域連携担当」の活動推進(再掲)	県立学校	教職員に対して担当者研修会の実施及び地域学校協働活動に関する情報提供の機会を設け、地域とともにある学校づくりの中心的な役割を担う「地域連携担当」の資質向上及び活動の促進を図る。	- (運営費で対応)

主な取組の項目	R3	R4	R5	R6
県立高等学校の教育体制整備	県立高等学校教育体制整備実施計画に基づく県立高等学校の魅力化・活性化(複数校地の解消、学科改編などを含む。)			
	再編整備に向けた検討等			「再編整備アクションプラン」の策定
R 6の取組	対象	内容	予算額(千円)	
高等学校教育体制整備研究推進事業	高	岡山県立高等学校教育体制整備実施計画(H31.2.15)に基づき、高等学校教育体制整備を推進する。	1,121	

## (7) 特別支援教育の推進

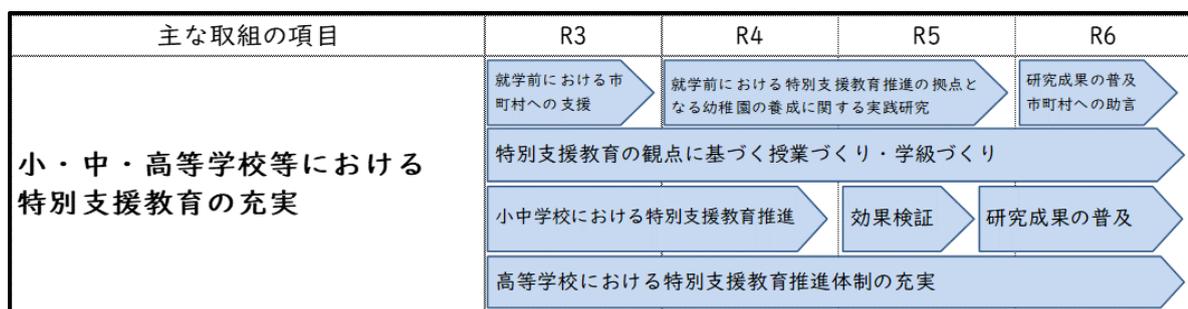
特別支援学校においては、複数の障害種に対応した適切な教育ができる体制の整備や子どもたちへの適切な指導・支援の充実を図るほか、早期からのキャリア教育の推進や域内の特別支援教育を支えるセンター的機能の一層の充実を図ります。

また、小・中・高等学校等においては、子どもたちの達成感、自己肯定感及び学習意欲を高めるため、特別支援教育の観点に基づく授業づくりや学級づくり、ICTの効果的な活用などを通じ、発達障害を含めた特別な支援を必要とする一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援の充実や教職員の指導力の向上を図るとともに、就学前から卒業後までを一貫して支援できるよう関係機関との連携体制を強化します。

さらに、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築の理念に基づきながら、取組の充実を図ります。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
特別支援学校の教育の充実		特別支援学校における特別支援学校教諭免許状保有率の向上			
		センター的機能の強化・充実			
		ICTを活用した教育活動の研究	効果検証	ICTを活用した教育活動の推進	
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
免許法認定講習	小、中高、特	特別支援学校教諭免許状取得に必要な単位を修得できる講習を実施し、特別支援学校に勤務する教員及び特別支援学級を担任する教員等の資質の向上を図る。			2,564
岡山県就労・生活支援研究協議会	特	教育・労働・事業所等の連携により、就労による社会自立や障害の重い生徒に対する支援方策の在り方について検討する。また、原則高等部1、2年生を対象に複数の企業担当者と直接話をする機会として、「ジョブマッチング～特別支援学校生徒のためのジョブフェア～」を開催する。			396
特別支援学校技能検定	特	児童生徒が目標を持って取り組むことができる技能検定を企業団体と連携して企画・開発し、県下の特別支援学校で実施することで、キャリア教育の充実を図る。			882
特別支援学校における新しい教育課題研究事業	特	社会情勢の変化により特別支援学校においても新しい教育課題への対応が求められていることから、指定校2校において第4次岡山県特別支援教育推進プラン等を踏まえた研究テーマに基づく実践研究を行うとともに、その成果を普及する。			317
特別支援学校スクールカウンセラー等配置事業	特	近年、特別な支援を必要とする児童生徒が抱える問題も多様化・複雑化していることから、スクールカウンセラーを全特別支援学校に配置し、生徒・保護者へのカウンセリングや教職員への助言を行い、教育体制の充実を図るとともに、必要に応じてスクールソーシャルワーカーを派遣する。			3,434
医療的ケア充実事業	特	特別支援学校において、たんの吸引や経管栄養等の日常的医療的ケアに係る看護師及び教員等の専門性を高めることにより、医療的ケアの実施体制の充実を図る。			3,947
高等支援学校等就労支援充実事業	高、特	就労支援コーディネーターを県教委に配置し、高等支援学校及び特別支援学校の生徒の職場実習先や就労先の開拓を進めるとともに、特別支援学校と連携し、公立高等学校における特別な支援を必要とする生徒の就労等に関する支援を行う。			6,569

R 6の取組	対象	内容	予算額(千円)
特別支援学校・特別支援学級キャリア教育フェア	小・中特	特別支援学校の生徒が製品の販売・実習実演等を行うことを通して、コミュニケーション力の向上を図り、就労に対する意欲・技能・態度等を養うとともに、特別支援学校及び特別支援学級の児童生徒等による作品の展示を行い、創作活動を通して情操豊かな児童生徒を育成する。	2,459
特別支援学校経営予算	特	校長の裁量権の拡大や経営能力の向上を図るとともに、特色ある学校づくり、地域に開かれた学校づくりを推進し、学校教育の質の向上を図る。	3,746
特別支援学校教員専門研修	特	外部専門家を活用した専門的な研修を実施し、特別支援学校教員の専門性の向上とともに、特別支援学校のセンター的機能の充実を図る。	829
岡山盲学校・岡山聾学校校舎等整備事業	特	老朽化が進む岡山盲学校及び岡山聾学校の新たな校舎等の整備に向けて、基本計画を策定するとともに、大規模施設建設事業評価を実施する。	8,269

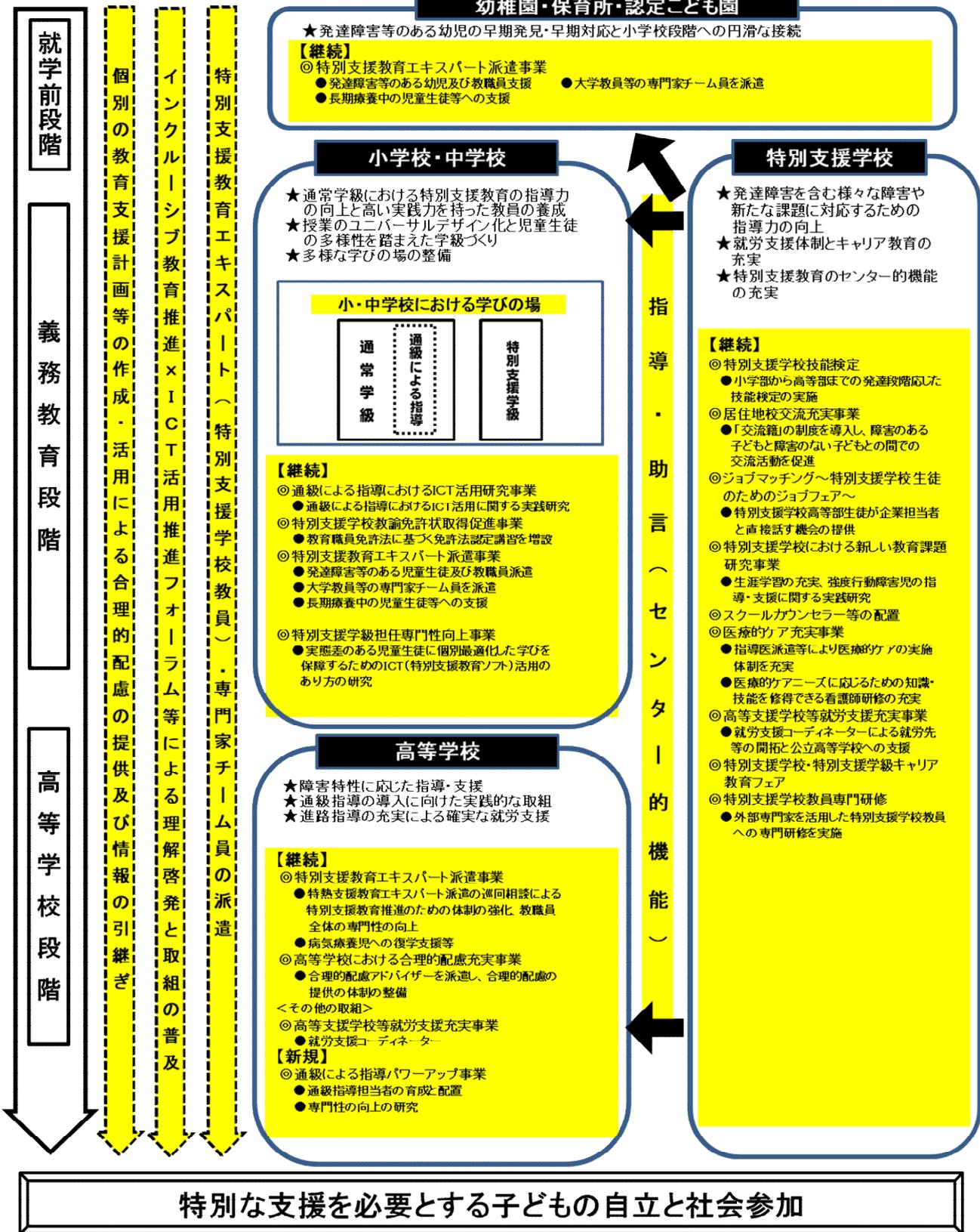


R 6の取組	対象	内容	予算額(千円)
県立高等学校等への特別支援教育支援員の配置	中、高	県立高等学校等に在籍する障害のある生徒に対し、障害の程度に応じ、特別支援教育支援員を配置し、学校生活上の介助等の支援を行う。	15,161
特別支援教育エキスパート派遣事業	幼、保こ小、中高、特	特別支援学校教員のうち専門性の高い者を特別支援教育エキスパートとして指定するとともに、スーパーバイザーとして大学教員等特別支援教育の専門家を専門家チーム員として委嘱し、全ての学校種を対象に学校等からの要請に応じて派遣することにより、特別な支援を必要とする幼児児童生徒への支援体制の整備を図る。また、長期療養中の児童生徒も対象とするとし、県立高等学校等への積極的支援も行う。	1,726
通級による指導パワーアップ事業 <b>新規</b>	中、高	特別な支援を必要とする生徒の教育的ニーズに的確に応えることのできる、連続性のある多様な学びの場の充実・整備を一層進めるため、通級指導担当者の育成と配置及び専門性の向上について研究を行い、その成果を普及することで、通級による指導の充実を図る。	602
特別支援学級担任専門性向上事業	小、中	市町村教育委員会が指定する小・中学校の特別支援学級において、ICT（特別支援教育ソフト）を活用して学級担任の専門性の向上を図るとともに、実態差のある児童生徒に個別最適化した学びを保障するための実践研究を市町村で行う。	944

R 6 の取組	対象	内容	予算額(千円)
高等学校における合理的配慮充実事業	高	県立高等学校2校を研究指定校として指定し、合理的配慮アドバイザーを研究指定校等に派遣することで、高等学校における合理的配慮の提供に係る体制整備を図る。	2,358
高等支援学校等就労支援充実事業(再掲)	高、特	就労支援コーディネーターを県教委に配置し、高等支援学校及び特別支援学校の生徒の職場実習先や就労先の開拓を進めるとともに、特別支援学校と連携し、公立高等学校における特別な支援を必要とする生徒の就労等に関する支援を行う。	6,569
通級による指導におけるICT活用研究事業	小、中	通級による指導において、ICTを活用することにより、遠隔授業や打合せ、人材育成など通級による指導を充実させるための研究を2市町村に委託し、市町村教育委員会が指定した小・中学校において研究を行い、その研究成果を普及する。	2,157
特別支援学校教諭免許状取得促進事業	小、中	教育職員免許法に基づく免許法認定講習を増設し、特別支援学級担任等の特別支援学校教諭免許状の取得を促進するとともに、専門性の向上を図る。	480

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6	
インクルーシブ教育システムの構築のための特別支援教育の充実		「個別の教育支援計画」等の作成と引継ぎの徹底		「個別の教育支援計画」等の活用		
		居住地校交流の研究	効果検証	居住地校交流の拡充		
		通級指導教室等多様な学びの場の充実				
R 6 の取組	対象	内容		予算額(千円)		
居住地校交流充実事業	小・特	交流及び共同学習において、県立特別支援学校全校で「交流籍」の制度を導入し、障害のある子どもと障害のない子どもとの間での交流活動を促進する。		557		
特別支援教育教育課程等協議会	幼、保 こ 小、中 高、特	特別支援学校学習指導要領やインクルーシブ教育システム構築に向けたポイント、特別支援教育の推進に関する課題等について協議することにより、教職員の指導力の向上と教育課程の改善を図る。		83		
広域特別支援連携協議会	幼、保 こ 小、中 高、特	医療、保健、福祉、労働、教育等の関係部局、大学、医師会及び保護者の会が相互の連携を図り、特別な支援を必要とする幼児児童生徒に対し総合的な教育的支援を行うことを目的とした協議会を開催する。		106		
インクルーシブ教育×ICT活用推進事業 <b>新規</b>	幼、保 こ 小、中 高、特	関係者や学識経験者等を招聘してのフォーラムを開催することで、インクルーシブ教育システム構築やICT活用の推進に係る取組についての成果を総括し、合理的配慮としてのICT活用や、個別最適な学びを推進し、全体的な普及を図る。		501		
特別支援学校における新しい教育課題研究事業(再掲)	特	社会情勢の変化により特別支援学校においても新しい教育課題への対応が求められていることから、指定校2校において第4次岡山県特別支援教育推進プラン等を踏まえた研究テーマに基づく実践研究を行うとともに、その成果を普及する。		317		

# 各発達段階ごとの特別支援教育の充実



特別支援教育エキスパート（特別支援学校教員）・専門家チーム員の派遣

個別の教育支援計画等の作成・活用による合理的配慮の提供及び情報の引継ぎ

インクルーシブ教育推進×ICT活用推進フォーラム等による理解啓発と取組の普及

特別支援学校

**特別な支援を必要とする子どもの自立と社会参加**

## (8) 大学等との連携

専門的な知見・資源を有する大学等高等教育機関をはじめ、地域、企業、公益法人、NPOなど民間団体等と連携を図り、学校や地域における子どもたちの学習活動の充実に努めます。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
大学等との連携		高大連携の促進			
		教員養成におけるインターンシップ・ボランティアの促進			
		社会教育施設等での科学体験等の機会の提供			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
「教師への道」インターンシップ事業(再掲)	大学生	教職を目指す大学生が学校現場での教育活動の体験を通じて学校教育への理解を深め、実践的指導力の基礎を身に付ける機会を提供する。			- (運営費で対応)
岡山県・岡山市教員等育成協議会(再掲)	-	教育公務員特例法に基づき、岡山市と合同で設置している協議会において、県内教員養成系大学等と連携して、県内公立学校等の校長及び教員の資質の向上に関して必要な事項について、協議を行う。			231
次世代おかやま「夢育」ネットワーク事業(再掲) <b>新規</b>	高	<p>高校生が「夢」を育み、その実現に向けた課題を見だし、解決のために学校の枠を越え、他者と協働して学び、探究する機会を創出するため、以下の取組を行う。</p> <p>①Well-beingセミナー 高校生がWell-beingな社会の実現に向け、有識者による講演、ワークショップにより学ぶ。</p> <p>②高校生夢育PBLフォーラム 高校生が各校で取り組んだ探究活動の成果を発表するとともに、各校の取組の共有や、情報交換を行う。</p> <p>③おかやま夢育イニシアチブ 岡山大学と岡山県教育委員会が協働し、大学生と高校生という次世代がともに夢を育み、主体的に学ぶ場を課外活動として提供する。</p> <p>④Well-beingサミット ①～③で学んだ生徒がファシリテーターとなり、学んできたことを基に議論し、その内容を提言の形でまとめ、世界に発信する。</p> <p>⑤次世代おかやま夢育コンテスト 次世代リーダーサミット「One Young World」への高校生の派遣の支援を行う。派遣者は、④でまとめた提言を世界に発信するとともに、派遣後は、①～④などにおいて、成果を還元する。</p>			8,215
岡山県生涯学習大学事業	子ども一般	主催講座では、県内文化・社会教育施設9施設と連携し、子どもたちが各施設で主体的に学ぶ「きっず☆ユニバ」を開設する。連携講座では、県や大学等が行う多様な学習講座を体系化し、総合的な学習機会を提供する。			3,050

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
企業等との連携					
		R6の取組	対象	内容	予算額(千円)
産業界と連携した学びの充実（連携協議会の開催）	高	県内の経済6団体との包括連携協定に基づき、県立高校等における産業界と連携した専門的かつ協働的な学びの充実を図る。		- (運営費で対応)	
夢育パートナーズ推進事業	幼、こ小、中高、特一般	子どもたちが「夢」や「目標」を見つけるきっかけとなる活動をしている企業や団体を「夢育パートナーズ」として登録し、学校や地域と連携し、子どもたちの豊かな体験活動の充実を図る。		238	

## (9) 子どもたちの安全の確保

事故の要因となる学校環境や子どもたちの学校生活等における行動の危険を早期に発見し、それらを速やかに除去するとともに、万が一、事故が発生した場合に、適切な応急手当や安全措置ができる体制を確立するなど、子どもたちの安全の確保に向けた取組を推進します。また、日常生活全般における安全確保のために必要な事項を実践的に理解し、生涯を通じて安全な生活を送る基礎を培うとともに、進んで安全で安心な社会づくりに参加し貢献できる資質能力の育成につながる安全教育の充実を図ります。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
生活安全の推進					
		R6の取組	対象	内容	予算額(千円)
県立学校の長寿命化改修	高、特	老朽化した学校施設の環境改善（環境整備）を目的とした長寿命化改修工事を実施し、学校施設の経年劣化の改善や機能向上等を推進する。			1,350,127
学校安全推進事業	小、中高、特	児童生徒が安全に関する資質・能力を身に付けることができるよう、学校安全の中核を担う教員を養成するための研修や、一般教員等を対象とした研修を実施し、学校における実践的な安全教育・安全管理の推進を図る。			1,030
学校安全総合支援事業 <b>新規</b>	小、中高、特	自然災害や登下校中の交通事故、学校内外における不審者による事件等、地域や学校の抱える学校安全上の課題に対して、積極的に取り組む地域や学校を支援するとともに、高校生に対し、災害発生時に救援活動等ができる実践力を身に付け、社会貢献できるボランティアリーダーの養成研修を実施する。			2,508

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
交通安全の推進		交通安全教材の活用促進 活用状況の把握 情報提供			
		地域ボランティアや関係機関との連携			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
学校安全推進事業 (再掲)	小、中 高、特	児童生徒が安全に関する資質・能力を身に付けることができるよう、一般教員等を対象とした研修や、学校安全の中核を担う教員を養成するための研修を実施し、学校における実践的な安全教育・安全管理の推進を図る。			1,030
学校安全総合支援事業 (再掲)	小、中 高、特	自然災害や登下校中の交通事故、学校内外における不審者による事件等、地域や学校の抱える学校安全上の課題に対して、積極的に取り組む地域や学校を支援するとともに、高校生に対し、災害発生時に救援活動等ができる実践力を身に付け、社会貢献できるボランティアリーダーの養成研修を実施する。			2,508
ヘルメットイメージ向上事業 <b>新規</b>	高、特	ヘルメットに対するファッション性のマイナスイメージを払拭するため、高校生から写真を募集し、応募のあった写真等を活用した動画を作成・配信し、ヘルメット着用の普及啓発につなげる。			535

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
災害安全の推進		災害安全教材の活用促進 活用状況の把握 情報提供			
		防災教育に係るモデル研究の推進 モデル校での実施 対事例の書写			
		平成30年7月豪雨災害等の経験を踏まえた学校防災力の強化 県立学校での学校防災マニュアルの継続的な見直しの支援			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
学校安全推進事業 (再掲)	小、中 高、特	児童生徒が安全に関する資質・能力を身に付けることができるよう、一般教員等を対象とした研修や、学校安全の中核を担う教員を養成するための研修を実施し、学校における実践的な安全教育・安全管理の推進を図る。			1,030
学校安全総合支援事業 (再掲)	小、中 高、特	自然災害や登下校中の交通事故、学校内外における不審者による事件等、地域や学校の抱える学校安全上の課題に対して、積極的に取り組む地域や学校を支援するとともに、高校生に対し、災害発生時に救援活動等ができる実践力を身に付け、社会貢献できるボランティアリーダーの養成研修を実施する。			2,508

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
非常時に備えた危機管理体制の充実		災害支援員の養成 講座へ職員派遣			
		災害支援員養成講座の実施 災害支援員教育 被災した学校への災害支援員の派遣			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
教職員による災害時相互応援体制構築事業	幼、こ 小、中 高、特	平成30年7月豪雨災害の経験と教訓を生かして、県内において大規模災害が発生した場合に、被災地の学校教育の早期再開や児童生徒の心のケアを支援するとともに、平時には、学校における防災体制の整備や防災教育の推進を図るため、専門的知識と実践的対応能力を備えた者で構成する「災害時学校支援チームおかやま」を設置・運営する。			1,188
学校安全推進事業 (再掲)	小、中 高、特	児童生徒が安全に関する資質・能力を身に付けることができるよう、一般教員等を対象とした研修や、学校安全の中核を担う教員を養成するための研修を実施し、学校における実践的な安全教育・安全管理の推進を図る。			1,030

## 2 学びのチャレンジ精神の育成

### (1) 夢を育む教育やキャリア教育・職業教育の推進

子どもたちの学びを進めるにあたり、学びに積極的・主体的に取り組んでいけるよう、子どもたちの夢を育み、それに挑戦していく経験を通して、意欲や自信などの「自分を高める力」を育てる「夢育」を、学校教育や社会教育、家庭教育など様々な学びの機会を通じて推進します。

また、子どもたちが、社会の中で自分の役割を果たしつつ自分らしい生き方を実現できるよう、望ましい勤労観や職業観の育成に向け、学校・家庭・地域・企業等が連携したキャリア教育を推進します。

さらに、職場体験活動やインターンシップ及び専門高校における職業教育の充実に向け、企業等に対して教育活動への積極的な協力や参画を促します。



R6の取組	対象	内容	予算額(千円)
スーパーサイエンスハイスクール事業	高	理科・数学に重点を置いたカリキュラムの開発や大学等との連携方策について、県立学校4校を指定し研究する。	6,717
グローバル・リーダー育成拠点構築事業	高	指定校1校において、これまでの国庫補助事業の成果を踏まえ、引き続き本県におけるグローバル人材育成の牽引役として関係機関との連携や海外との交流の充実を図る。また、留学経費の一部を支援する。	1,400
サイエンスチャレンジ	中、高	理数への興味・関心が高い中高校生に対し、理科・数学等の複数分野のチーム対抗の競技会を開催し、団体で協力して課題に取り組む機会を設け、更なる興味・関心の高揚及び学力の向上を図る。また、理数科・理数系コース課題研究発表会との連携を図り、探究を深める。	2,799
科学オリンピックへの道	中、高	理数への興味・関心が高い中高校生を対象としたコンテストを開催し、国際科学オリンピックへの出場を目指すとともに、物理チャレンジの参加費を補助することで、参加者数の増加を図る。	514
オンライン国際交流コーディネーター配置事業(再掲)	高	県教委にコーディネーターを配置し、交流先の開拓や調整等を行うことで、県立高等学校等におけるオンライン国際交流の円滑な実施を図ることにより、生徒の留学への興味や意欲を高め、ポストコロナ期における海外留学生数の増加に繋げる。	1,305
夢に向かって世界に羽ばたけ！岡山の高校生応援事業(再掲)	高	留学促進のための講演や留学相談を行うフェアを開催するとともに、留学する高校生等に対し、留学経費の一定額を支援する。また、留学コーディネーターの配置等による高校生の留学、海外姉妹校提携・交流の促進などにより、海外大学進学への意識の向上を図る。 【拡充内容】 家庭の事情等により留学を諦めることのないよう、留学支援金に「チャレンジ枠」を設ける。	20,527

R 6 の取組	対象	内容	予算額(千円)
次世代おかやま「夢育」ネットワーク事業(再掲)  <b>新規</b>	高	<p>高校生が「夢」を育み、その実現に向けた課題を見だし、解決のために学校の枠を越え、他者と協働して学び、探究する機会を創出するため、以下の取組を行う。</p> <p>①Well-beingセミナー 高校生がWell-beingな社会の実現に向け、有識者による講演、ワークショップにより学ぶ。</p> <p>②高校生夢育PBLフォーラム 高校生が各校で取り組んだ探究活動の成果を発表するとともに、各校の取組の共有や、情報交換を行う。</p> <p>③おかやま夢育イニシアチブ 岡山大学と岡山県教育委員会が協働し、大学生と高校生という次世代がともに夢を育み、主体的に学ぶ場を課外活動として提供する。</p> <p>④Well-beingサミット ①～③で学んだ生徒がファシリテーターとなり、学んできたことを基に議論し、その内容を提言の形でまとめ、世界に発信する。</p> <p>⑤次世代おかやま夢育コンテスト 次世代リーダーサミット「One Young World」への高校生の派遣の支援を行う。派遣者は、④でまとめた提言を世界に発信するとともに、派遣後は、①～④などにおいて、成果を還元する。</p>	8,215
高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール)(再掲) <b>新規</b>	高、特	高等学校段階におけるデジタル等成長分野を支える人材育成の抜本的強化を図るため、そのために必要なICT機器の整備等の環境整備を行う。	200,000  (令和5年度 11月補正予算)
PBLガイドブックを活用した課題解決型学習の推進	高	課題解決型学習(PBL)の手順等を示したガイドブックを活用し、県立高等学校等におけるPBLの推進を図る。	- (運営費で対応)
高校コーディネーターによる高校と地域の連携・協働推進事業(再掲)  <b>新規</b>	高	高校と地元自治体等との更なる連携強化等により、県立高校の魅力化・特色化を進めるため、コーディネーターを配置する。また、研修や講演会等を通じてコーディネーターの資質向上を図るとともに、コーディネーターの業務と活用のノウハウを整理し、地元自治体等との連携協力体制の構築を支援する。	17,124
岡山型課題解決型学習(PBL)推進事業(再掲)	小、中	岡山型課題解決型学習(PBL)の考え方や学習過程をまとめたガイドブックの周知・活用促進を図る研究校2校に対して指導・助言を行い、その成果について県内への普及を図る。	1,901
「君に届け!」夢への架け橋事業(再掲)	小、中	小・中学生を対象とした各方面で活躍する方(10名程度)からの夢への実現に向けたメッセージ動画を作成して提供することにより、児童生徒が夢や目標について自らの気持ちに向き合ったり、将来の可能性を膨らませたりする機会を創出する。	5,951
おかやま夢発信・交流事業(再掲)	小、中	<p>小・中学生が地域の良さの発見・再確認を通じて、学んだ成果を募集し、優れた取組を表彰する「おかやま学びたい賞」を実施する。併せて、応募した学校の実践発表・交流の場として「おかやま学びたい賞フォーラム」を開催し、優れた取組を県内に普及する。</p> <p>また、課題解決型学習(PBL)を進める学校や小規模校・複式学級のある小学校のうち、希望する学校同士のマッチングを行い、オンライン交流を推進する「遠くとTALK」を実施し、児童生徒に発表・交流の機会を提供する。</p>	946

R 6 の取組	対象	内容	予算額(千円)
特別支援学校・特別支援学級キャリア教育フェア (再掲)	小、中 特	特別支援学校の生徒が製品の販売・実習実演等を行うことを通して、コミュニケーション力の向上を図り、就労に対する意欲・技能・態度等を養うとともに、特別支援学校及び特別支援学級の児童生徒等による作品の展示を行い、創作活動を通して情操豊かな児童生徒を育成する。	2,459
特別支援学校技能検定 (再掲)	特	児童生徒が目標を持って取り組むことができる技能検定を企業団体と連携して企画・開発し、県下の特別支援学校で実施することで、キャリア教育の充実を図る。	882
体カアップ・マイベストチャレンジ!	小、中 特	新体カテストの8種目の中から、自分が記録を伸ばしたい2種目を選んで自己記録更新を目指すことにより、児童生徒の体力向上への意欲を高め、自己記録更新に向けて一人ひとりが具体的な取組を行うことにより、運動習慣の定着を図る。	347
みんなでチャレンジランキング	保、幼 こ 小、中 高、特	クラス等のグループ単位で様々な運動に楽しみながら挑戦し、記録をホームページ上で競うことで、園児・児童生徒の運動の習慣化を図る。	348
いきいき岡山っ子☆運動習慣カード	小、特	年3回、ビンゴカードの要素を取り入れた「いきいき岡山っ子☆運動習慣カード」を配付し、児童自らが運動や体を動かす遊びの実施状況を把握することで、自発的かつ継続的に運動しようとする意欲を高める。	- (運営費で対応)
就学前の非認知能力育成支援事業 (再掲)	一般	子どもの非認知能力の育成に向け、就学前の子どもを持つ保護者や、子育て支援者に対して「子どもの非認知能力の見取り方に係る研修プログラム」を学ぶ機会の提供及びその指導者の養成を行う。	963
おかやま子ども応援事業	幼、こ 小、中 高、特	地域住民の参画による地域学校協働活動の取組を推進し、地域ぐるみで子どもを健やかに育むとともに、学校・家庭・地域の教育力の向上を図る。	48,083
音楽公演	小、中 高、特	県内の学校等において、室内楽公演を実施し、児童生徒に優れた芸術・文化に直接触れる機会を提供する。	2,655
小・中学生の学びのコンテンツサイト「おかやままなびとサーチ」夢育コンテンツ強化事業	小、中 特	子どもたちが主体的に学び、将来の夢を育むことができるよう、県内社会教育施設等や県内の民間企業の持つ教育資源を活用した学習用動画や、お仕事紹介動画等を10本程度作成し、「おかやままなびとサーチ」の夢育コンテンツの強化を図る。	2,844
岡山県生涯学習大学事業 (再掲)	子ども 一般	主催講座では、県内文化・社会教育施設9施設と連携し、子どもたちが各施設で主体的に学ぶ「きっず☆ユニバ」を開設する。連携講座では、県や大学等が行う多様な学習講座を体系化し、総合的な学習機会を提供する。	3,050
おかやま☆子ども参観日	幼、こ 小、中 保護者	子どもが、最も身近な大人である保護者等の職場において、働く姿を見たり仕事等を体験したりすることで、子どもたちの勤労観・職業観を育成する。	- (運営費で対応)
夢育パートナーズ推進事業 (再掲)	幼、こ 小、中 高、特 一般	子どもたちが「夢」や「目標」を見つけるきっかけとなる活動をしている企業や団体を「夢育パートナーズ」として登録し、学校や地域と連携し、子どもたちの豊かな体験活動の充実を図る。	238

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
キャリア教育の推進		小中パワーアップ事業における実証研究	効果検証	好事例の県内への普及	
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
高等学校でのインターンシップ等の推進	高	各学校で学科の特色や実態に応じたインターンシップや企業訪問等体験活動の実施を一層推進する。			- (運営費で対応)
高校生のためのジョブフェア	高、特	岡山労働局等と連携して、採用意欲のある企業の参加を募り、県内3会場で合同の説明会を開催し、就職を希望する生徒に、働くことの意義などを考えさせ、望ましい職業意識を身に付けさせる。			1,182
高校生キャリアサポート事業	高	拠点校13校に外部支援員(就職アドバイザー)を配置し、地域内の求人開拓・就職指導・定着指導等のキャリア教育の支援を行う。			6,311
SDGsの取組を進める企業等との連携による探究的な学びの推進	高	SDGsの取組を進める企業等を訪問し、自らの課題についての探究を深める中で、社会における企業等の役割を学ぶ機会の充実を図る。			- (運営費で対応)
PBLガイドブックを活用した課題解決型学習の推進(再掲)	高	課題解決型学習(PBL)の手順等を示したガイドブックを活用し、県立高等学校等におけるPBLの推進を図る。			- (運営費で対応)
次世代おかやま「夢育」ネットワーク事業(再掲)	高	<p>高校生が「夢」を育み、その実現に向けた課題を見だし、解決のために学校の枠を越え、他者と協働して学び、探究する機会を創出するため、以下の取組を行う。</p> <p>①Well-beingセミナー 高校生がWell-beingな社会の実現に向け、有識者による講演、ワークショップにより学ぶ。</p> <p>②高校生夢育PBLフォーラム 高校生が各校で取り組んだ探究活動の成果を発表するとともに、各校の取組の共有や、情報交換を行う。</p> <p>③おかやま夢育イニシアチブ 岡山大学と岡山県教育委員会が協働し、大学生と高校生という次世代がともに夢を育み、主体的に学ぶ場を課外活動として提供する。</p> <p>④Well-beingサミット ①～③で学んだ生徒がファシリテーターとなり、学んできたことを基に議論し、その内容を提言の形でまとめ、世界に発信する。</p> <p>⑤次世代おかやま夢育コンテスト 次世代リーダーサミット「One Young World」への高校生の派遣の支援を行う。派遣者は、④でまとめた提言を世界に発信するとともに、派遣後は、①～④などにおいて、成果を還元する。</p>			8,215
岡山型課題解決型学習(PBL)推進事業(再掲)	小、中	岡山型課題解決型学習(PBL)の考え方や学習過程をまとめたガイドブックの周知・活用促進を図る研究校2校に対して指導・助言を行い、その成果について県内への普及を図る。			1,901

新規

R 6の取組	対象	内容	予算額(千円)
「君に届け！」夢への架け橋事業(再掲)	小、中	小・中学生を対象とした各方面で活躍する方(10名程度)からの夢への実現に向けたメッセージ動画を作成して提供することにより、児童生徒が夢や目標について自らの気持ちに向き合ったり、将来の可能性を膨らませたりする機会を創出する。	5,951
おかやま夢発信・交流事業(再掲)	小、中	小・中学生が地域の良さの発見・再確認を通じて、学んだ成果を募集し、優れた取組を表彰する「おかやま学びたい賞」を実施する。併せて、応募した学校の実践発表・交流の場として「おかやま学びたい賞フォーラム」を開催し、優れた取組を県内に普及する。 また、課題解決型学習(PBL)を進める学校や小規模校・複式学級のある小学校のうち、希望する学校同士のマッチングを行い、オンライン交流を推進する「遠くとTALK」を実施し、児童生徒に発表・交流の機会を提供する。	946
おかやま☆子ども参観日(再掲)	幼、小、中 保護者	子どもが、最も身近な大人である保護者等の職場において、働く姿を見たり仕事等を体験したりすることで、子どもたちの勤労観・職業観を育成する。	- (運営費で対応)

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
職業教育の推進		インターンシップや企業訪問等の促進			
		高校生就職アドバイザーによる就職指導・求人先の開拓等			
R 6の取組	対象	内容			予算額(千円)
高校エキスパート活用事業	高、特	高等学校において、工業、農業、語学、情報機器、理数等について専門的な知識や技能を有する民間企業や地域の人材、外国人講師等の人材を配置し、最先端の技術や知識を学習する機会を提供し、専門性の向上を図る。 また、特別支援学校において、高等部の生徒を、言語聴覚士等の立場から支援できる人材を配置し、様々なニーズへの対応を図る。			22,855
高等学校でのインターンシップ等の推進(再掲)	高	各学校で学科の特色や実態に応じたインターンシップや企業訪問等体験活動の実施を一層推進する。			- (運営費で対応)
高校生キャリアサポート事業(再掲)	高	拠点校13校に外部支援員(就職アドバイザー)を配置し、地域内の求人開拓・就職指導・定着指導等のキャリア教育の支援を行う。			6,311
「森林(もり)の担い手」育成事業	高	林業関連の学習を行う県立高等学校4校の生徒等を対象に、林業就業に向けた高度な技術実習等と、林業大学校や林業関係の先進地への視察を行い、将来における林業の担い手育成に資する。			1,623

R 6の取組	対象	内容	予算額(千円)
高校生発!「木のぬくもり実感」事業	高、特	林業、建築、商品開発等(アイデア等の提案を含む)の学習を行う県立高等学校等の生徒が、県産森林認証材を活用した商品開発や、小中学生等を対象としたものづくり教室を行うことで、県民が県産森林認証材に触れる機会を創出するとともに、県産森林認証材のPRにつなげる。	781
産業教育等設備整備事業	高	県立高等学校の産業教育設備の整備充実を図る。	84,140
産業教育等施設整備事業	高	県立高等学校の産業教育施設の整備充実を図る。	51,165
デジタル化対応産業教育装置の効果的な活用	高	最新のデジタル化に対応した産業教育装置を授業等で有効に活用し、デジタルトランスフォーメーション等に対応した地域の産業界を牽引する職業人材の育成を図る。	- (運営費で対応)
産業界と連携した学びの充実(連携協議会の開催)(再掲)	高	県内の経済6団体との包括連携協定に基づき、県立高校等における産業界と連携した専門的かつ協働的な学びの充実を図る。	- (運営費で対応)

## (2) 子どもたちの学力が伸びる仕組みづくり

小学校や中学校において、家庭学習指導の充実や、支援員の配置等による放課後等の補充学習支援を行うとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴うICTの利活用の加速化や、子どもたちが学びに挑戦できる場の創出により、学校規模や地理的要因にかかわらず、子どもたちが様々な体験や交流を通して、意欲的に学習に取り組める仕組みづくりを進めます。こうした取組により、基礎学力や学習習慣の定着、子どもたちの自ら学ぼうとする意欲やチャレンジ精神の喚起を図ります。

また、高等学校では、ICTの活用による習熟度に応じた授業や、授業時間外の学習機会の充実を図るとともに、教科横断的な視点に立った学校全体の取組の徹底により、知識・技能のみならず、思考力・判断力、学びに向かう姿勢を有する人材を育成します。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
家庭学習指導の充実や補充学習への支援		「家庭学習のスタンダード(増補版を含む)」の教員への徹底・保護者への啓発			
		放課後等の補充学習支援			
R 6の取組	対象	内容			予算額(千円)
家庭学習指導の推進	小、中	家庭学習習慣の確立に向けた取組を推進するため、授業改革推進チームが主体となり、算数を中心に効果的な家庭学習の取組を研究・実践し、その研究・実践を基に「家庭学習スタンダード」を改訂する。			- (運営費で対応)
主体的な学びの基盤づくり事業	小、中	公立小学校約180校、中学校約60校に、地域人材等を支援員として配置し、放課後をはじめ朝学習や休憩時間等の補充学習をサポートすることで、基礎学力や学習習慣の定着を図る。			52,051

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
高等学校における学力の向上		ICTを効果的に活用した授業の実践研究		効果的な活用の好事例の県内への発信	
		学力状況の的確な把握・分析に基づく授業改善の推進			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
高校生の学力状況の分析	高	各校の学力状況を分析し、指導改善方策の検討等を行うことで、高校生の学力向上を図る。			- (運営費で対応)
「高い志」醸成プロジェクト(再掲)	高	学校の垣根を越えた学びの場を提供し、他校の生徒と切磋琢磨する中で、「高い志」の醸成と「高い学力」の育成を図る。			1,865
高等学校DX加速推進事業(DXハイスクール)(再掲)	高、特	高等学校段階におけるデジタル等成長分野を支える人材育成の抜本的強化を図るため、そのために必要なICT機器の整備等の環境整備を行う。			200,000  (令和5年度 11月補正予算)
		新規			

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
ICTの利活用		教員のICT活用指導力の向上		効果的な活用の好事例の県内への発信	
		児童生徒1人1台端末活用に向けた研修の充実		効果的な活用の好事例の県内への発信(再掲)	
ICTを効果的に活用した授業の実践研究(再掲)		英語デジタル教科書の効果的な活用についての実証研究			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
県立学校のICT基盤の整備	県立学校	1人1台端末やICTを効果的に活用した学習活動を展開するための学校ICT環境の整備や維持管理を行う。			367,069
ICT活用による個別最適な学習推進モデル事業(再掲)	高	モデル校3校でEdtechサービスを学習に効果的に活用することで、個別最適な学びを実現し、学習習慣・基礎学力の定着を図るとともに、その教育効果を検証・発信する。			7,579
英語デジタル教科書活用実証研究事業	中	生徒の英語における4技能を伸ばすため、英語学習者用デジタル教科書の効果的な活用について、研究推進校を2校指定し、研究を行う。			747
通級による指導におけるICT活用研究事業(再掲)	小、中	通級による指導において、ICTを活用することにより、遠隔授業や打合せ、人材育成など通級による指導を充実させるための研究を2市町村に委託し、市町村教育委員会が指定した小・中学校において研究を行い、その研究成果を普及する。			2,157
インクルーシブ教育×ICT活用推進事業(再掲)	幼、保 こ 小、中 高、特	関係者や学識経験者等を招聘してのフォーラムを開催することで、インクルーシブ教育システム構築やICT活用の推進に係る取組についての成果を総括し、合理的配慮としてのICT活用や、個別最適な学びを推進し、全県的な普及を図る。			501
		新規			

# GIGAスクール構想のさらなる推進

GIGAスクール構想の実現に向け、令和5年3月に策定した「おokayama学校教育情報化推進計画」に基づき、**教職員研修の一層の充実や管理職・リーダー人材への支援による教職員のICT活用指導力のさらなるレベルアップや、ICT支援員等配置による学校への支援強化、ICTを効果的に活用した児童生徒の資質・能力の育成に引き続き取り組む。**

## GIGAスクール構想のさらなる推進に向けた推進体制の強化

**ICT活用指導力レベルアップ推進事業** 拡充 **市町村担当者連携会議等を通じて市町村教委へ取組を周知・普及**

現状と課題 ICT活用指導力の着実なレベルアップを図るため、教職員それぞれの職務や目標、力量に応じた研修・支援を充実が必要	おokayama学校教育情報化推進計画 目標値(抜粋)	現況値(R5.3)	R6年度
	児童生徒のICT活用を指導できる教職員の割合	88.1%	100%
	授業にICTを活用して指導できる教職員の割合	88.5%	100%

区分	具体的な研修・支援の方策	学校教育情報化に向けた専門家派遣
管理職	OGIGAスクール構想推進ディレクターや県指導主事による <b>管理職を対象としたコンサルテーションを実施</b>	
ICT活用推進リーダー	○各校に <b>専任のICT活用推進リーダーを1名以上指名し</b> 、校内のICT活用推進業務に集中的に取り組む環境を構築 ○研修及びICT関係資格取得により <b>担当者のレベルアップ及び次期推進リーダー人材を育成</b>	
教職員	○教職員の個々の力量に応じた <b>研修や優良事例を基にした実践的な研修が受けられるよう、研修メニューを充実</b> ○eラーニングによる <b>個人情報の保護・情報セキュリティ対策、著作権への理解に関する研修を実施</b> ○県・市町村指導主事等が管内の学校を対象に事例を紹介しながら、 <b>日常的な活用推進等について指導・助言を行うICT活用推進キャラバンを実施</b>	

学校のICT活用指導力を着実にレベルアップ！

## 県立学校ICT支援員等配置事業

**現状と課題**  
・1人1台端末導入にあたり、新たなクラウド・無線LAN環境や端末の初期設定、障害対応等の集中的な支援が必要  
・教職員がICTを活用した教育実践に集中的に取り組むため、支援体制強化やICT活用指導力・スキル向上が急務

**全教職員が1人1台端末を効果的に活用した授業をスムーズに行うことができる！**

**ICT支援員による巡回訪問支援**  
・69校地を月1回(半日)程度巡回 **校内セキュリティ担当者の業務をサポート**

**ICTを活用した教育実践に集中して取り組む環境を構築**  
専門業者によるコールセンターの設置  
端末・ICT機器やネットワークに関する障害・トラブル相談等の一元窓口を適年設置  
事案の内容や必要に応じて切り分け

**01人1台端末導入支援**  
専門業者によるコールセンターの設置及び臨時訪問等により、端末導入初期を重点的に支援

①臨時訪問支援  
年度当初を中心に学校の要請により臨時訪問支援

②関係業者・教育庁関係業者への引継  
メーカー・納入業者への問い合わせ・対応や必要な設定変更・訪問支援等

## ICT活用による個別最適な学習推進モデル事業

おokayama学校教育情報化推進計画 目標値	授業で、ほぼ毎日端末を活用している生徒の割合	現況値(R5.7) 高2 73.5%	R6年度 100%	学習の中でICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う生徒の割合	現況値(R5.7) 高2 94.6%	R6年度 100%
-------------------------	------------------------	-----------------------	--------------	--------------------------------	-----------------------	--------------

**現状と課題**  
高等学校段階では、学習習慣や基礎学力定着に課題がある生徒や検定試験に挑戦する生徒、大学入試に対応する学力が必要な生徒など、学習に対する実態・ニーズの幅が大きく、個々の生徒に応じた個別最適な学びの提供が必要

**事業内容**  
対象:高(指定校3校)【事業期間:R5~R7】  
生徒の様々な実態や学習上のニーズがある県立高校3校をモデル校に指定し、ICT環境やEdTechサービスを学び直し・授業・家庭学習のあらゆる場面で活用することで、個別最適な学びを実現し、モデル校の生徒の学習習慣・基礎学力の定着を図るとともに、ICTを活用した個別最適な学びの教育効果を検証し、発信する

**ターゲット** 生徒の様々な実態や学習上のニーズが存在する県立高校

**課題**  
基礎学力・学習習慣の定着が不十分  
それぞれの生徒の実態に応じ、学び直しや学習指導等のサポートが必要

EdTechをモデル校のR5年度新入生へ3年間導入し、学び直し・授業・家庭学習でフル活用  
EdTech事業者とも連携した進行管理・成果分析  
ICTや学校現場を熟知した外部アドバイザーによる指導助言

EdTechを活用し、それぞれの生徒の課題・実態に応じた学習サポートを提供することで、個別最適な学びを実現

**ICT活用による教育効果を検証し、そのメリットや効果的な手法を全県に発信！**

**1人1台端末の整備について**  
義務教育段階の端末について、県に基金を造成し、県・市町村で共同調達を行うなど、計画的・効率的に端末等の整備を進める

### (3) 国際的に活躍できる人材の育成

グローバル人材の育成の基盤となる語学力、コミュニケーション能力、優れた国際感覚、異文化を理解する精神等を身につけた人材の育成を目指し、子どもたちが英語に触れる機会の増加、高校生の海外留学やICTを活用したオンラインによる国際交流の促進及び英語教育の充実による英語活用力の向上を図るとともに、地域を学ぶ機会や伝統文化・芸能に親しむ機会を充実することで、我が国や郷土の伝統・文化を深く理解し、その継承・発展に努め、世界に発信する姿勢を育みます。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
児童生徒の英語力の向上		外部検定を活用した授業改善の取組事例の普及			
		生徒の発信力強化のための英語担当教員の指導力向上			
		ICTを活用した効果的な指導法の研究		ICTを活用した効果的な指導法の普及	
		英語デジタル教科書の効果的な活用についての実証研究			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
外国語教育指導強化対策事業	中、高特	外国語教育及び国際理解教育の一層の充実を図ることを目的として、外国語指導助手（ALT）を県立学校に計画的に派遣するとともに、韓国慶尚南道との交流を通じ、中学生を対象とした国際交流を推進する。			91,896
グローバル・リーダー育成拠点構築事業（再掲）	高	指定校1校において、これまでの国庫補助事業の成果を踏まえ、引き続き本県におけるグローバル人材育成の牽引役として関係機関との連携や海外との交流の充実を図る。また、留学経費の一部を支援する。			1,400
オンライン国際交流コーディネーター配置事業（再掲）	高	県教委にコーディネーターを配置し、交流先の開拓や調整等を行うことで、県立高等学校等におけるオンライン国際交流の円滑な実施を図ることにより、生徒の留学への興味や意欲を高め、ポストコロナ期における海外留学者数の増加に繋げる。			1,305
夢に向かって世界に羽ばたけ！岡山の高校生応援事業（再掲）	高	留学促進のための講演や留学相談を行うフェアを開催するとともに、留学する高校生等に対し、留学経費の一定額を支援する。また、留学コーディネーターの配置等による高校生の留学、海外姉妹校提携・交流の促進などにより、海外大学進学への意識の向上を図る。 【拡充内容】 家庭の事情等により留学を諦めることのないよう、留学支援金に「チャレンジ枠」を設ける。			20,527
英検I B Aを活用した授業改善推進事業(再掲)	中	中学校3年生に英検I B Aの受験機会（秋頃）を措置し、受験結果を基に、地区ごとにオンライン研修会・分析会を開催し、学校全体の指導改善につなげる。			4,900
英語デジタル教科書活用実証研究事業（再掲）	中	生徒の英語における4技能を伸ばすため、英語学習者用デジタル教科書の効果的な活用について、研究推進校を2校指定し、研究を行う。			747

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
海外留学や国際交流の促進		コーディネーターの配置等による留学や姉妹校交流、ICTを活用した国際交流の促進（再掲）			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
グローバル・リーダー育成拠点構築事業（再掲）	高	指定校1校において、これまでの国庫補助事業の成果を踏まえ、引き続き本県におけるグローバル人材育成の牽引役として関係機関との連携や海外との交流の充実を図る。また、留学経費の一部を支援する。			1,400
オンライン国際交流コーディネーター配置事業（再掲）	高	県教委にコーディネーターを配置し、交流先の開拓や調整等を行うことで、県立高等学校等におけるオンライン国際交流の円滑な実施を図ることにより、生徒の留学への興味や意欲を高め、ポストコロナ期における海外留学者数の増加に繋げる。			1,305
夢に向かって世界に羽ばたけ！岡山の高校生応援事業（再掲）	高	<p>留学促進のための講演や留学相談を行うフェアを開催するとともに、留学する高校生等に対し、留学経費の一定額を支援する。また、留学コーディネーターの配置等による高校生の留学、海外姉妹校提携・交流の促進などにより、海外大学進学への意識の向上を図る。</p> <p>【拡充内容】 家庭の事情等により留学を諦めることのないよう、留学支援金に「チャレンジ枠」を設ける。</p>			20,527
次世代おかやま「夢育」ネットワーク事業（再掲）	高	<p>高校生が「夢」を育み、その実現に向けた課題を見だし、解決のために学校の枠を越え、他者と協働して学び、探究する機会を創出するため、以下の取組を行う。</p> <p>①Well-beingセミナー 高校生がWell-beingな社会の実現に向け、有識者による講演、ワークショップにより学ぶ。</p> <p>②高校生夢育PBLフォーラム 高校生が各校で取り組んだ探究活動の成果を発表するとともに、各校の取組の共有や、情報交換を行う。</p> <p>③おかやま夢育イニシアチブ 岡山大学と岡山県教育委員会が協働し、大学生と高校生という次世代がともに夢を育み、主体的に学ぶ場を課外活動として提供する。</p> <p>④Well-beingサミット ①～③で学んだ生徒がファシリテーターとなり、学んできたことを基に議論し、その内容を提言の形でまとめ、世界に発信する。</p> <p>⑤次世代おかやま夢育コンテスト 次世代リーダーサミット「One Young World」への高校生の派遣の支援を行う。派遣者は、④でまとめた提言を世界に発信するとともに、派遣後は、①～④などにおいて、成果を還元する。</p>			8,215

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
我が国や郷土の伝統・文化を理解する教育の推進		郷土の偉人に関する授業づくりの研究	郷土資料を活用した授業の推進		
		地域学の推進			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
道徳教育総合支援事業	小、中	道徳の指導方法の工夫、教科書や教材の活用の在り方、評価等に関する研修会を開催するとともに、郷土の偉人に関する授業パッケージを配付し、活用を図る。			453

#### (4) Society5.0に向けた人材の育成

AIやデータを理解し、使いこなす力を身に付けるとともに、AIにはない人間の強みを生かして、他者と協働しながら新しい価値を創造する人材の育成に向け、STEAM教育やデータサイエンス、プログラミング教育、課題解決的な学習の充実を図るなど、子どもたちの優れた能力、才能、個性を伸ばす教育を推進します。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
科学技術教育の推進		SSH（スーパーサイエンスハイスクール）校を核とした理数教育の推進と成果の普及			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
スーパーサイエンスハイスクール事業（再掲）	高	理科・数学に重点を置いたカリキュラムの開発や大学等との連携方策について、県立学校4校を指定し研究する。			6,717
サイエンスチャレンジ（再掲）	中、高	理数への興味・関心が高い中高校生に対し、理科・数学等の複数分野のチーム対抗の競技会を開催し、団体で協力して課題に取り組む機会を設け、更なる興味・関心の高揚及び学力の向上を図る。また、理数科・理数系コース課題研究発表会との連携を図り、探究を深める。			2,799
科学オリンピックへの道（再掲）	中、高	理数への興味・関心が高い中高校生を対象としたコンテストを開催し、国際科学オリンピックへの出場を目指すとともに、物理チャレンジの参加費を補助することで、参加者数の増加を図る。			514
理科教育等設備整備事業	県立学校	各学校の理科教育等設備を国庫補助により整備し、県立学校の理科教育の振興を図る。			19,000

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
Society5.0時代に対応した教育の推進		児童生徒1人1台端末の活用による協働学習の推進や個別最適化された学びの実現 モデル校における実践研究 → 効果的な活用の好事例の県内への発信 データサイエンスやプログラミング教育の充実			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
デジタル化対応産業教育装置の効果的な活用（再掲）	高	最新のデジタル化に対応した産業教育装置を授業等で有効に活用し、デジタルトランスフォーメーション等に対応した地域の産業界を牽引する職業人材の育成を図る。			- (運営費で対応)
高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）（再掲） <b>新規</b>	高、特	高等学校段階におけるデジタル等成長分野を支える人材育成の抜本的強化を図るため、そのために必要なICT機器の整備等の環境整備を行う。			200,000  (令和5年度 11月補正予算)
ICT活用指導力レベルアップ推進事業（再掲） <b>拡充</b>	小、中高、特	管理職・ICT活用推進リーダー・教職員それぞれの職務・力量に応じた研修・支援を充実させるなど、県内の学校のICT活用指導力のレベルアップを図る。 【拡充内容】 小中学校等に対して、ICT活用推進キャラバンを実施			3,533

R 6の取組	対象	内容	予算額(千円)
県立学校ICT支援員等配置事業 (再掲)	県立学校	授業でのICT活用や機器等の管理運用などの業務への対応のため、県立学校全校へICT支援員による月1回程度の定期訪問及び臨時訪問を行うとともに、コールセンター(ヘルプデスク)を設置する。	65,505
県立学校のICT基盤の整備 (再掲)	県立学校	1人1台端末やICTを効果的に活用した学習活動を展開するための学校ICT環境の整備や維持管理を行う。	367,069
ICT活用による個別最適な学習推進モデル事業 (再掲)	高	モデル校3校でEdtechサービスを学習に効果的に活用することで、個別最適な学びを実現し、学習習慣・基礎学力の定着を図るとともに、その教育効果を検証・発信する。	7,579



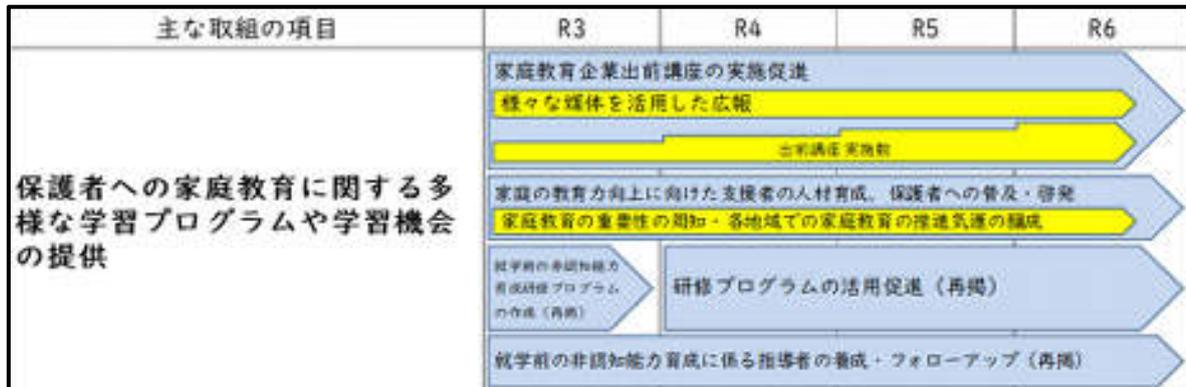
R 6の取組	対象	内容	予算額(千円)
PBLガイドブックを活用した課題解決型学習の推進 (再掲)	高	課題解決型学習(PBL)の手順等を示したガイドブックを活用し、県立高等学校等におけるPBLの推進を図る。	- (運営費で対応)
SDGsの取組を進める企業等との連携による探究的な学びの推進 (再掲)	高	SDGsの取組を進める企業等を訪問し、自らの課題についての探究を深める中で、社会における企業等の役割を学ぶ機会の充実を図る。	- (運営費で対応)
次世代おかやま「夢育」ネットワーク事業 (再掲)  新規	高	<p>高校生が「夢」を育み、その実現に向けた課題を見いだし、解決のために学校の枠を越え、他者と協働して学び、探究する機会を創出するため、以下の取組を行う。</p> <p>①Well-beingセミナー 高校生がWell-beingな社会の実現に向け、有識者による講演、ワークショップにより学ぶ。</p> <p>②高校生夢育PBLフォーラム 高校生が各校で取り組んだ探究活動の成果を発表するとともに、各校の取組の共有や、情報交換を行う。</p> <p>③おかやま夢育イニシアチブ 岡山大学と岡山県教育委員会が協働し、大学生と高校生という次世代がともに夢を育み、主体的に学ぶ場を課外活動として提供する。</p> <p>④Well-beingサミット ①～③で学んだ生徒がファシリテーターとなり、学んできたことを基に議論し、その内容を提言の形でまとめ、世界に発信する。</p> <p>⑤次世代おかやま夢育コンテスト 次世代リーダーサミット「One Young World」への高校生の派遣の支援を行う。派遣者は、④でまとめた提言を世界に発信するとともに、派遣後は、①～④などにおいて、成果を還元する。</p>	8,215

R 6 の取組	対象	内容	予算額(千円)
おかやま高校生地域未来創造事業 (再掲)	高	高校生が中山間地域等において地域の課題解決に取り組むことにより、地域への愛着心醸成と地域貢献の意欲向上を図り、中山間地域で活躍する次代の人材を育成する。	4,500 (県民生活部 予算)
高校コーディネーターによる高校と地域の連携・協働推進事業 (再掲)  新規	高	高校と地元自治体等との更なる連携強化等により、県立高校の魅力化・特色化を進めるため、コーディネーターを配置する。また、研修や講演会等を通じてコーディネーターの資質向上を図るとともに、コーディネーターの業務と活用のノウハウを整理し、地元自治体等との連携協力体制の構築を支援する。	17,124
岡山型課題解決型学習 (PBL) 推進事業 (再掲)	小、中	岡山型課題解決型学習 (PBL) の考え方や学習過程をまとめたガイドブックの周知・活用促進を図る研究校2校に対して指導・助言を行い、その成果について県内への普及を図る。	1,901
「君に届け！」夢への架け橋事業 (再掲)	小、中	小・中学生を対象とした各方面で活躍する方 (10名程度) からの夢への実現に向けたメッセージ動画を作成して提供することにより、児童生徒が夢や目標について自らの気持ちに向き合ったり、将来の可能性を膨らませたりする機会を創出する。	5,951
おかやま夢発信・交流事業 (再掲)	小、中	小・中学生が地域の良さの発見・再確認を通じて、学んだ成果を募集し、優れた取組を表彰する「おかやま学びたい賞」を実施する。併せて、応募した学校の実践発表・交流の場として「おかやま学びたい賞フォーラム」を開催し、優れた取組を県内に普及する。 また、課題解決型学習 (PBL) を進める学校や小規模校・複式学級のある小学校のうち、希望する学校同士のマッチングを行い、オンライン交流を推進する「遠くとTALK」を実施し、児童生徒に発表・交流の機会を提供する。	946

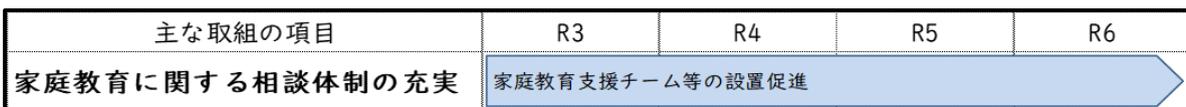
### 3 家庭・地域の教育力の向上

#### (1) 家庭・地域の教育力の向上による、子どもたちの生活習慣・学習習慣の定着

関係各機関の緊密な連携により、保護者等に対して家庭教育に関する多様な学習プログラムや学習機会の提供を行うとともに、家庭訪問等による相談体制の充実に努め、企業等とも連携し、地域ぐるみですべての教育の出発点である家庭の教育力を高めることで、子どもたちがよりよい社会生活を営む基盤となる夢や目標を持ち、善悪の判断など基本的倫理観はもとより、規則正しい生活習慣や学習習慣を身に付けられるよう推進します。



R6の取組	対象	内容	予算額(千円)
「おかやま教育の日」関連事業	幼、こ小、中高、特	11月1日の「おかやま教育の日」から始まる「おかやま教育週間」(11/1~7)を中心に、県下全域で教育に関する様々な取組を展開することにより、教育に関する県民の意識高揚を図る。	- (運営費で対応)
就学前の非認知能力育成支援事業(再掲)	一般	子どもの非認知能力の育成に向け、就学前の子どもを持つ保護者や、子育て支援者に対して「子どもの非認知能力の見取り方に係る研修プログラム」を学ぶ機会の提供及びその指導者の養成を行う。	963
生き生きおかやま家庭教育応援事業	一般	社会全体で家庭教育を応援する気運を高めるため、市町村の家庭教育支援チームの設立促進やマンガ版「わが家のすこやか日記」作成などを実施する。	3,574
すこやか家庭相談事業	一般	家庭教育に関する専門的知識やカウンセリングに関する知識・技術の習得を目指した講座を実施することで、子育てサポーターのスキル向上を図るとともに、家庭教育支援の取組、家庭教育支援チームの取組等を掲載した冊子「すこやか」を作成する。	346
家庭教育企業出前講座	一般	企業等を訪問して家庭教育支援に関する出前講座を実施し、家庭教育の重要性を伝える。また、子育て中の保護者や保護者を取り巻く大人の状況を把握して、今後の家庭教育支援施策の参考にする。	291



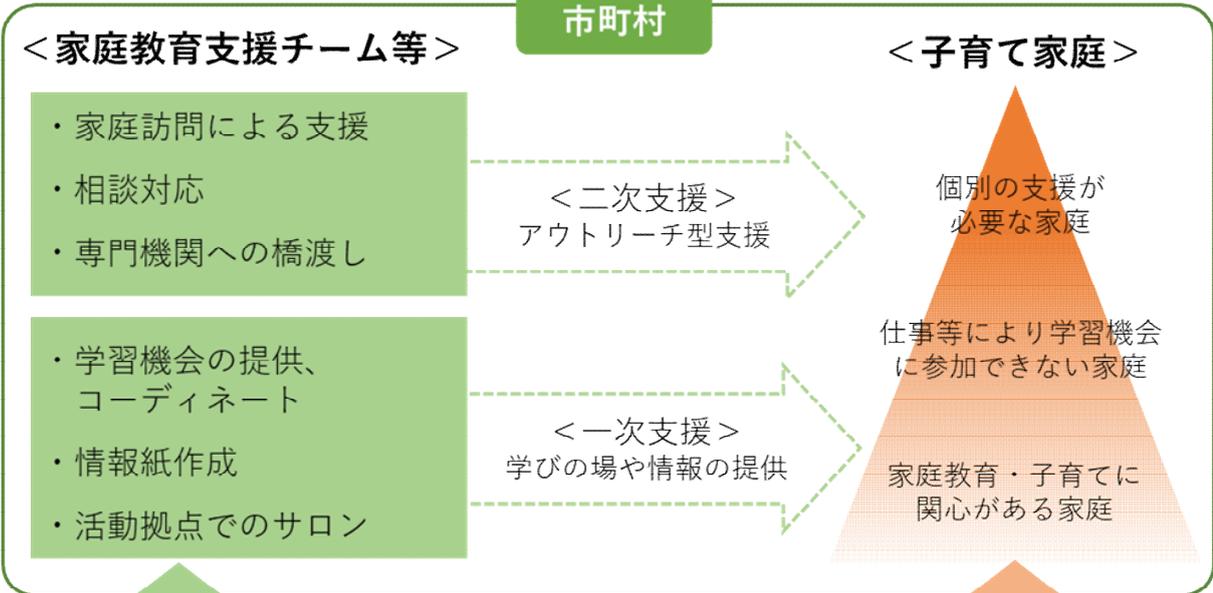
R6の取組	対象	内容	予算額(千円)
すこやか家庭相談事業(再掲)	一般	家庭教育に関する専門的知識やカウンセリングに関する知識・技術の習得を目指した講座を実施することで、子育てサポーターのスキル向上を図るとともに、家庭教育支援の取組、家庭教育支援チームの取組等を掲載した冊子「すこやか」を作成する。	346

# 岡山県の家庭教育支援

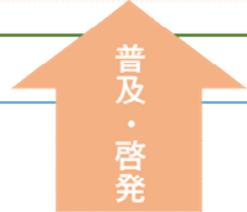
## 社会全体で家庭教育を応援する気運の醸成と体制の構築

生き生きおかやま家庭教育応援事業（R6）

- ①家庭教育支援チーム設立促進
- ②マンガ版「わが家のすこやか日記」
- ③組織横断会議（家庭教育支援施策推進会議）
- ④「親育ち応援学習プログラム」リニューアル



## 県



- ・就学前の非認知能力育成支援のため  
の人材養成研修会
- ・すこやか家庭教育相談員養成講座
- ・子育てサポータースキルアップ講座
- ・家庭教育支援関係者交流会
- ・PTA指導者等研修会

- ・「親育ち応援学習プログラム」等を  
活用した研修
- ・就学前の非認知能力育成支援事業
- ・家庭教育企業出前講座
- ・「ぱっちり！モグモグ」生活リズム  
向上キャンペーン
- ・マンガ版「わが家のすこやか日記」

## (2) 地域住民の参画による学校運営協議会・地域学校協働活動の取組の推進

地域住民の参画によるコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）や地域学校協働活動の効果的な推進により、地域ぐるみで子どもを健やかに育み、学校・家庭・地域の教育力の向上を図ります。

また、地域と学校でビジョンを共有し、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指します。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
地域と学校の協働の推進		地域学校協働活動推進員の委嘱の推進			
		市町村における委嘱			
		地域連携担当教職員・地域学校協働活動推進員等の資質向上・フォローアップ			
		コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の効果的な取組の推進			
		好事例の収集・情報提供			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
コミュニティ・スクール（CS）の導入（再掲）	県立学校	保護者や地域住民、学識経験者等の構成委員が一定の権限を持ち、学校運営や必要な支援に関して協議を行うことで、学校・家庭・地域が一体となって、より質の高い教育の提供を目指す。			4,394
コミュニティ・スクール導入促進のためのコンソーシアム設置事業（再掲）	高	コミュニティ・スクール（CS）の導入促進及び、効果的なCSの運営体制を整備するため、一つの市町村に複数の県立高校が立地する地域を一箇所指定し、CSのコンソーシアムを作る。（モデル事業） 事業終了後、事業成果を他校へ横展開することで、県立高校へのCS導入促進を図る。			1,719
コミュニティ・スクール伴走支援体制構築事業（再掲）	教委	コミュニティ・スクール（CS）について豊かな知識と実践を有する者を「CSアドバイザー」として市町村や研修会に派遣して支援することで、CSの導入促進や質的向上等を目的とした「伴走支援」を進める。			308
地域学校協働活動推進事業 <b>新規</b>	小、中高、特 教委	地域学校協働活動アドバイザーを、要望のあった市町村及び学校へ派遣し、地域学校協働本部への指導・重言を行ったり、県立学校における地域学校協働活動推進員に係る財政支援を行ったりすることで、地域学校協働活動の一層の充実と地域学校協働本部の整備率向上を図る。			5,662
P T A指導者研修会	保護者	P T A等の指導者を対象に、子どもの学校外活動の充実に積極的に対応できるP T A指導者の育成を目指して研修を行い、P T A活動の新しいあり方について探るとともに、スマホ・ネット問題等の取組が推進されるよう、指導者としての資質の向上を図る。			844
おかやま子ども応援事業（再掲）	幼、こ小、中高、特	地域住民の参画による地域学校協働活動の取組を推進し、地域ぐるみで子どもを健やかに育むとともに、学校・家庭・地域の教育力の向上を図る。			48,083
社会教育関係団体による地域パワーアップ事業	子ども一般	教育課題や地域課題の解決に向け、社会教育関係団体が持つ専門性やネットワークを生かした子どもの健全育成を図るプログラムの開発を行う。			2,000

# 地域ぐるみで子どもを育てる体制整備

学校・家庭・地域が連携・協働し、地域が総ぐるみとなって子どもの学習や体験を充実する取組を有機的に組み合わせて、学校と家庭を支援する事業を実施することにより、地域で子どもたちを育てる体制を構築し、地域社会全体の教育力の向上を図る。

## おかやま子ども応援事業

### 家庭教育支援

- ◆「親育ち応援学習プログラム」等を活用した参加型の学習機会の提供【就学前の保護者研修に重点】
- ◆地域住民による家庭教育にかかわる情報提供、相談活動等の実施
- ◆企業出前講座の実施
- ◆主に就学前の子どもを持つ保護者を対象に、家庭訪問等によるアウトリーチ型の支援を実施

### 地域学校協働活動 (地域学校協働本部)

#### 「学校における働き方改革」を踏まえた活動 (学校支援を含む)

- ◆授業・放課後等の学習支援  
学校行事支援  
学校環境整備  
登下校の見守り 等
- ◆学びによるまちづくり  
地域行事への参画 等

#### 放課後等の地域における学習支援・体験活動

#### 放課後子ども教室等

- ◆放課後の学習指導  
自然体験活動支援  
居場所の確保 等
- ◆中高生等を対象とした放課後等の学習支援
- ◆地域の豊かな社会資源や外部人材を活用し、体系的・継続的なプログラムの実施

連携・協働

放課後児童対策パッケージ  
(「校内交流型」「連携型」の推進等)

放課後児童クラブ【こども家庭庁】

子どもの育ち

熟議

めざす子ども像  
目標やビジョンの共有

### 学校運営協議会

①学校運営の基本方針を承認すること

#### 学校運営協議会の役割

②学校運営について教育委員会又は校長に意見を述べることができる

③教職員の任用に関して教育委員会に意見を述べるができる

地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進



## 4 規範意識と思いやりの心、健やかな体の育成

### (1) 道徳教育を中心とした規範意識の確立

子どもたちの規範意識や自尊感情、人間関係構築力を高め、豊かな情操を育むため、「特別の教科 道徳」を要として、学校の教育活動全体を通じて様々な体験活動等を交えながら、学校・家庭・地域が一体となった取組を推進します。さらに、道徳科において、指導方法や指導体制等に関する実践的な研究を通して道徳の授業改善を進め、その成果の普及に努めます。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
道徳教育の充実		郷土の偉人に関する授業づくりの研究(再掲)	郷土資料を活用した授業の推進(再掲)		
		主体的・対話的で深い学びの実現に向けた研究 好事例の普及			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
道徳教育総合支援事業(再掲)	小、中	道徳の指導方法の工夫、教科書や教材の活用の在り方、評価等に関する研修会を開催するとともに、郷土の偉人に関する授業パッケージを配付し、活用を図る。			453

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
体験活動の推進		公立学校における体験活動の推進 好事例の普及			

### (2) いじめや暴力行為等への対策の推進

いじめや暴力行為等の問題行動への対策として、関係機関と連携した取組を進めるとともに、専門スタッフの派遣や支援員などの効果的な配置・活用等により、落ち着いた学習環境を確保し、新たな問題行動を生まない魅力ある学校づくりを推進します。また、問題行動を初期段階で確実に捉え、解決に向けた取組を徹底できるよう、学校における生徒指導体制の確立等により、組織的対応を充実させます。

その他、問題行動や非行に対しては関係機関が連携して適切に対処し、学校が警察と協働で実施する非行防止教室やインターネットモラル教室などを通じて、規範意識の向上に努めるとともに、少年非行情勢の改善を図ります。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
学校の組織的取組の充実		学校の組織的対応や教職員の生徒指導力の向上			
		アプリの利用などによる相談体制の充実			
いじめ防止対策等総合推進事業		児童生徒の主体的な活動の推進			5,088
		いじめについて考える週間の取組			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
いじめ防止対策等総合推進事業	小、中高、特	ネットパトロールの実施や児童生徒による未然防止の取組の普及啓発、問題行動等の課題の大きい学校に対する警察と連携協力した指導助言等を行い、県の基本方針に基づく、いじめ問題への対策を総合的かつ効果的に推進する。			

R 6の取組	対象	内容	予算額(千円)
スマホ・ネット問題総合対策推進事業	小、中高 保護者	スマホ・ネット問題について、スマホサミット開催等の児童生徒や保護者の主体的な取組の促進や成果発表等により、スマホ等の適正利用を推進する。	1,549
心と命のサポート事業	小、中高、特	児童生徒が自他を大切にすることを身に付けることができるよう、いじめや自殺の問題に直面した当事者や関係者等によるいじめの重大さや命の尊重等に関する出前授業を実施し、いじめ、不登校や自殺等の未然防止を図る。	2,016
悩みや不安を抱えた時の匿名相談アプリ活用事業	中、高特	アプリを利用した匿名によるいじめ等の相談・報告システムを全県立学校で活用し、当事者やいじめを見かけた生徒が安心して相談できる体制を構築する。	12,278
自殺予防教育推進事業	小、中高、特	教職員を対象とした自殺予防教育に係る講座の開催により、教職員の自殺予防に関する理解の促進及び実践力の向上を推進し、児童生徒自身の自殺等の危機を乗り越える力の養成を図り、いじめ・不登校等の未然防止や自殺等の予防につなげる。	208
学級崩壊等早期対応事業（再掲）	小、中	問題行動が見え始めた学校に、警察OBと教員OBのペアによる集中指導員等を一定期間継続的に派遣し、指導体制の強化を図るとともに、授業エスケープ等が見られる児童生徒の教室復帰に向けた学習支援等を行う別室指導支援員を一定期間配置する。	52,948

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
関係機関との連携		警察、児童相談所、少年保護関係機関等との連携			
		専門家（スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等）の活用（再掲）			
R 6の取組	対象	内容			予算額(千円)
いじめ防止対策等総合推進事業（再掲）	小、中高、特	ネットパトロールの実施や児童生徒による未然防止の取組の普及啓発、問題行動等の課題の大きい学校に対する警察と連携協力した指導助言等を行い、県の基本方針に基づく、いじめ問題への対策を総合的かつ効果的に推進する。			5,088
スクールカウンセラー（SC）配置事業（再掲）	小、中	公立全小中学校にSCを配置し、子どもたちの心のケアや教員研修を実施する。また、スーパーバイザー（SV）による指導助言、全体研修等を実施し、SCの対応力の強化を図る。			149,857
スクールソーシャルワーカー（SSW）を活用した行動連携推進事業（再掲）	小、中高	公立全小中高等学校を担当SSWが巡回し、関係機関等と連携しながら児童生徒の背景要因への支援を行い、問題行動等の解決を図る。また、SVによる指導助言や全体研修等を実施し、SSWの対応力の強化を図る。			195,989
思春期サポート事業（再掲）	高	全県立高等学校に対し、専門家による生徒・保護者へのカウンセリング、教職員への助言・研修、心理教育等の実施を支援し、高等学校の教育相談力の向上を図る。 【拡充内容】派遣回数：年19回/校 → 年24回/校			15,252

### (3) スマホ・ネット等青少年を取り巻く問題への対応

青少年を良好な生活環境の下で育むため、スマホ・ネット問題対策の推進や関係事業者への立入調査等を実施するとともに、地域住民や関係機関・団体が一体となった、県民総ぐるみの運動を展開し、青少年の健全育成や非行防止を図ります。

特に、スマホ・ネット問題について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大も背景としながら、ネット上での誹謗中傷やいじめの発生などモラルの低下が指摘されており、情報モラル教育を充実するとともに、スマートフォン等の使用時間や使用方法など利用に関する適切なルールづくりやフィルタリング機能の活用についての児童生徒の主体的な取組の促進、家庭・地域等への啓発を行うなど、スマホ・ネット問題の解決に向けた取組を強化します。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
青少年の健全育成等の推進		「岡山県青少年健全育成条例」に基づく立入調査			
		青少年総合相談センターにおける教育相談の実施			
		おかやま子ども・若者サポートネットによる若者への支援			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
教育相談体制の整備	小、中高、特	いじめや不登校の問題など、児童生徒や保護者等からの相談に適切に対応するため、青少年総合相談センターへの相談室の設置により、電話相談への24時間対応や面談で相談に応じる体制を整備する。			12,043

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
スマホ・ネット対策の推進		「岡山県青少年によるインターネットの適切な利用の推進に関する条例」に基づく立入調査			
		携帯電話事業者との連携			
		情報モラル教育の充実			
		児童生徒の主体的な活動の促進			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
スマホ・ネット問題総合対策推進事業(再掲)	小、中高保護者	スマホ・ネット問題について、スマホサミット開催等の児童生徒や保護者の主体的な取組の促進や成果発表等により、スマホ等の適正利用を推進する。			1,549

## (4) 郷土愛の醸成

自然、歴史・伝統、民俗・文化、人物など地域の特性に根ざした学習を学校の教育活動全体を通じて行うとともに、文化・スポーツ等の体験活動を通して、子どもたちが生まれ育った地域への理解を深めることにより、郷土愛の醸成を図り、郷土岡山の活力を生み出す人材の育成につなげます。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
地域への理解を深める教育の推進		郷土の偉人に関する授業づくりの研究(再掲)	郷土資料を活用した授業の推進(再掲)		
		文化財の公開・活用の実施と文化財保護・継承活動の担い手育成の促進 郷土の文化遺産を紹介するガイドブックやHPの活用促進			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
道徳教育総合支援事業(再掲)	小、中	道徳の指導方法の工夫、教科書や教材の活用の在り方、評価等に関する研修会を開催するとともに、郷土の偉人に関する授業パッケージを配付し、活用を図る。			453
岡山型課題解決型学習(PBL)推進事業(再掲)	小、中	岡山型課題解決型学習(PBL)の考え方や学習過程をまとめたガイドブックの周知・活用促進を図る研究校2校に対して指導・助言を行い、その成果について県内への普及を図る。			1,901
「君に届け!」夢への架け橋事業(再掲)	小、中	小・中学生を対象とした各方面で活躍する方(10名程度)からの夢への実現に向けたメッセージ動画を作成して提供することにより、児童生徒が夢や目標について自らの気持ちに向き合ったり、将来の可能性を膨らませたりする機会を創出する。			5,951
おかやま夢発信・交流事業(再掲)	小、中	小・中学生が地域の良さの発見・再確認を通じて、学んだ成果を募集し、優れた取組を表彰する「おかやま学びたい賞」を実施する。併せて、応募した学校の実践発表・交流の場として「おかやま学びたい賞フォーラム」を開催し、優れた取組を県内に普及する。 また、課題解決型学習(PBL)を進める学校や小規模校・複式学級のある小学校のうち、希望する学校同士のマッチングを行い、オンライン交流を推進する「遠くとTALK」を実施し、児童生徒に発表・交流の機会を提供する。			946
県立博物館の館内授業・出前講座	小、中高、特	博物館で豊富な実物資料に触れ、解説を聞きながら展示を見学する「館内授業」や学芸員が学校に出向き、実物資料をもとに授業を行う「出前授業」を実施し、岡山の歴史や文化への関心を高め、授業内容の理解を深める。			- (運営費で対応)
ジュニア学芸員講座	中、高	岡山の歴史や文化に関心を持つ子どもたちに、博物館学芸員の仕事を実際に体験してもらい、将来の学芸員や博物館ファンを育成する機会とする。			- (運営費で対応)
みんなで楽しもう! 民俗芸能 <span style="border: 1px solid orange; border-radius: 5px; padding: 2px;">新規</span>	一般子ども	県内各地に伝わる民俗芸能の保存伝承を図るため、子どもを中心とした民俗芸能団体等の発表の場を設け、県民の郷土の歴史・文化、芸能などに対する理解と関心を一層深める。			300

## (5) より良い社会づくりに参画する人材の育成

地域社会と連携の下、学校におけるボランティア教育や主権者教育、消費者教育を推進するとともに、子どもたちの社会貢献活動への一層の理解と参加を促進し、人の役に立ち、人に感謝される体験を通して、家庭はもとより、社会の一員としてより良い社会づくりに積極的に参画していこうとする人材の育成を図ります。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
ボランティア教育の推進					
		R6の取組	対象	内容	予算額(千円)
高等学校における社会貢献活動の推進	高	全ての県立高等学校及び県立中等教育学校後期課程において、教育活動に位置づけた社会貢献活動を計画・実施することで、道徳性・社会性の育成を図る。			- (運営費で対応)

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
主権者教育・消費者教育の推進					
		R6の取組	対象	内容	予算額(千円)
主権者教育の推進	小、中高	主権者としての権利と義務を自覚し、民主政治等についての理解を深めるとともに、政治や経済等の話題について多面的、多角的に考察させる探究的な学習や選挙管理委員会と連携した出前授業などを実施し、学校における主権者教育を推進する。			- (運営費で対応)
消費者教育の推進	小、中高	成年年齢の18歳以上への引き下げに伴い、消費者の権利と責任を自覚し、自立した消費者として、適切な意思決定に基づいて社会の一員として行動する消費者の育成や、消費者庁が作成した教材を活用したり、実務経験者による出前授業などを実施するなど、実践的な消費者教育を推進する。			- (運営費で対応)

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
子どもたちが地域で活躍する場の創出		地域学の推進（再掲）			
		児童生徒の地域の魅力等を発信する場の提供			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
PBLガイドブックを活用した課題解決型学習の推進（再掲）	高	課題解決型学習（PBL）の手順等を示したガイドブックを活用し、県立高等学校等におけるPBLの推進を図る。			- (運営費で対応)
高校コーディネーターによる高校と地域の連携・協働推進事業（再掲）  新規	高	高校と自治体等との更なる連携強化等により、県立高校の魅力化・特色化を進めるため、コーディネーターを配置する。また、研修や講演会等を通じてコーディネーターの資質向上を図るとともに、コーディネーターの業務と活用のノウハウを整理し、地元自治体等との連携協力体制の構築を支援する。			17,124
岡山型課題解決型学習（PBL）推進事業（再掲）	小、中	岡山型課題解決型学習（PBL）の考え方や学習過程をまとめたガイドブックの周知・活用促進を図る研究校2校に対して指導・助言を行い、その成果について県内への普及を図る。			1,901
「君に届け！」夢への架け橋事業（再掲）	小、中	小・中学生を対象とした各方面で活躍する方（10名程度）からの夢への実現に向けたメッセージ動画を作成して提供することにより、児童生徒が夢や目標について自らの気持ちに向き合ったり、将来の可能性を膨らませたりする機会を創出する。			5,951
おかやま夢発信・交流事業（再掲）	小、中	小・中学生が地域の良さの発見・再確認を通じて、学んだ成果を募集し、優れた取組を表彰する「おかやま学びたい賞」を実施する。併せて、応募した学校の実践発表・交流の場として「おかやま学びたい賞フォーラム」を開催し、優れた取組を県内に普及する。 また、課題解決型学習（PBL）を進める学校や小規模校・複式学級のある小学校のうち、希望する学校同士のマッチングを行い、オンライン交流を推進する「遠くとTALK」を実施し、児童生徒に発表・交流の機会を提供する。			946
社会教育団体による地域パワーアップ事業（再掲）	子ども一般	教育課題や地域課題の解決に向け、社会教育関係団体が持つ専門性やネットワークを生かした子どもの健全育成を図るプログラムの開発を行う。			2,000

## (6) 子どもたちの体力の向上

子どもたちが生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するため、学校での体育の充実を図り、子どもたちの体力向上への意欲を高めるとともに、一人ひとりの実態に応じた体力づくりに取り組み、子どもたちの体力・運動能力の向上を図ります。

また、新型コロナウイルス感染防止対策に留意しながら、適切な運動部活動が展開されるよう取り組むとともに、スポーツ・武道を通じて、規範意識や豊かなコミュニケーション能力、人間関係を築く力を醸成します。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6	
学校体育の充実		小学校体育の授業改善に向けたモデル校での実践		効果検証	成果の普及	
		体育授業エキスパート派遣事業（県指導主事の派遣）の活用促進				
		体力アッププログラムの活用・普及				
			追加プログラムの作成	追加プログラムを含めた活用・普及		
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)	
体育授業エキスパート派遣事業（県指導主事の派遣）	小、中	希望する小中学校に県指導主事を派遣し、学校における授業改善をサポートする。			- (運営費で対応)	

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
体力・運動習慣づくりの推進		「体力アップ・マイベストチャレンジ！」の実施 中学校を対象に追加			
		「いきいき岡山っ子☆運動習慣カード」の活用促進			
		「みんなでチャレンジランキング」への参加促進 追加プログラムの反映			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
体力アップ・マイベストチャレンジ！（再掲）	小、中特	新体カテストの8種目の中から、自分が記録を伸ばしたい2種目を選んで自己記録更新を目指すことにより、児童生徒の体力向上への意欲を高め、自己記録更新に向けて一人ひとりが具体的な取組を行うことにより、運動習慣の定着を図る。			347
みんなでチャレンジランキング（再掲）	保、幼小、中高、特	クラス等のグループ単位で様々な運動に楽しみながら挑戦し、記録をホームページ上で競うことで、園児・児童生徒の運動の習慣化を図る。			348
いきいき岡山っ子☆運動習慣カード（再掲）	小、特	年3回、ビンゴカードの要素を取り入れた「いきいき岡山っ子☆運動習慣カード」を配付し、児童自らが運動や体を動かす遊びの実施状況を把握することで、自発的かつ継続的に運動しようとする意欲を高める。			- (運営費で対応)
体力向上推進リーダー配置事業  新規	小	小学校に体力向上推進リーダーを配置し、配置校教員の体育科に関する指導力向上を図るとともに、体育的活動の充実に向けた組織的な取組を行うことなどで、子どもの体力向上や運動習慣の定着を図る。			908

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
<b>スポーツを通じた規範意識の向上等</b>		武道等、規律正しい体育の授業の実施			
		「岡山県運動部活動の在り方に関する方針」に基づく適切な運動部活動の実施			
		モデル校での実践・効果検証		成果の普及	
		令和7年度全国高等学校総合体育大会に向けた取組			
		令和8年度全国中学校体育大会に向けた取組			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
中学校運動部活動支援事業	中	選手強化や全国中学校体育大会等派遣費補助など、中学校の運動部活動の支援を行う。			4,670
高等学校運動部活動支援事業	高	選手強化や全国高等学校総合体育大会等派遣費補助など、高等学校の運動部活動の支援を行う。 また、県内高等学校の運動部活動のうち特に環境整備面でのサポートを必要とする学校を支援する。			11,452
「学校部活動方針」実践推進事業	中、高	「岡山県学校部活動の在り方に関する方針」に基づいた適切な運動部活動への転換をさらに推進させるため、モデル校を指定し、実践した成果を普及する。また、体罰・ハラスメント根絶等に関する研修会を開催する。 <b>【モデル校での実践研究内容】</b> ・合理的でかつ効率的・効果的な活動実践（中1校・高1校） ・部活動を通じた食育の実践（中2校・高1校）			2,008
「部活動の地域移行」推進事業  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">拡充</div>	中	将来にわたり子どもたちがスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保するため、部活動の地域移行に向けた実証研究等を実施し、研究成果を普及するとともに、県立中学校、中等教育学校における検討を進める。 <b>【拡充内容】</b> ・実践研究実施市町村の増 4市町村→6市町村程度			12,800
令和7年度全国高等学校総合体育大会開催事業	高	令和7年度に中国ブロックで開催されるインターハイの成功に向け、「円滑な大会運営」、「県内開催競技の競技力向上」、「大会機運の醸成」に向けた取組を実施する。			30,708
令和8年度全国中学校体育大会開催事業  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">新規</div>	中	令和8年度に中国ブロックで開催される全国中学校体育大会の成功に向け、関係団体と連携した計画的な選手の育成を進める。			2,289

# 子どもたちの体力向上

## 1 本県の子どもたちの体力向上を取り巻く環境について

＜現状＞	＜要因・課題＞	＜解決に向けた方策＞
<ul style="list-style-type: none"> <li>□小学生の体力が低下傾向</li> <li>＜新体力テスト合計点の推移＞※( )は全国平均 小5男：H27:54.8→R5:53.0(52.6) 小5女：H27:55.6→R5:54.5(54.3)</li> <li>□運動する子としない子の二極化</li> <li>＜1週間の総運動時間数60分未満の割合＞ 【R5】小5男：9.1%、小5女：16.4% 中2男：12.2%、中2女：25.7%</li> <li>□食育に取り組んできたが、依然約13%の児童生徒は朝ご飯は大切と考えていない。</li> <li>＜朝ご飯は大切と回答した割合＞ 【R5】小：88.1% 中：86.6%</li> <li>□R7インターハイ中国ブロック大会の開催 ・本県開催種目：7種目</li> <li>□R8全中中国ブロック大会の開催 ・本県開催種目：4種目</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ベテラン教員の大量退職、若手教員の増加等に伴う運動に苦手意識のある教員へのフォローが不足</li> <li>▶学校内外での運動時間の減少に伴う達成感・成功体験などを実感する機会の減少</li> <li>▶多様化する子どもたちの運動ニーズへの対応不足</li> <li>▶適切な食事の効用に係る認識不足 ・実生活の中で、食事の効用をもっと体感できる機会が必要</li> <li>▶インターハイ・全中の成功に向け、計画的な取組が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)楽しく魅力的な授業への改善と指導力の向上</li> <li>(2)子どもたちが達成感を感じられる機会の提供</li> <li>(3)生徒にとって望ましいスポーツ環境構築の観点に立った運動部活動の推進 ・「学校部活動県方針」に基づく適切な運動部活動の推進 ・「スポーツ栄誉の観点を取り入れた食育の取組」の推進 ・スポーツ・文化芸術活動へ親しむ機会を確保 ・インターハイ・全中開催に向けた万全の準備と競技力強化への支援</li> </ul>

## 2 体力向上に向けた取組の体系

### ○第3次生き活きプラン

- ・重点戦略「教育県おかやまの復活」の戦略プログラム→「德育・体育推進」
- ・生き活き指標：『運動やスポーツをすることが好き』と回答した児童生徒の割合

### ○「夢育」の視点

- ・スポーツを通じて、非認知能力(意欲・自制心・協調性など)が養われる。

### 各方策の主な具体的施策

#### (1) 楽しく魅力的な授業への改善と指導力の向上

##### ① 体力向上推進リーダー配置事業【新規】

- 担任教員とともに授業を行う体育授業専科教員を小学校へ配置し、指導力の向上を図る。

##### ② 体育授業エキスパート派遣事業

- 希望する小中学校に指導主事を派遣し、授業改善をサポート

##### ③ 体力向上研修会

- 新体力テスト結果等の活用に係る研修会

#### (2) 子どもたちが達成感を感じられる機会の提供

##### ④ 体力アップ・マイベストチャレンジ！

- 新体力テスト結果から子ども自らが目標を設定して結果向上にチャレンジ(上位層だけでなく、個人の伸びを評価)

##### ⑤ いきいき岡山っ子☆運動習慣カード

- ピンゴの要素を取り入れた運動習慣カードの活用

##### ⑥ みんなでチャレンジランキング

- 様々な運動遊びを行い、他の学校と結果を競う

#### (3) 生徒にとって望ましいスポーツ環境構築の観点に立った運動部活動の推進

##### ⑦ 「学校部活動方針」実践推進事業

- モデル校での実践研究 ○スポーツ医・科学等に基づいた指導や体罰・ハラスメント根絶に関する研修

##### ⑧ 部活動指導員配置事業

- 部活動指導員の配置により、教員の負担軽減を図るとともに、中学校の休日部活動の地域連携を進める。

##### ⑨ 「部活動の地域移行」推進事業

- 部活動の段階的な地域移行に向け、市町村による実証研究を実施 ○県立中学校等における検討 等

##### ⑩ 令和7年度全国高等学校総合体育大会開催事業

- 大会の準備・運営を推進する組織の設置 ○先催県視察 ○競技役員等の養成 ○関係機関等との連絡調整
- 高体連専門部の強化活動への支援 ○広報・高校生活動

##### ⑪ 令和8年度全国中学校体育大会開催事業【新規】

- 先催県視察 ○岡山県開催競技の選手育成への支援

楽しい！

★「運動への肯定感」の向上 ★達成感・成功体験の実感 ★部活動の環境整備



もっと、やりたい！

運動やスポーツが好きな子どもたちの増加

★体力の向上 ★心身の健康の保持増進 ★豊かなスポーツライフの実現



## (7) 子どもたちの健康の保持増進

子どもたちが健康な生活を送るために必要な力を身に付けることができるよう、がん教育、薬物乱用防止教育など健康教育を進めるとともに、学校・家庭・地域の連携による食育を推進し、学校の教育活動全体を通じて、子どもたちが望ましい生活習慣を身につけ、生涯にわたりたくましく生きるための健康づくりを進めます。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
健康教育の推進		学校保健委員会活動の充実			
		感染症に関する指導の充実			
		新型コロナウイルス感染症に関する教材の活用促進			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
学校保健推進体制支援事業	小、中高、特	養護教諭等に対し、資質能力の向上のための指導・助言や繁忙期等の体制強化等を行うため、退職養護教諭等をサポーターとして派遣する。			1,940
がんの教育等推進事業	小、中高、特	がんの教育とともに、性や薬物乱用に関する問題などの様々な児童生徒の現代的健康課題等への適切な対応を図るため、関係機関等との協議会を開催するとともに、研修会を開催して教職員の知識・理解を深める。			145
食物アレルギー対応推進事業	小、中特	学校における食物アレルギーの対応状況を把握し、個別事案への指導・改善を行うとともに、事故やヒヤリハット事例の情報を集約して改善策を検討し周知を図るなど、学校給食における食物アレルギーへの適切な対応促進を図る。			109
養護教諭・栄養教諭研修指導員配置事業	小、中高、特	新規採用の養護教諭・栄養教諭に対して研修指導員を配置し、校内において養護教諭・栄養教諭の育成及び支援を行う。			2,965

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
食育の推進		学校教育活動全体を通じた組織的・計画的な食育の推進			
		食育スタンダードに基づく指導案の実践		食育スタンダードに基づく指導案の改善	
		家庭や地域等との連携・協働による食育の充実			
R6の取組		部活動を通じた食育の推進			予算額(千円)
		モデル校での実践			
		効果検証・成果の普及			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
食育スタンダードの活用	小、中特	これまでのモデル研究の成果として得られた食育スタンダードに基づく指導案を実践することにより、学校教育活動全体を通じた組織的・計画的な食育を推進する。			- (運営費で対応)
養護教諭・栄養教諭研修指導員配置事業(再掲)	小、中高、特	新規採用の養護教諭・栄養教諭に対して研修指導員を配置し、校内において養護教諭・栄養教諭の育成及び支援を行う。			2,965
「学校部活動方針」実践推進事業(再掲)	中、高	「岡山県学校部活動の在り方に関する方針」に基づいた適切な運動部活動への転換をさらに推進させるため、モデル校を指定し、実践した成果を普及する。また、体罰・ハラスメント根絶等に関する研修会を開催する。 【モデル校での実践研究内容】 ・合理的かつ効率的・効果的な活動実践(中1校・高1校) ・部活動を通じた食育の実践(中2校・高1校)			2,008

## (8) 人権教育の推進

すべての人の人権が尊重される「共生社会おかやま」の実現を目指し、学校・家庭・地域の連携のもと、指導者の養成や学習に役立つ資料の作成など、人権教育を推進するための環境づくりに取り組みます。また、児童虐待やLGBTに対する偏見・差別などの課題のほか、新型コロナウイルス感染症に関わる人権侵害が社会問題になったことなども踏まえ、人権に関する知的理解と人権感覚の育成を図り、自他の人権を守ろうとする意識や態度を向上させ、実践行動につなげる取組を進め、人権教育の充実を図ります。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
学校教育における人権教育の推進		教職員研修の実施			
		人権学習充実拠点校等での授業実践			
		事例集の配付・実践の普及			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
岡山県人権教育推進委員会	—	学識経験者等により人権教育の在り方について審議し、本県人権教育の充実を図る。			285
人権教育推進マトリックス会議	—	教育庁内の関係課が連携して人権教育を推進するために、情報交換や施策等の調整を行う。			636
教職員研修	保、幼 こ 小、中 高、特	管理職及び人権教育担当者等を対象とした研修会を実施し、様々な人権問題についての正しい理解と認識を深め、教職員の人権意識の高揚を図る。			— (運営費で対応)
県立学校人権教育サポート事業	中、高 特	自他の生命及び個人の尊厳等を尊重する教育を充実させ、児童生徒の人権尊重への理解や人権感覚の育成を図るとともに、心理検査を活用し一人一人が尊重され、意欲的に学習や活動に取り組むことができる学校づくりを推進する。また、県立学校における教職員の資質能力と指導力の向上を図る。			1,748
人権教育活動調査	小、中 高、特 教委	人権教育を総合的に推進するための基礎資料とするため、市町村及び学校における人権教育推進の状況を把握する。(人権教育推進状況報告書)			— (運営費で対応)
指導資料整備事業	保、幼 こ 小、中 高、特 教委	人権教育を進める際に参考となる指導資料の活用等を促進するとともに、様々な人権問題に関する啓発視聴覚教材を整備し、学校・地域における人権教育の推進に資する。			1,241
研究調査事業	小、中 高、特	人権教育に関する実践的研究や教材、資料及び学習プログラムの開発等を行う。			1,940

R 6の取組	対象	内容	予算額(千円)
人権学習充実拠点校事業	幼、こ小、中高、特	公立幼こ小中高校等各1校(園)を選考し、スーパーバイザー(SV)を招聘して、各校の人権課題を明確にした指導案作成支援や授業公開等を行う。(人権学習充実拠点校の指定等)	1,047
県立学校等児童虐待等対応研修	中、高特	児童相談所、NPO等との協働により、教職員の児童虐待等対応力向上のための専門的な研修を実施し、学校における児童虐待への対応力の向上を図る。	144

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
家庭・地域における人権教育の推進		PTA研修の実施			
		市町村の指導者の養成と各種情報提供			
		養成指導者数			
R 6の取組	対象	内容			予算額(千円)
PTA指導者人権教育研修会	保護者	PTAの指導者を対象に、人権問題についての理解と認識を深めるため、人権に関する講演や実践発表、ワークショップ等の研修会を実施し、PTA指導者としての資質の向上を図る。			1,247
市町村情報提供・連絡事業	教委	市町村教育委員会人権教育担当者等を対象とした連絡会を実施し、人権教育講師バンクに講師情報を登録し、Webページ上で公開するなど、市町村への適切な情報提供を図る。			67
人権教育指導者養成講座	教委 市町村等	様々な人権問題の解決に向けて、深い認識と実践力をもった指導者を養成する講座を実施するとともに、その修了者を対象にしたスキルアップ講座を開講することで、人権問題相互の関連を図り、自らの課題として日常生活の中に生かせる人権感覚を身に付けるための教育・啓発活動を推進する。			435

## 5 生涯学習環境の整備と文化・スポーツの振興

### (1) 生涯学習活動の推進

県民一人ひとりが、生涯にわたって夢や目標を持ち、自らの興味や関心に基づき、様々な学習活動に取り組むことができるよう、多様な学習機会や情報の提供などの充実を図ります。さらに、学びを生かした地域活動への参画を通して、より良い地域社会を形成し、郷土岡山の発展を支えられるよう、学習成果の活用に向けた取組の充実を図ります。

また、県生涯学習センターを中心に、公民館やNPOなど、多様な主体との連携・協働を進めるとともに、県立図書館と市町村立図書館のネットワークの充実等を図ることにより、生涯学習活動を支援する環境づくりを推進します。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
学習成果の活用とより良い地域社会の形成		持続可能な地域づくりを担う人材の育成			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
県立図書館とことん活用講座	一般	県立図書館の特色である主題別6部門の専門性を生かし、関係機関等と連携して様々なテーマで特色ある講座を開催することで、県民の課題解決を支援するとともに、図書館活用の拡大を図る。			246
ファシリテーション・コーディネーションスキルアップ講座	一般 市町村等	事業の重要な要素となるファシリテーションやコーディネーションに焦点を当て、事業推進のキーパーソンとしての意識や能力の向上を図る。また、生涯学習・社会教育関係者のネットワークづくりを図る。			340
若者発!まちプロ	大学生等	地域活動に興味・関心をもつ県内大学生等が、県内の地域づくりの第一線で活躍している方のところへインターンに行き、実践型研修を通して、自らの思いを社会の中で実現させるための自主性・行動力を身につけることで、それぞれの地域や学校で活躍する人材の育成を図る。			564
生涯学習・社会教育関係職員研修講座	市町村等	県内市町村の生涯学習・社会教育関係職員等を対象に、地域課題の把握や解決方法を得るために必要な知識・技能習得に向けた研修会を開催し、豊かな地域社会づくりの中核的役割を担う職員等の育成を図る。			117
社会教育主事講習[B]  新規	一般 市町村等	社会教育に携わる専門的職員等の資質の向上を目的とし、豊かな地域社会づくりの中核的役割を担う社会教育主事の育成を図る。			270
主体的に参画する住民を育てるための事業づくり	一般 市町村等	市町村の社会教育・生涯学習担当職員や公民館職員等を対象に、地域課題を把握・解決するために地域住民が主体的に関わる事業を企画・立案・実践し、多様な人材を社会教育の活動に巻き込み、連携していくコーディネート力など、社会教育に携わる資質の向上を図る。また、学びや活動と参加者をつなぎ、地域の学びと活動を活性化する多様な人材の活躍を後押しする。			458
高校生×地域一思いをカタチにするお手伝いをしますー	市町村等	市町村の社会教育・生涯学習関係部署や公民館等を対象に、高校生と市町村行政担当部署、また企業やNPO等をはじめとした地域の団体と連携・協働し、高校生とともに地域の課題を解決に繋げていく社会教育の視点を取り入れた事業の推進を図る。			140



R6の取組	対象	内容	予算額(千円)
岡山県生涯学習大学事業(再掲)	子ども 一般	主催講座では、県内文化・社会教育施設9施設と連携し、子どもたちが各施設で主体的に学ぶ「きっず☆ユニバ」を開設する。連携講座では、県や大学等が行う多様な学習講座を体系化し、総合的な学習機会を提供する。	3,050
JAXA(宇宙航空研究開発機構)との連携事業	子ども 教職員 一般	JAXAと連携して、「宇宙」を素材とした子ども・親子対象の学習プログラム等を展開し、子どもたちの科学や自然に対する興味・関心を高め、豊かな科学的素養を育む。	1,407
「ばるネット岡山」による情報提供	一般	県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」の充実を図り、県民の生涯学習を支援する。	- (運営費で対応)
人と科学の未来館サイピアの運営	一般	学校教育との連携により、創造性豊かな人材を育成するとともに、幅広い世代の体験・交流を生み出す場を提供することで、県民の科学に対する興味・関心、知的探究心等を高め、豊かな科学的素養を育む。	73,194
「県立図書館フェスタ」事業(開館20周年記念事業)	一般 子ども	県民が読書に親しむきっかけづくりとして、講演会や公開講座、企画展示等を行う。特に、令和6年度には開館20周年を迎えることから記念イベントを行い、さらなる読書活動の推進を図る。	1,481
図書資料の整備	一般 子ども	県民の資料要求に応えるとともに、市町村立図書館のサービス活動を支援するため、児童図書を全点購入するなど新刊図書や視聴覚資料を整備する。 また、おかやま森づくり県民税や産業廃棄物処理税を活用し、森林に関わる図書資料や環境教育・環境学習に関わる図書資料を整備する。	76,000
図書館職員等研修講座	図書館職員等	県内の図書館関係職員を対象に、必要な専門的な知識・技術について研修を行い、力量を高め、全県的な図書館サービスの向上を図る。	318
岡山県公立図書館ネットワーク構築事業	一般 子ども	市町村立図書館等と連携・協力しながら、資料の検索や搬送(週2回)を充実させるとともに、高等学校図書館等への搬送事業(週1回)を実施するなど、全県域を対象とした図書館サービスの向上を図る。	10,777
社会教育に関する調査研究	一般	社会教育に関する現代的な課題等について調査研究を行い、その成果や実践例・学習プログラム等を市町村や関係団体等に普及するとともに、次年度以降の研修や施策にも反映させる。	327
学び直し推進事業	一般	義務教育程度の内容を学び直しできる場を県生涯学習センターに設け、月2回程度講座を開設する。	1,361
青年の家運営	小、中 高、特 一般	心身ともに健全な青少年の育成を図るため、県渋川青年の家及び県青少年教育センター閑谷学校において指定管理者制度による、民間のノウハウを活用したプログラムを提供することにより、自然体験活動の充実を図る。	198,379
小・中学生の学びのコンテンツサイト「おかやままなびとサーチ」夢育コンテンツ強化事業(再掲)	小、中、特	子どもたちが主体的に学び、将来の夢を育むことができるよう、県内社会教育施設等や県内の民間企業の持つ教育資源を活用した学習用動画や、お仕事紹介動画等を10本程度作成し、「おかやままなびとサーチ」の夢育コンテンツの強化を図る。	2,844

## (2) 文化創造活動の振興と文化財の保存・活用

県立美術館や天神山文化プラザ等の文化施設の利用促進や充実を図るとともに、文化団体等の活動を支援し、県民の文化創造活動の振興を図ります。

市町村、関係団体、地域住民等と連携し、地域固有の文化資源を生かした活動や新たな創造活動の活性化を図り、文化を核とした、楽しみ、感動できる環境づくりを推進するとともに、将来の地域文化の担い手の育成や若手芸術家の支援を行います。

また、子どもたちをはじめ、より多くの県民が郷土の文化遺産に触れ、学び、親しむことができる機会の充実に努め、その着実な保存・継承と積極的な活用を図ります。

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
文化に親しむ環境づくり		文化施設の利用促進や充実、美術や舞台芸術等の鑑賞機会の提供			
		学校における文化活動の充実			
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
高等学校総合文化祭等	中、高、特	他県との発表・交流の場である全国高等学校総合文化祭への派遣等を行い、芸術文化活動の発展を図るとともに、情操豊かな子どもたちの育成を図る。			4,585
音楽公演(再掲)	小、中高、特	県内の学校等において、室内楽公演を実施し、児童生徒に優れた芸術・文化に直接触れる機会を提供する。			2,655
文化芸術による子供育成推進事業	小、中高、特	子どもたちが、芸術文化団体等による実演指導、ワークショップや団体等との共演に参加し、優れた舞台芸術に身近に触れる機会を提供する。			— (国費)

主な取組の項目		R3	R4	R5	R6
文化財の保存・活用		文化財の保存・継承と地域づくりの推進			
		こうもり塚古墳の調査・活用		備中国分尼寺跡の調査・活用	
		文化財の公開・活用の充実と文化財保護・継承活動の担い手育成の促進(再掲)			
郷土の文化遺産を紹介するガイドブックやHPの活用促進(再掲)					
R6の取組	対象	内容			予算額(千円)
文化財保護保存事業	一般	国・県指定文化財の保存・活用に要する経費の一部を補助する。 吉備津神社南随神門保存活用(岡山市)、熊野神社本殿保存修理(倉敷市)他			80,241
「吉備路の歴史遺産」魅力発信事業	一般	吉備路の総合的な整備・活用に向けて、その価値付けを行うために史跡備中国分尼寺跡等の調査研究を実施し、情報発信等を進める。			14,443
無形文化財支援事業	一般	無形文化財の「わざ」の伝承を推進するとともに、技術保持者相互の交流を図るため、各分野ごと及び分野を横断した研修会を実施する。			100

R 6 の取組	対象	内容	予算額(千円)
埋蔵文化財公開活用事業	一般 子ども	埋蔵文化財の普及・啓発を行う。 ・吉備の考古学講座 ・津島遺跡やよいまつり ・夏休み企画☆ワクワク古代体験！ ・吉備路ウォーク ・吉備の史跡を巡る ・刊行物の発刊 (戦国争乱と中世城館・史跡備中国分尼寺跡)	2,000
県内庭園調査	一般	『岡山県文化財保存活用大綱』に基づき、県内庭園の 悉皆調査を行い、指定による保護や活用につなげる。	3,129
みんなで楽しもう！民俗芸能 (再掲) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span>	一般 子ども	県内各地に伝わる民俗芸能の保存伝承を図るため、子 どもを中心とした民俗芸能団体等の発表の場を設け、県 民の郷土の歴史・文化、芸能などに対する理解と関心を 一層深める。	300
古代吉備文化財セ ンター開所40周年 記念事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span>	一般	発掘調査成果を紹介する展覧会や「古代吉備の謎に迫 る！一吉備を育てた風土と交流一(仮)」と題したシン ポジウムを開催することにより、岡山県の考古学や埋蔵 文化財に関する知識・理解を深める。	1,000

主な取組の項目	R3	R4	R5	R6
県立博物館の機能充実等	展示・公開等の充実による歴史文化の発信			
	耐震改修工事に伴う休館		リニューアル開館	
R 6 の取組	対象	教育普及活動、学校教育との連携等の充実		R6
		オンライン講座や出前授業による学校との連携等		
R 6 の取組	対象	内容	予算額(千円)	
博物館活動	一般	【特別展】 ・「緒方洪庵ーその生涯と郷土岡山ー」 (R6(2024).10.18~11.24) 郷土の偉人である緒方洪庵が記した書籍や自筆資料を 中心に、洪庵の生涯・業績を紹介するとともに、洪庵の ふるさと岡山に注目し、洪庵が岡山に残した「遺産」に 迫る。 ・「茶碗ー茶の湯にふれるー」 (R7(2025).1.31~3.16) 岡山県は茶の湯と関わりが深い備前焼や虫明焼を作り 上げてきたこともあり、茶道具に関心を持つ人が多い。 そこで、最新の知見を取り入れながら、全国各地から協 力を得て一堂に会した茶碗の優品約100点を紹介す る。 【テーマ展】 ・学芸員の調査研究成果を発表する場として、県民に とって魅力あるテーマやメッセージ性のあるテーマを設 定した展示を行う。	16,703	
県立博物館の館内 授業・出前講座 (再掲)	小、中 高、特	博物館で豊富な実物資料に触れ、解説を聞きながら展 示を見学する「館内授業」や学芸員が学校に出向き、実 物資料をもとに授業を行う「出前授業」を実施し、岡山 の歴史や文化への関心を高め、授業内容の理解を深め る。	- (運営費で対応)	
ジュニア学芸員講 座(再掲)	中、高	岡山の歴史や文化に関心を持つ子どもたちに、博物館 学芸員の仕事を実際に体験してもらい、将来の学芸員や 博物館ファンを育成する機会とする。	- (運営費で対応)	

# 資料編

## 令和5年度→令和6年度にかけての事業整理表

事業名		関連頁
令和5年度	令和6年度	
別室指導普及事業	→ (統合) 「心の居場所推進プロジェクト」	P12
英語教員指導力向上事業	→ (廃止) 新規事業に組替	
おかやま夢育イニシアチブ 高校生探究フォーラム	→ (統合) 次世代おかやま「夢育」ネットワーク事業	P23他
ワールド・ワイド・ラーニング(WWL)コンソーシアム構築支援事業		
高校と地域で創る未来の学びプロジェクト事業	→ 高校コーディネーターによる高校と地域の連携・協働推進事業	P23他
プロに学べ！作業学習ブラッシュアップ事業	→ (廃止) モデル校で得られた成果を普及	
特別支援学校におけるICT授業充実事業	→ (廃止) 事業で得られた成果を普及	
就学前からの特別支援教育拠点化推進事業	→ (廃止) 事業で得られた成果を普及	
インクルーシブ教育推進フォーラム	→ インクルーシブ教育×ICT活用推進事業	P26他
おかやま子ども応援人材バンク	→ 夢育パートナーズ推進事業	P28他
企業発！みらプロ	→ (廃止) 事業で得られた成果を普及	
高校生「地域防災ボランティアリーダー」養成研修	→ (統合) 学校安全総合支援事業	P29他
体育授業スペシャルサポーター派遣事業	→ (廃止) 得られた成果をもとに、体力向上推進リーダー配置事業を新たに事業化	P54
生徒の発信力強化のための英語指導力向上事業	→ (廃止) 教職員研修の一つとして位置づけ	
子育てサポータースキルアップ講座	→ (統合) すこやか家庭相談事業	P44
訪問型家庭教育支援推進事業	→ (統合) おかやま子ども応援事業	P33他
生徒指導上の課題解決に向けた効果的な対応策普及促進事業	→ スマホ・ネット問題総合対策推進事業	P49他
「わたしの人権メッセージ」動画チャレンジ	→ (廃止) 事業で得られた成果を普及	

### 【新規事業】

事業名	関連頁	事業名	関連頁
1人1台端末を活用した心の健康観察調査研究事業	P12	次世代おかやま「夢育」ネットワーク事業	P23他
多様な生徒を対象とした特色ある高校づくり推進事業(岡山県教育支援センター「My Place」の設置)	P13	通級による指導パワーアップ事業	P25
不登校児童生徒「心の居場所」オンライン支援事業	P13	学校安全総合支援事業	P29他
英検I B Aを活用した授業改善推進事業	P15他	ヘルメットイメージ向上事業	P29
多層的支援システム構築事業	P16	地域学校協働活動推進事業	P46
英語コミュニケーションスキル向上事業	P16	みんなで楽しもう！民俗芸能	P51他
Waku×2算数推進事業	P16	体力向上推進リーダー配置事業	P54
保護者連絡システムの導入	P17	令和8年度全国中学校体育大会開催事業	P55
奨学金返還支援事業	P18	社会教育主事講習	P61
高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール)	P22他	古代吉備文化財センター開所40周年記念事業	P63

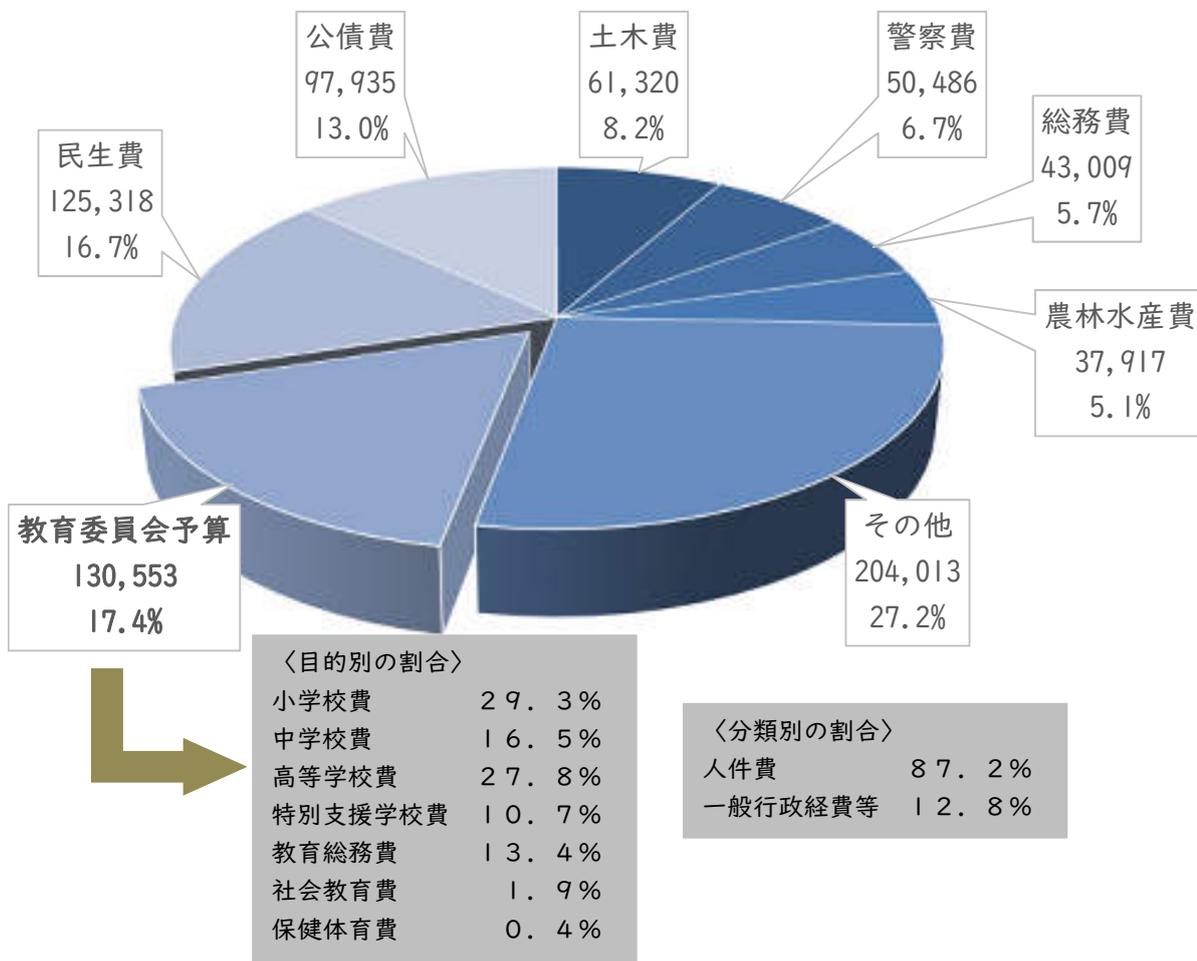
### 【拡充事業】

事業名	拡充内容
思春期サポート事業	P12他 臨床心理士等の派遣回数増(19日/年→24日/年)
心の居場所推進プロジェクト	P12他 自立応援室の設置校数増(小学校:11校→〇校、中学校:33校→〇校)
県立高校入試の更なるDX化促進事業	P15他 中学校から高校へ提出する調査書を電子化
ICT活用指導力レベルアップ推進事業	P16他 小中学校等にICT活用推進キャラバンを実施
教師業務アシスタント配置事業	P17 配置基準を拡大(教員数15人以上の小中学校→全ての小中学校)
部活動指導員配置事業	P17 配置人数の増(市町村立:142人→196人、県立:25人→27人)休日配置を新設
夢に向かって世界に羽ばたけ！岡山の高校生応援事業	P22他 留学支援金に「チャレンジ枠」を新設
「部活動の地域移行」推進事業	P55 実践研究実施市町村の増(4市町村→6市町村程度)

## 県 予 算 と 教 育 委 員 会 予 算

[単位：百万円]

	令和6年度 当初予算 A	令和5年度 当初予算 B	増減 A-B	対前年度比 A/B
県予算（一般会計）	750,551	802,173	▲ 51,622	93.6%
教育委員会予算	130,553	124,500	6,053	104.9%



## 教 職 員 定 数

	令和6年度				令和5年度				増減
	教員	事務職員	その他	計	教員	事務職員	その他	計	
事務局等		364		364		354		354	10
小学校	4,606	295	65	4,966	4,627	295	66	4,988	▲ 22
中学校	2,498	135	32	2,665	2,507	134	32	2,673	▲ 8
定時制高校	199	8	2	209	204	8	2	214	▲ 5
全日制高校	2,500	304	233	3,037	2,531	308	239	3,078	▲ 41
特別支援学校	1,260	91	43	1,394	1,248	91	43	1,382	12
計	11,063	1,197	375	12,635	11,117	1,190	382	12,689	▲ 54

# 知 事 部 局 等 の 関 連 事 業

## 総 務 部

### 私立学校の安定的な経営のための私学助成拡充

[5億3,193万円]

私立学校の安定的経営の推進に資するため、私学助成を拡充します。

- 奨学のための給付金の給付額の拡充
  - ・非課税世帯を対象に私立高校生等への支給額を増額全日制等（第一子）  
年額13万7,600円→14万2,600円
- 私立学校耐震化促進事業補助制度の継続
  - ・私立学校施設の耐震化工事に対する助成の上限額の引上げを継続
- 教員業務支援員の推進
  - ・教員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制整備のための教員業務支援員の配置の推進
- 障害児就園対策の拡充
  - ・特別な支援が必要な幼児数の補助基準を2人から1人に緩和
- 日本私立学校振興・共済事業団補助金の拡充
  - ・私学教員の年金等給付事業の補助率を1,000分の6から1,000分の7に引上げ
- 授業目的公衆送信補償金制度に基づく補償金に対する私立専修学校への補助
  - ・授業目的公衆送信補償金制度を活用する私立専修学校が支払う補償金に対する補助制度を新設

〈総務学事課〉

## 県民生活部

### 未来をつくるグローバルチャレンジ応援事業

[1,047万円]

留学促進フェアや産学官が連携した奨学金等により、県内学生等の海外留学を促進し、グローバル人材の育成を図ります。

- 留学促進フェア
- 未来へトビタテ！おかやま留学応援事業  
留学支援プログラムの実施や派遣学生等の交流・情報交換の場の設置
- 国際交流員等による出前講座
- 大学等の協定締結拡大支援
- 地元経済界からの支援拡大

〈国際課〉

### 子どもの安全力向上推進事業

[46万円]

小学校での安全学習、地域安全マップづくり出前授業、防犯ボランティアによる防犯教室の実施等により、安全意識の向上を図ります。

〈くらし安全安心課〉

### 地域防犯指導者・リーダー育成研修

[54万円]

地域の防犯ボランティア等を対象とした研修を行い、子どもの安全確保に向けた自主防活動を支援します。

〈くらし安全安心課〉

## 環境文化部

### 環境学習推進事業

[3,569万円]

県民や事業者、NPOなど環境団体等と協働して体験型環境学習の充実を図るなど、実践的かつ総合的・効果的な環境学習を促進します。

- 環境学習出前講座の実施
- 環境学習エコツアー事業
  - ・資源循環を推進している先進的企業や廃棄物処理施設、再生可能エネルギー関連施設等の環境関係施設を見学、体験する環境学習エコツアーを実施

〈新エネルギー・温暖化対策室〉

### おかやま子どもみらい塾事業

[458万円]

子どもたちが、「本物の文化芸術」を体験することで、文化に親しみ、関心を持つきっかけづくりとするため、文化芸術の専門家を学校に派遣します。

〈文化振興課〉

### おかやま次世代アスリート事業

[1,284万円]

主に小学生から高校生の育成・強化のため、体験会の開催や競技会へのアスレティックトレーナー等を派遣

〈スポーツ振興課〉

### 地域クラブ活動環境整備事業

[788万円]

休日の学校部活動の段階的な地域移行にあたり、その課題解決に向け、市町村、関係団体等との情報共有等を図るとともに、人材バンクの充実による地域の指導者の確保等を進めることで、地域クラブ活動の環境整備を進めます。

- 市町村等支援事業
- 指導者の育成・登録促進等体制整備事業

〈スポーツ振興課・文化振興課〉

### つくろう・のぼそう！スポーツプロジェクト

[317万円]

児童生徒、ジュニアアスリートに対する多角的な支援体制を充実

〈スポーツ振興課〉

## 子ども・福祉部

### 子ども虐待防止総合強化事業 [2億3,838万円]

困難を抱える子どもや家庭を支援するため、各機関の体制強化を図るとともに、子どもの権利に基づいた施策を推進します。

- 児童相談所の体制強化
  - 児童虐待対応強化事業
- 市町村の機能・体制強化
  - 子育て世帯包括的支援体制強化事業
- 地域の相談支援体制の強化
  - 児童家庭支援センター運営事業
  - 児童虐待防止等ネットワーク事業
- 子どもを中心とした県民意識の醸成
  - 子ども虐待防止強化事業
- 社会的養育の推進
  - 社会的養育推進計画中間見直し事業
  - 里親養育包括支援事業

〈子ども家庭課〉

### 青少年健全育成・非行対策事業 [25,761万円]

家庭、学校、地域社会と連携して青少年の健全育成を進める県民運動を展開するなど、青少年が健やかに育つ社会づくりに取り組みます。

- 青少年健全育成推進事業
  - 青少年育成県民運動推進事業
  - 青少年のスマホ・ネット利用のルールづくり促進事業
- 広域補導
- 青少年相談員制度の充実・強化
- 青少年健全育成に向けた講師派遣事業
- 岡山県青少年総合相談センターSNS相談事業
  - ・ 青少年総合相談センターにSNSを活用した相談窓口を設置
- おかやま子ども・若者育成支援事業
  - 子ども・若者育成支援ネットワーク構築事業

〈子ども家庭課〉

## 産業労働部

### 科学技術振興事業 [125万円]

- 「集まれ！科学好き」開催事業
  - ・ 科学系サークル活動を行う中高生に研究発表の場を提供する研究発表コンテスト、企業講演を開催

〈産業振興課〉

### 高校生のものづくり技能取得支援事業 [415万円]

工業系高校生の技能検定合格に向けた支援を実施し、産業の担い手を育成します。

- ・ 県高等学校工業教育協会へ練習用材料費の一部を補助
- ・ 低所得者世帯の高校生の技能検定実技試験受験料を全額免除
- ・ 県内高校生が受検する技能検定実技試験手数料を減免

〈労働雇用政策課〉

## 警察本部

### 輝け！岡山の未来を担う少年！！健全育成推進事業 [2,805万円]

SNSに投稿された「犯罪実行者募集情報」や増加する薬物乱用事犯等から少年を守るための施策を推進します。

- 健全育成推進専門員の雇用による非行防止教室等の開催  
健全育成推進専門員6名を雇用し、「犯罪実行者募集情報」や禁止薬物の危険性等についての非行防止教室を実施
- SNSを通じた「犯罪実行者募集情報」への加担防止等広報  
少年に対する訴求力が高いSNSを活用し、「犯罪実行者募集情報」の危険性や悪質性に関する動画コンテンツを配信

〈少年課〉

### 教育旅行誘致推進事業 [1,112万円]

旅行事業者や教育機関などと連携した探求学習プログラムの開発により、本県教育旅行における定番商品を造成するとともに、デジタルマーケティングや市場分析によりターゲットエリアを選定したうえで、該当エリアの旅行会社や学校に対する積極的なセールスを実施し、教育旅行の誘致につなげます。

〈観光課〉

### インバウンド向け学生ガイド育成・情報発信事業 [50万円]

県内大学と連携の上、大学生を通訳ガイドとして育成するほか、若者目線による情報発信等を行い、外国人観光客の満足度向上を目指します。

- ・ インバウンド向け学生ガイドを育成する講義や自主ゼミ等を開設している県内大学と連携
- ・ 外国人をゲストとした招聘ツアーの実施やノベルティの作成等を実施

〈観光課〉

## 土木部

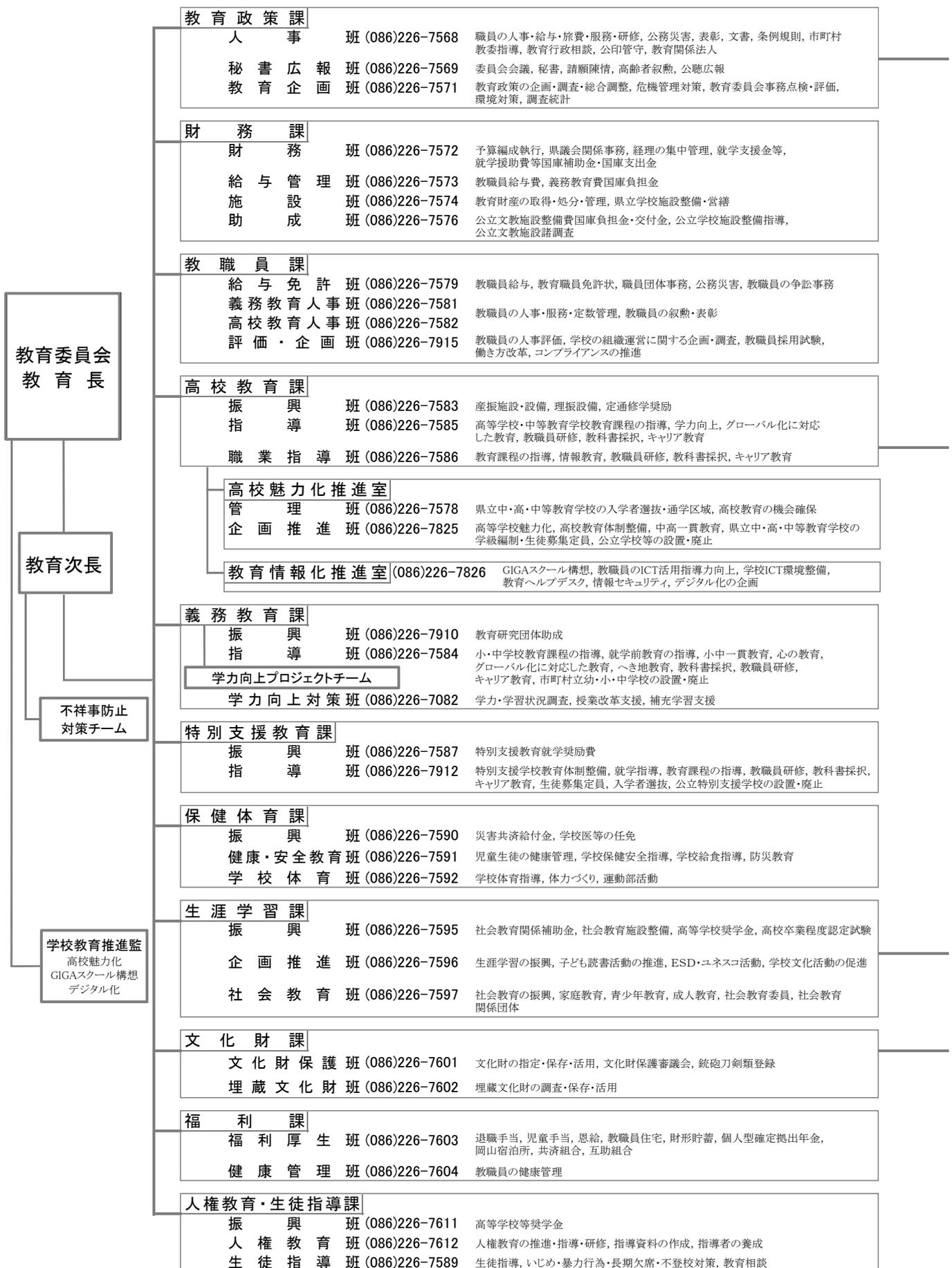
### 未来へつなぐ！建設産業人材確保サポート事業 [972万円]

土木・建築系高校生の入職促進、小中高校生等への情報発信などにより、建設産業の人材確保をサポートします。

- 入職促進事業
  - ・ 県立工業高校が実施する建設工事等現場見学会に要する経費の一部支援や地元建設業者との意見交換会の開催
- 情報発信事業
  - ・ 建設産業の魅力や重要性を伝えるPR動画の制作等

〈監理課〉

# 県教育委員会の組織・分掌



県立学校

教育事務所
岡山(086)221-0529
津山(0868)24-8702

中 学 校 3 校

岡山操山 (086)272-9836	倉敷天城 (086)429-3494	津山 (0868)22-3301
--------------------	--------------------	------------------

高 等 学 校 51 校

岡山朝日 (086)272-1271	倉敷古城池 (086)455-5811	総社 (0866)93-0891
岡山操山 (086)272-1241	倉敷中央 (086)465-2559	総社南 (0866)93-6811
岡山芳泉 (086)264-2801	玉島 (086)522-2972	高梁 (0866)22-3047
岡山一宮 (086)284-2241	倉敷鷺羽 (086)472-2888	高梁城南 (0866)22-2237
岡山城東 (086)279-2005	倉敷工業 (086)422-0476	新見 (0867)72-2260
西大寺 (086)942-4150	水島工業 (086)465-2504	備前緑陽 (0869)63-0315
瀬戸 (086)952-1031	倉敷商業 (086)422-5577	邑久 (0869)22-0017
高松農業 (086)287-3711	玉島商業 (086)522-3044	勝山
興陽 (086)296-2268	津山 (0868)22-2204	勝山校地 (0867)44-2628
瀬戸南 (086)952-0831	津山東 (0868)22-9307	蒜山校地 (0867)66-2016
岡山工業 (086)252-5231	津山工業 (0868)22-4174	真庭 (0867)52-0056
東岡山工業 (086)279-0565	津山商業 (0868)22-2421	林野 (0868)72-0030
岡山東商業 (086)272-1237	玉野 (0863)31-4321	鴨方 (0865)44-2158
岡山南 (086)224-2226	玉野光南 (0863)51-2311	和気閑谷 (0869)93-1188
岡山御津 (0867)24-0831	笠岡 (0865)62-5128	矢掛 (0866)82-0045
倉敷青陵 (086)422-8001	笠岡工業 (0865)67-0311	勝間田 (0868)38-3168
倉敷天城 (086)428-1251	笠岡商業 (0865)62-5245	鳥城 (086)251-9755
倉敷南 (086)423-0600	井原 (0866)62-0057	

総合教育センター (0866)56-9101
---------------------------

中 等 教 育 学 校 1 校

岡山大安寺 (086)255-5013
---------------------

特 別 支 援 学 校 14 校

岡山盲 (086)272-3165	岡山南支援 (086)298-1090	健康の森学園支援 (0867)96-2995
岡山聾 (086)279-2127	岡山瀬戸高等支援 (086)952-5633	東備支援 (0869)66-8501
岡山支援 (086)275-1010	倉敷まきび支援 (086)697-1233	早島支援 (086)482-2131
岡山西支援 (086)243-4535	倉敷琴浦高等支援 (086)477-9301	誕生寺支援 (0867)28-2321
岡山東支援 (086)279-3020	西備支援 (0865)63-1603	弓削校地 (0867)28-2828

教 育 に 関 す る 相 談 窓 口

◆いじめ・不登校・進路・養育等に関すること

《教育一般に関する相談》

◇県総合教育センター	(0866)56-9115
◇岡山県青少年総合相談センター	
総合相談窓口・すこやか育児テレフォン	(086)224-7110 E-mail: sodan110@po1.oninet.ne.jp
教育相談(学校教育)	(086)221-7490
進路相談	(086)224-1121
子どもほっとライン	(086)235-8639 E-mail: kodomo@po1.oninet.ne.jp
ヤングテレホン・いじめ110番	(086)231-3741 E-mail: youngmail@pref.okayama.jp
◇児童相談所全国共通ダイヤル	0570-064-000

《いじめに関する相談》

◇24時間子供SOSダイヤル	0120-0-78310
----------------	--------------

◆特別支援教育に関すること

◇県総合教育センター	(0866)56-9117
◇県福祉相談センター	(086)235-4152

◆生涯学習、体験・ボランティア活動に関すること

◇県生涯学習センター	(086)251-9750
◇体験・相談コーナー(体験・ボランティア活動)	(086)251-9758

◆教育行政相談に関すること

◇教育行政相談窓口(県教育庁教育政策課内)	(086)226-7909
-----------------------	---------------

◆教職員の健康に関すること

◇こころからの健康相談	(086)235-8349
-------------	---------------

◆学校支援ボランティアの活用(おかやま子ども応援人材バンク)

◇おかやま子ども応援センター	(086)226-7597 E-mail: kodomo-ouen@pref.okayama.jp
----------------	--

◆学校・教職員に対する保護者や地域等からの相談、苦情や要求等に関する法律相談(岡山弁護士会)  
(岡山型スクールロイヤー制度)

◇9:00~17:00	(086)223-4401
-------------	---------------

※土・日・祝日・年末年始を除く

生涯学習センター (086)251-9750
県立図書館 (086)224-1286

県立博物館 (086)272-1149
古代吉備文化財センター (086)293-3211
指定管理者による

渋川青年の家 (0863)81-8039
青少年教育センター閑谷学校 (0869)67-1427
特別史跡旧閑谷学校 (0869)67-9900

令和5年度「岡山県児童生徒いじめ防止ポスター」  
岡山県教育委員会教育長賞作品



玉野市立荘内小学校4年（受賞当時）雲岡 奏来さんの作品です